

在宅介護実態調査報告書

～第9期介護保険事業計画の策定に向けて～

令和5年8月

池 田 市

目次

調査概要 調査の実施内容について [P. 1]

I 単純集計

1 基本調査項目（A票）[P. 1]

- (1) 世帯類型 [P. 1]
- (2) 家族等による介護の頻度 [P. 1]
- (3) 主な介護者の本人との関係 [P. 2]
- (4) 主な介護者の性別 [P. 2]
- (5) 主な介護者の年齢 [P. 3]
- (6) 主な介護者が行っている介護 [P. 4]
- (7) 介護のための離職の有無 [P. 5]
- (8) 保険外の支援・サービスの利用状況 [P. 6]
- (9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス [P. 7]
- (10) 施設等検討の状況 [P. 7]
- (11) 本人が抱えている傷病 [P. 8]
- (12) 訪問診療の利用の有無 [P. 9]
- (13) 介護保険サービスの利用の有無 [P. 9]
- (14) 介護保険サービス未利用の理由 [P. 10]

2 主な介護者様用の調査項目（B票）[P. 11]

- (1) 主な介護者の勤務形態 [P. 11]
- (2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況 [P. 12]
- (3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援 [P. 13]
- (4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識 [P. 14]
- (5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護 [P. 15]

3 要介護認定データ [P. 16]

- (1) 年齢 [P. 16]
- (2) 性別 [P. 16]
- (3) 二次判定結果（要介護度） [P. 17]
- (4) サービス利用の組み合わせ [P. 17]
- (5) 訪問系サービスの合計利用回数 [P. 18]
- (6) 通所系サービスの合計利用回数 [P. 19]
- (7) 短期系サービスの合計利用回数 [P. 20]
- (8) 障害高齢者の日常生活自立度 [P. 20]
- (9) 認知症高齢者の日常生活自立度 [P. 21]

Ⅱ クロス集計

4 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討 [P. 22]

- (1) 基礎集計 [P. 22]
- (2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化 [P. 24]
- (3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化 [P. 28]
- (4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係 [P. 31]
- (5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係 [P. 35]
- (6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係 [P. 39]
- (7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係 [P. 42]

5 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討 [P. 54]

- (1) 基本集計 [P. 54]
- (2) 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み [P. 58]
- (3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込みの関係」 [P. 61]
- (4) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係 [P. 65]
- (5) 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況 [P. 67]
- (6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援 [P. 71]

6 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討 [P. 77]

- (1) 基礎集計 [P. 77]
- (2) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス [P. 79]
- (3) 「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」 [P. 81]
- (4) 「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」 [P. 85]

7 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討 [P. 89]

- (1) 基礎集計 [P. 89]
- (2) 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」 [P. 90]
- (3) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」 [P. 93]
- (4) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」 [P. 96]

8 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討 [P. 100]

- (1) 基礎集計 [P. 100]
- (2) 訪問診療の利用割合 [P. 105]
- (3) 訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ [P. 107]
- (4) 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無 [P. 107]

9 サービス未利用の理由など [P. 109]

- (1) 要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由 [P. 109]
- (2) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由 [P. 117]

- (3) 認知症自立度別の今後の在宅生活に必要と感じる支援・サービス [P. 125]
- (4) 本人の年齢別・主な介護者の年齢 [P. 129]
- (5) 要介護度別の抱えている傷病 [P. 130]
- (6) 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病 [P. 132]

調査概要 調査の実施内容について

調査種類	在宅介護実態調査
対象者	更新申請・区分変更申請をした者
実施件数	481件
実施期間	令和4年5月～令和5年3月
実施方法	認定調査員による聞き取りまたは郵送方式

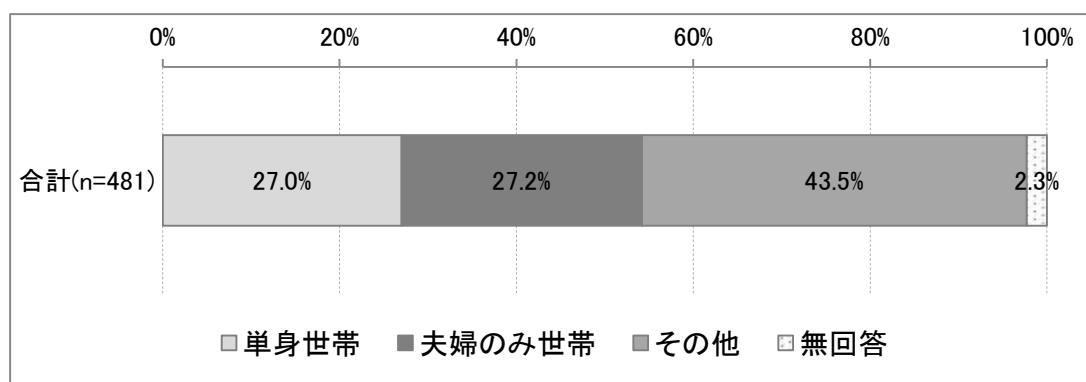
I 単純集計

1 基本調査項目（A票）

(1) 世帯類型

「その他」の割合が最も高く 43.5%となっている。次いで、「夫婦のみ世帯（27.2%）」、「単身世帯（27.0%）」となっている。

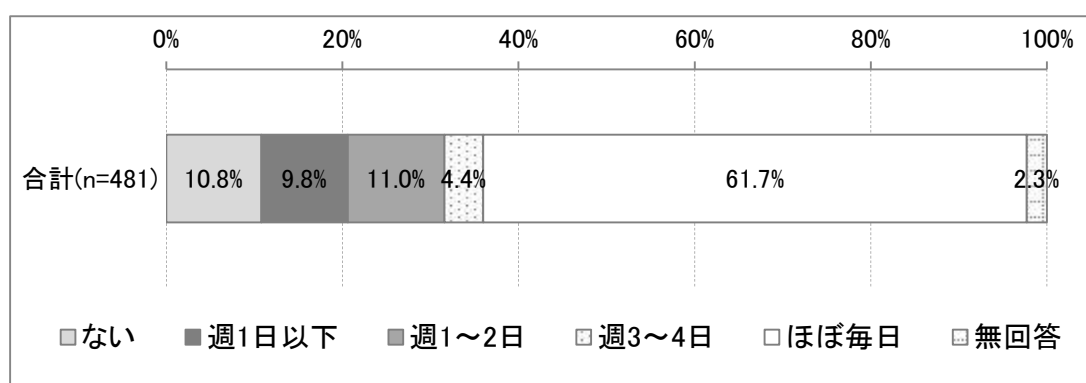
図表 1-1 世帯類型（単数回答）



(2) 家族等による介護の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く 61.7%となっている。次いで、「週1～2日（11.0%）」、「週1日以下（9.8%）」となっている。

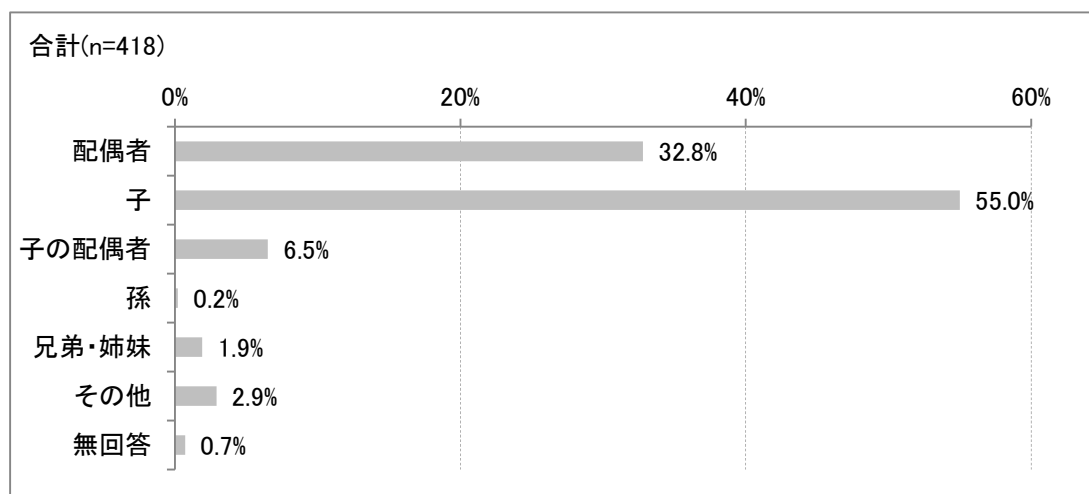
図表 1-2 家族等による介護の頻度（単数回答）



(3) 主な介護者の本人との関係

「子」の割合が最も高く 55.0%となっている。次いで、「配偶者（32.8%）」、「子の配偶者（6.5%）」となっている。

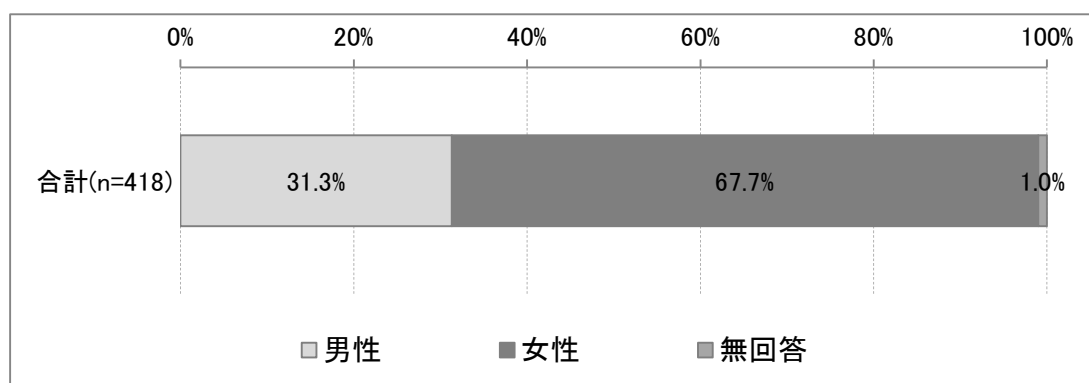
図表 1-3 主な介護者の本人との関係（単数回答）



(4) 主な介護者の性別

「女性」の割合が最も高く 67.7%となっている。次いで、「男性（31.3%）」となっている。

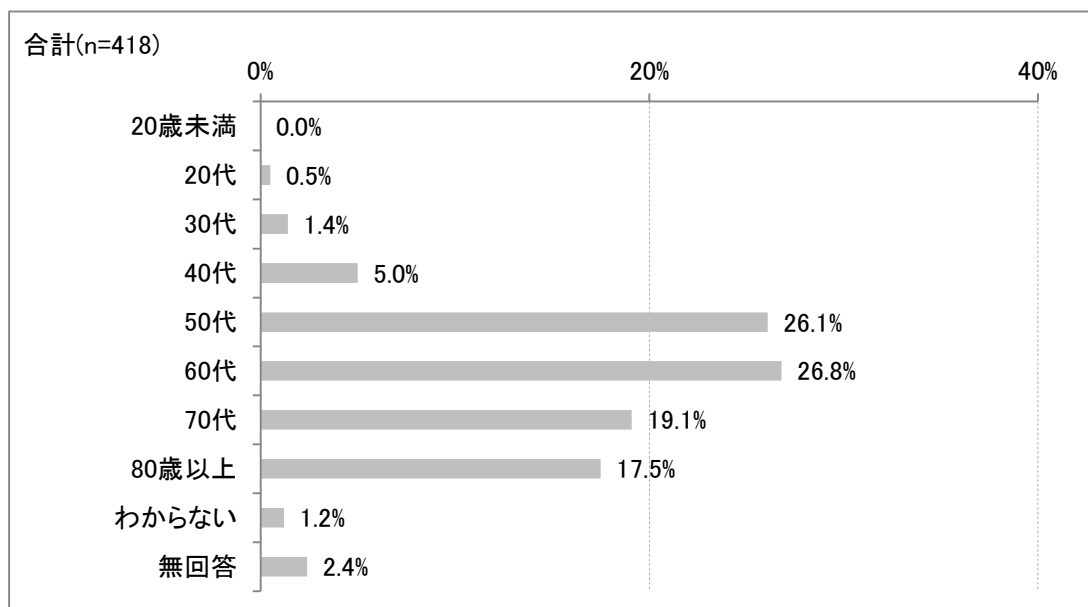
図表 1-4 主な介護者の性別（単数回答）



(5) 主な介護者の年齢

「60代」の割合が最も高く 26.8%となっている。次いで、「50代（26.1%）」、「70代（19.1%）」となっている。

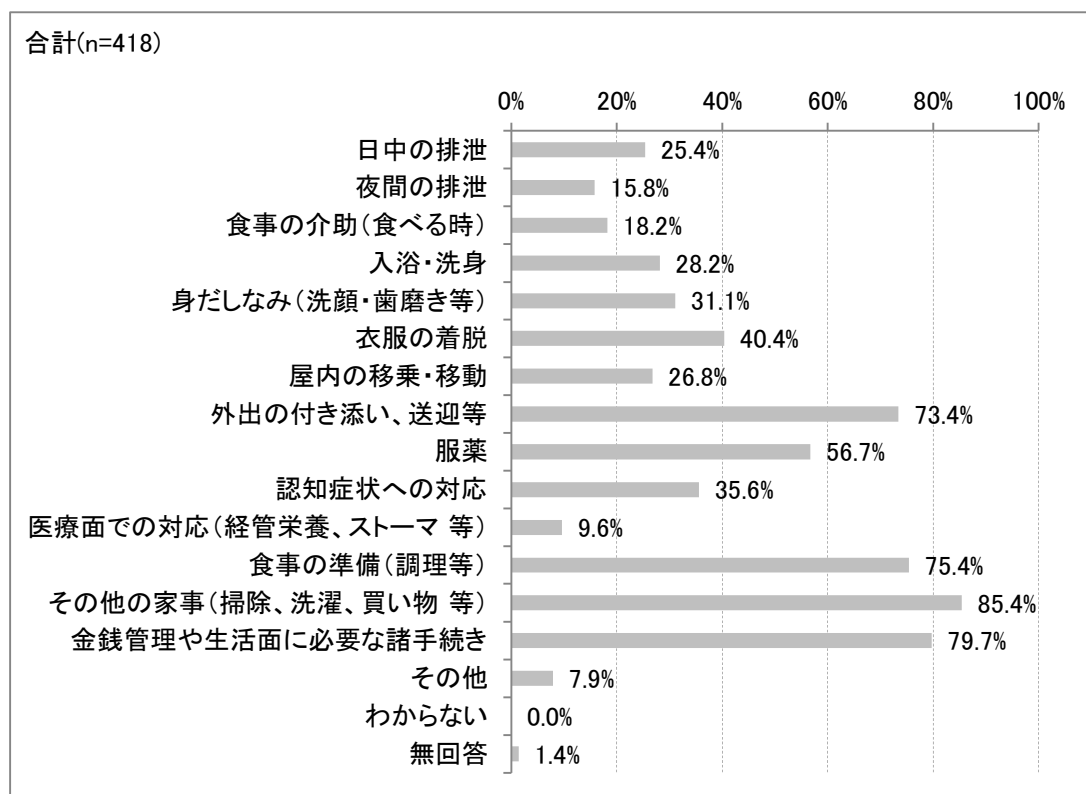
図表 1-5 主な介護者の年齢（単数回答）



(6) 主な介護者が行っている介護

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が最も高く 85.4%となっている。次いで、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き（79.7%）」、「食事の準備（調理等）（75.4%）」となっている。

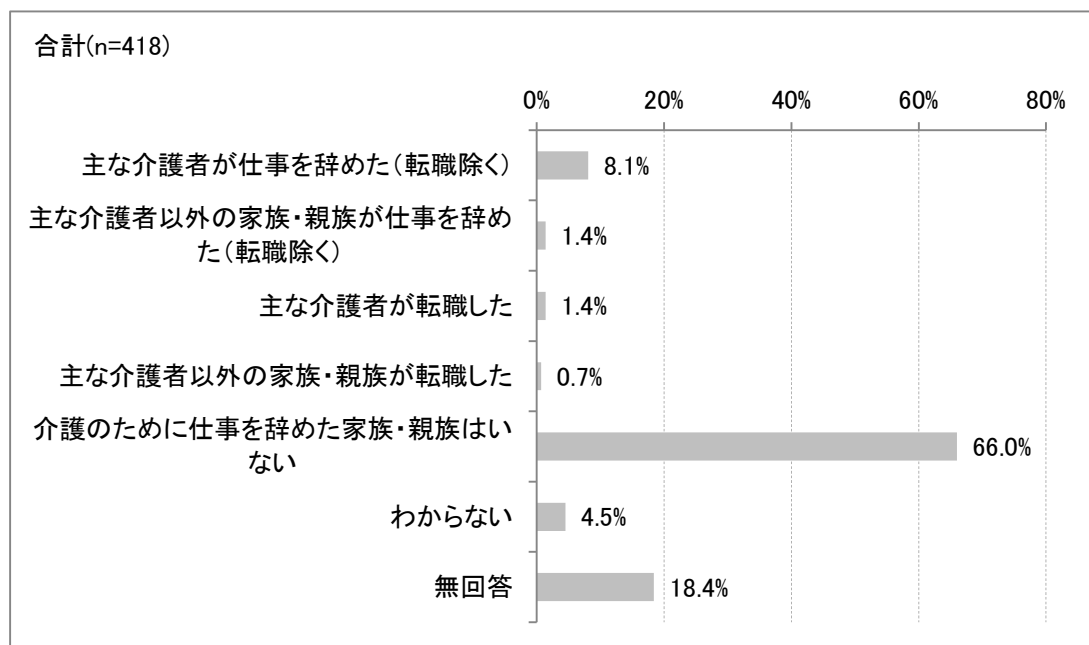
図表 1-6 主な介護者が行っている介護（複数回答）



(7) 介護のための離職の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く 66.0%となっている。次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（8.1%）」、「わからない（4.5%）」となっている。

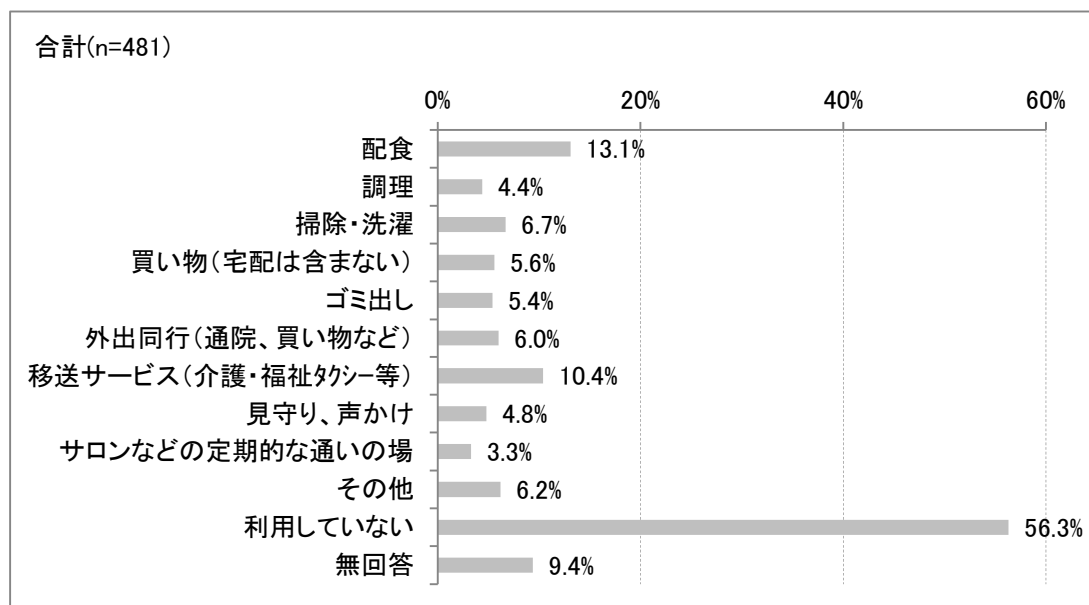
図表 1-7 介護のための離職の有無（複数回答）



(8) 保険外の支援・サービスの利用状況

「利用していない」の割合が最も高く 56.3%となっている。次いで、「配食（13.1%）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（10.4%）」となっている。

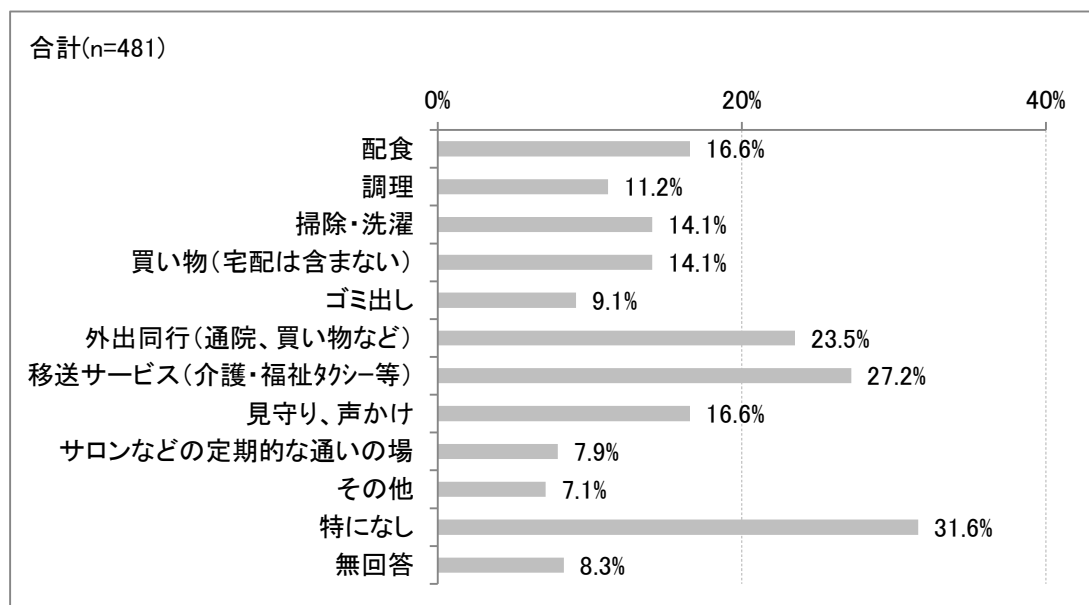
図表 1-8 保険外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

「特になし」の割合が最も高く 31.6%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（27.2%）」、「外出同行（通院、買い物など）（23.5%）」となっている。

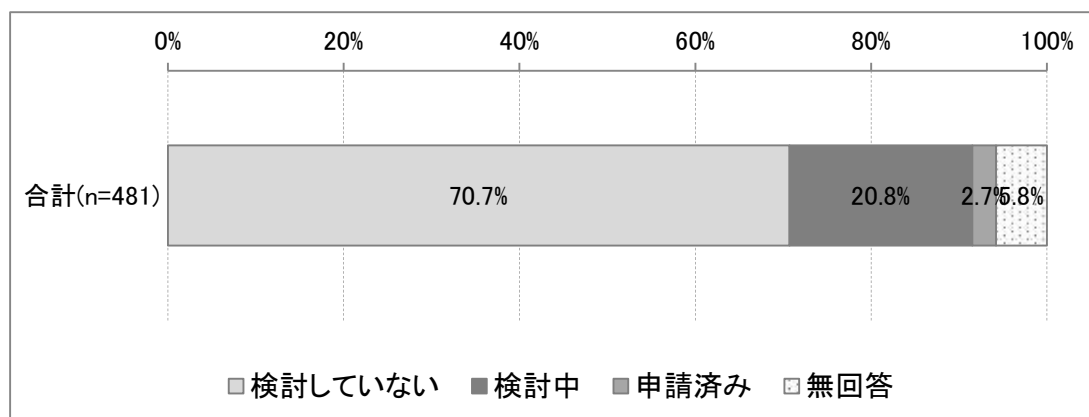
図表 1-9 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）



(10) 施設等検討の状況

「検討していない」の割合が最も高く 70.7%となっている。次いで、「検討中（20.8%）」、「申請済み（2.7%）」となっている。

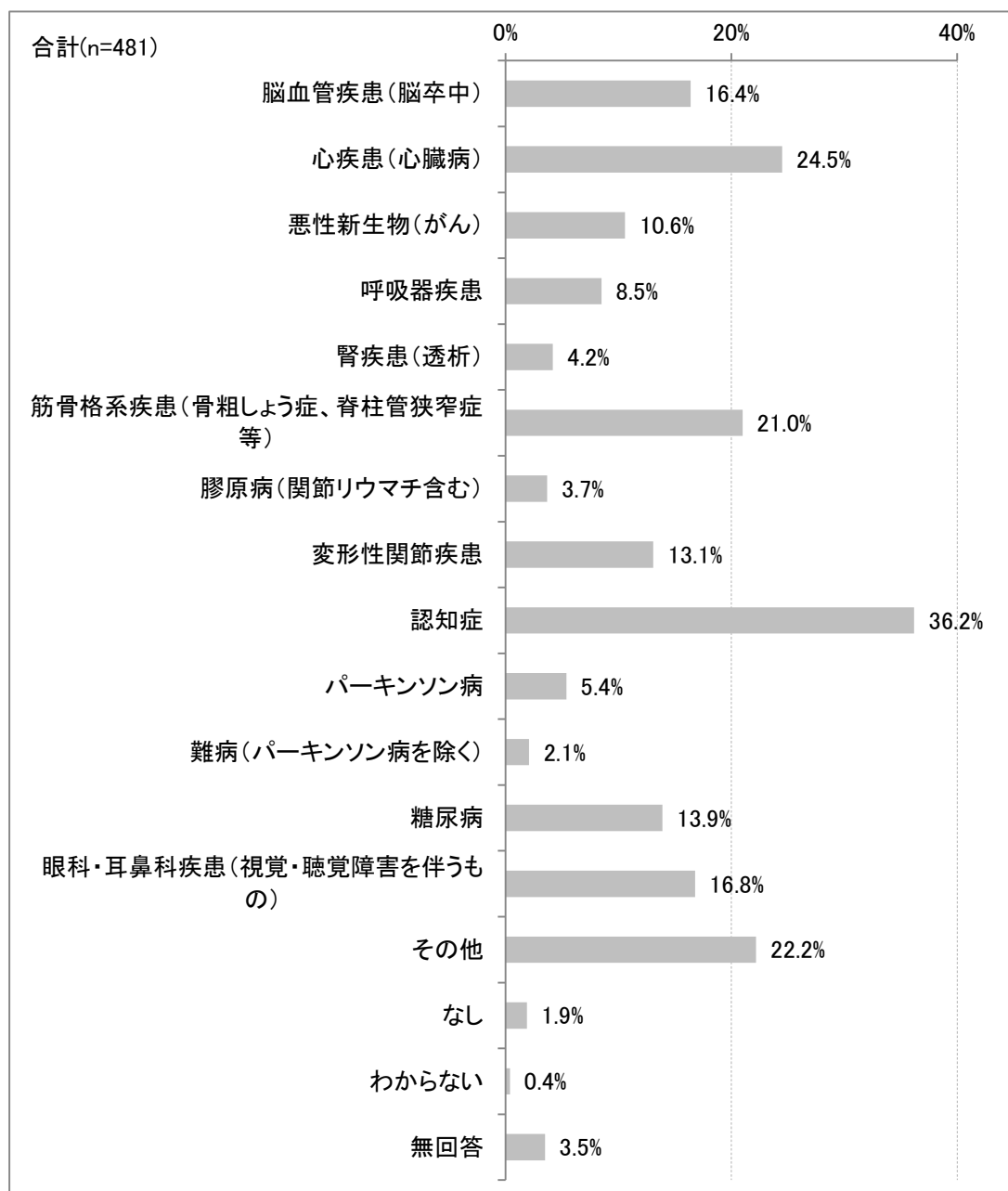
図表 1-10 施設等検討の状況（単数回答）



(11) 本人が抱えている傷病

「認知症」の割合が最も高く 36.2%となっている。次いで、「心疾患（心臓病）（24.5%）」、「その他（22.2%）」となっている。

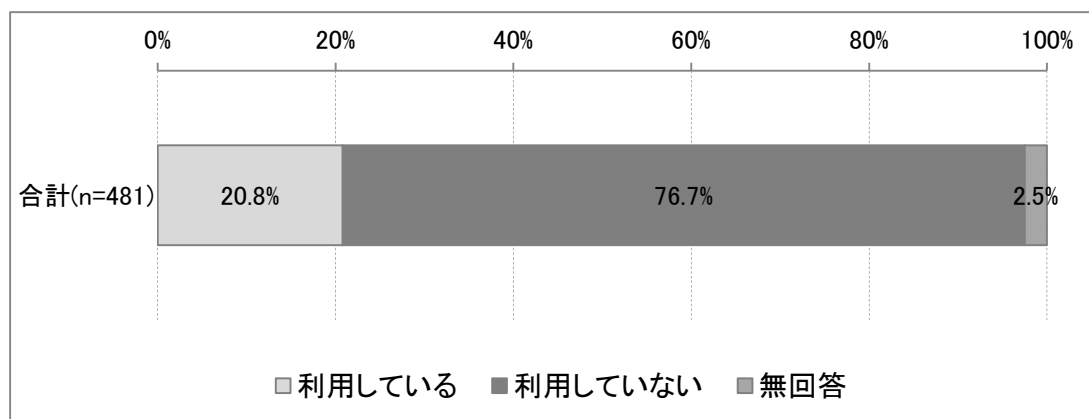
図表 1-11 本人が抱えている傷病（複数回答）



(12) 訪問診療の利用の有無

「利用していない」の割合が最も高く 76.7%となっている。次いで、「利用している (20.8%)」となっている。

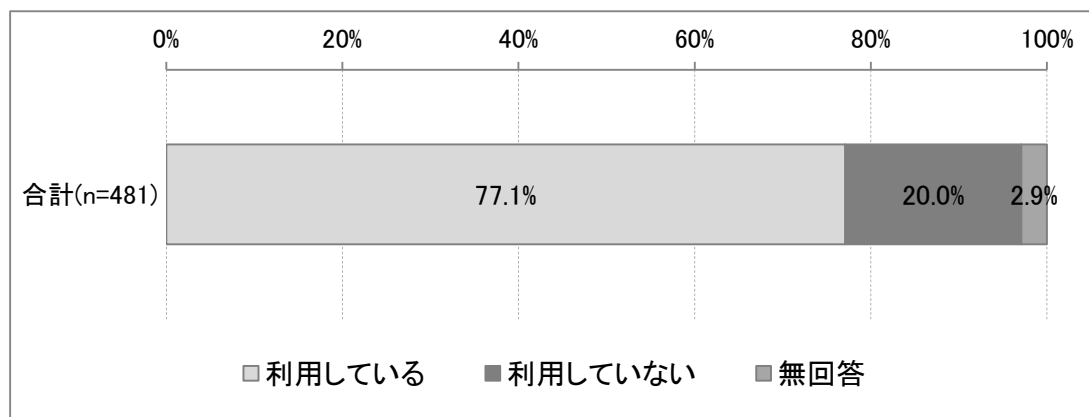
図表 1-12 訪問診療の利用の有無（単数回答）



(13) 介護保険サービスの利用の有無

「利用している」の割合が最も高く 77.1%となっている。次いで、「利用していない (20.0%)」となっている。

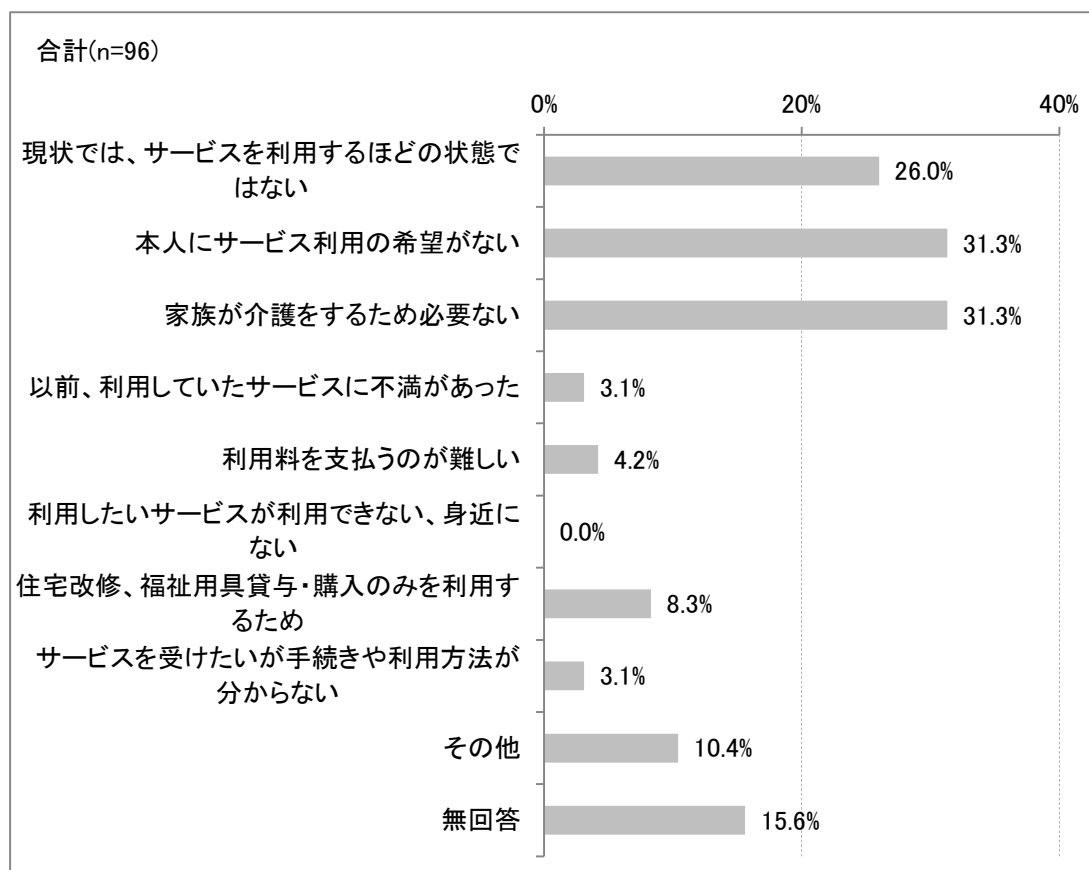
図表 1-13 介護保険サービスの利用の有無（単数回答）



(14) 介護保険サービス未利用の理由

「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」の割合が高く、それぞれ 31.3%となっている。次いで、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない (26.0%)」、「その他 (10.4%)」となっている。

図表 1-14 介護保険サービスの未利用の理由（複数回答）

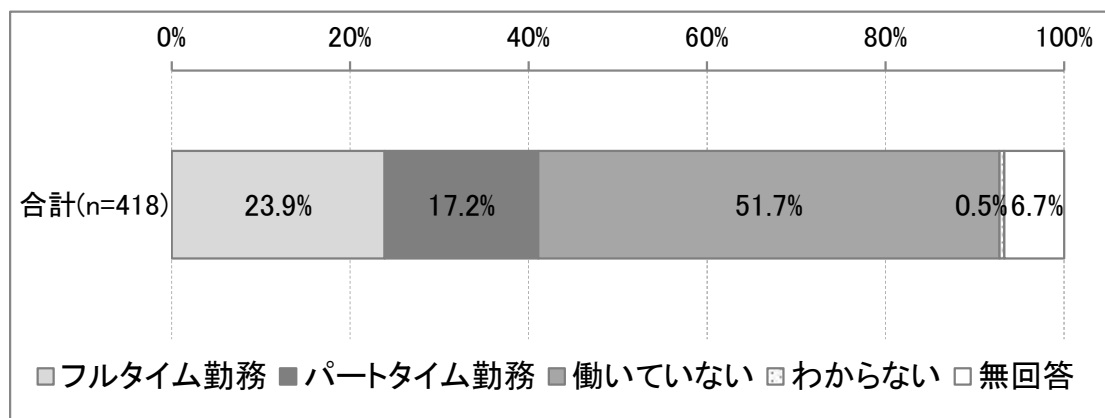


2 主な介護者様用の調査項目（B票）

(1) 主な介護者の勤務形態

「働いていない」の割合が最も高く 51.7%となっている。次いで、「フルタイム勤務（23.9%）」、「パートタイム勤務（17.2%）」となっている。

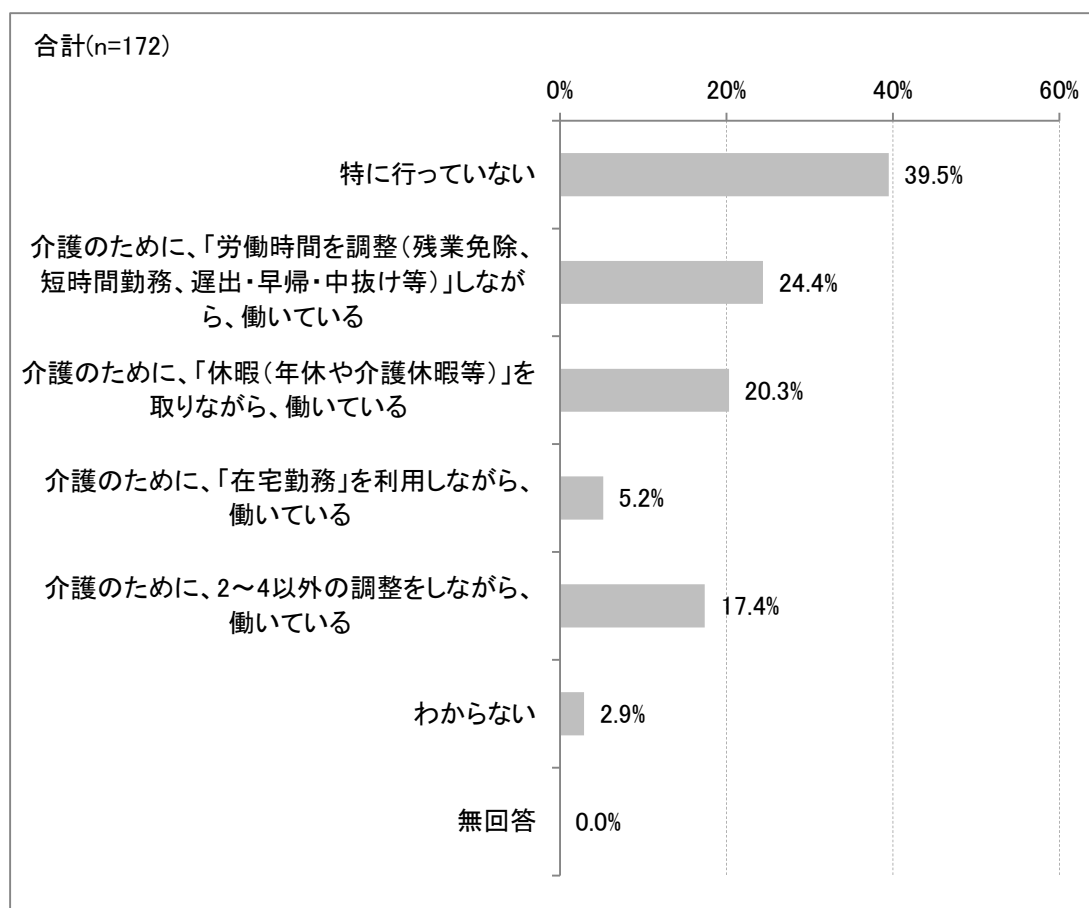
図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

「特に行っていない」の割合が最も高く 39.5%となっている。次いで、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている（24.4%）」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（20.3%）」となっている。

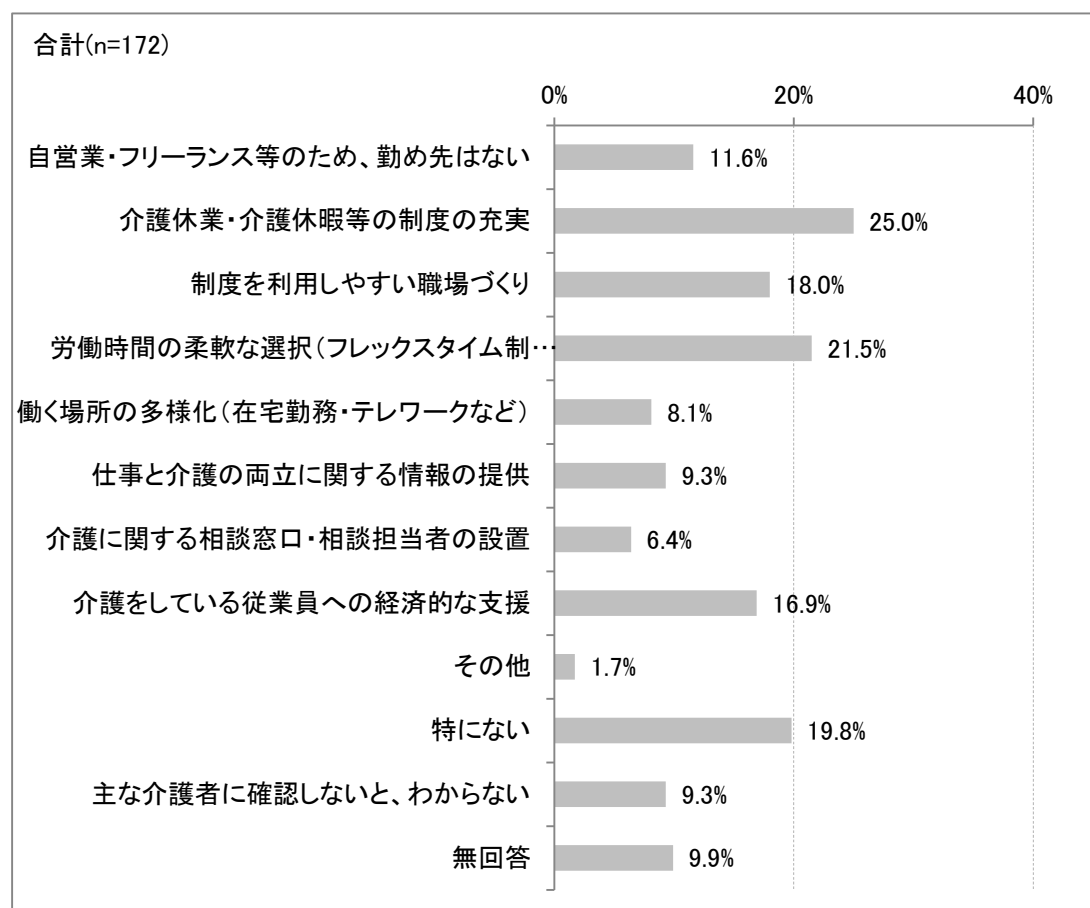
図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が最も高く 25.0%となっている。次いで、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）（21.5%）」、「特にない（19.8%）」となっている。

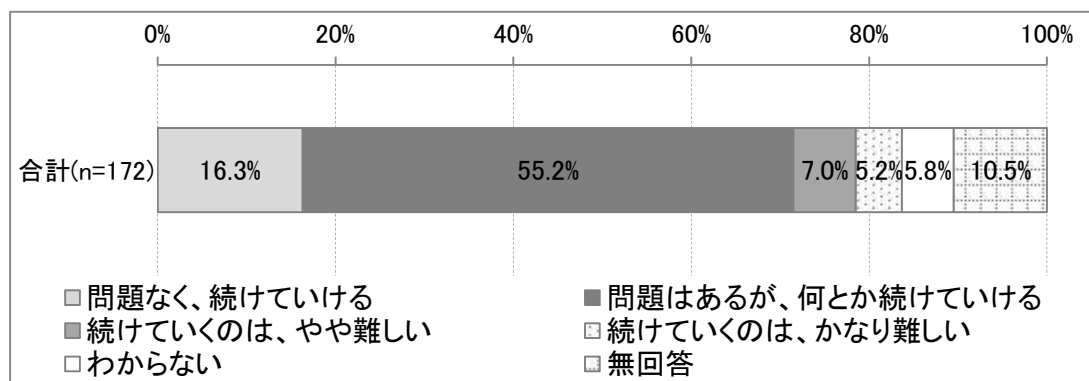
図表 2-3 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援（複数回答）



(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 55.2%となっている。次いで、「問題なく、続けていける (16.3%)」、「続けていくのは、やや難しい (7.0%)」となっている。

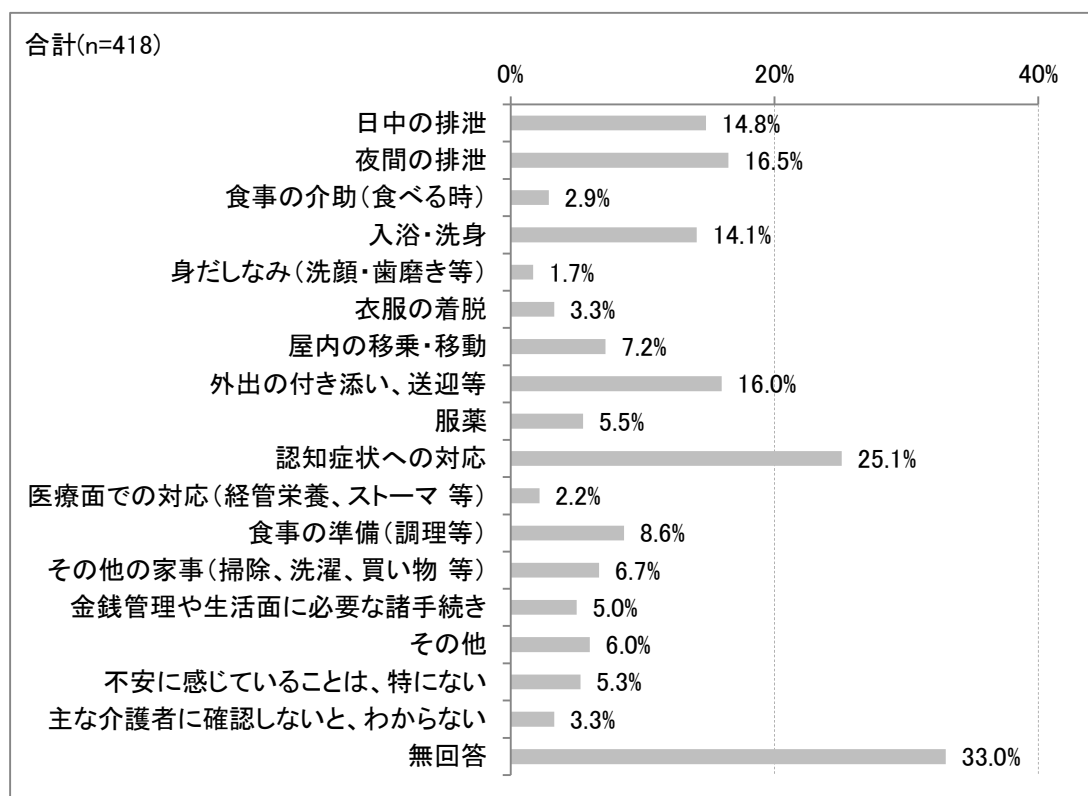
図表 2-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識（単数回答）



(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

「認知症状への対応」の割合が最も高く 25.1%となっている。次いで、「夜間の排泄 (16.5%)」、「外出の付き添い、送迎等 (16.0%)」となっている。

図表 2-5 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）

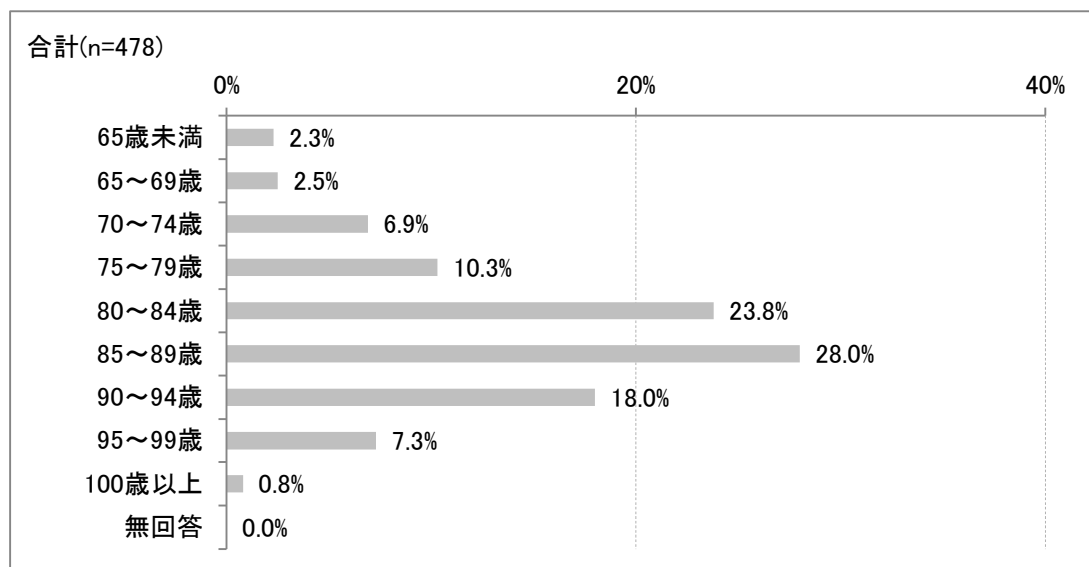


3 要介護認定データ

(1) 年齢

「85～89 歳」の割合が最も高く 28.0%となっている。次いで、「80～84 歳（23.8%）」、「90～94 歳（18.0%）」となっている。

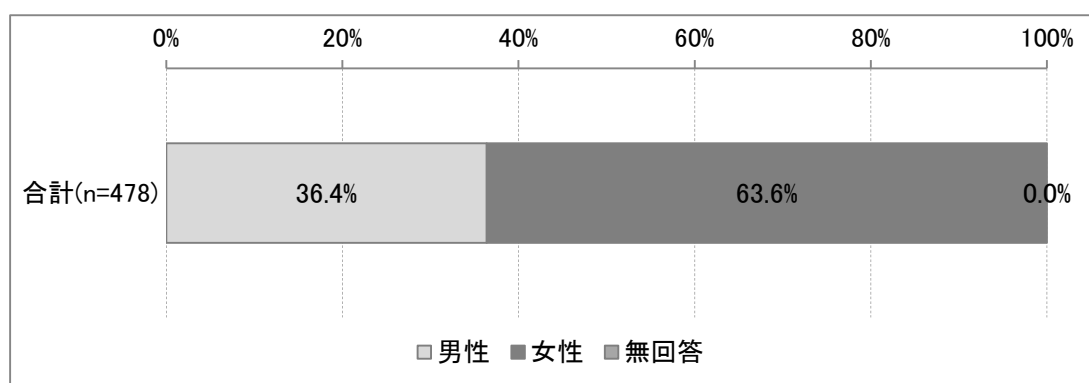
図表 3-1 年齢



(2) 性別

「男性」の割合が 36.4%、「女性」が 63.6%となっている。

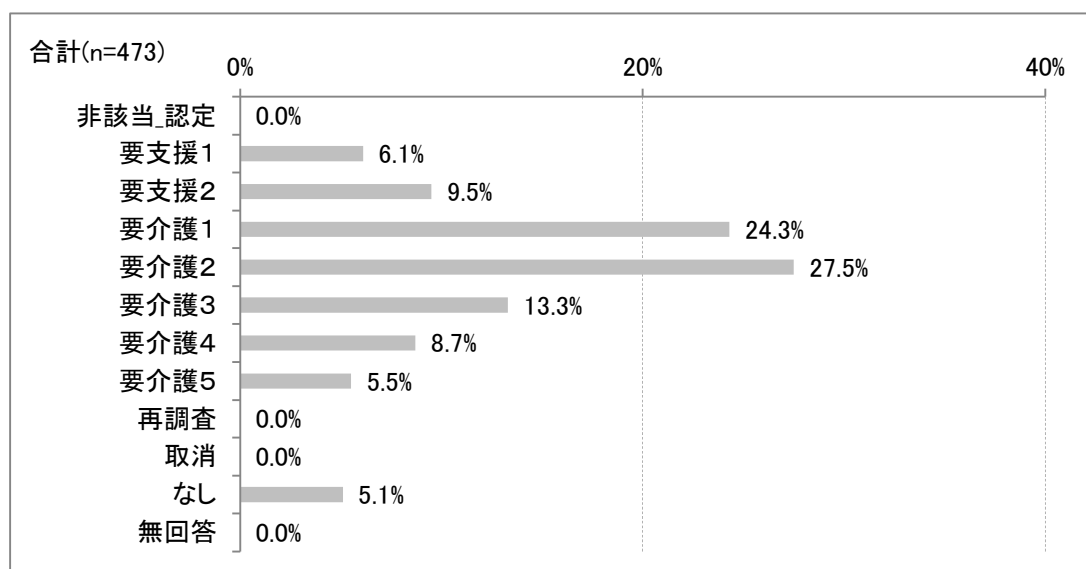
図表 3-2 性別



(3) 二次判定結果（要介護度）

「要介護2」の割合が最も高く 27.5%となっている。次いで、「要介護1（24.3%）」、「要介護3（13.3%）」となっている。

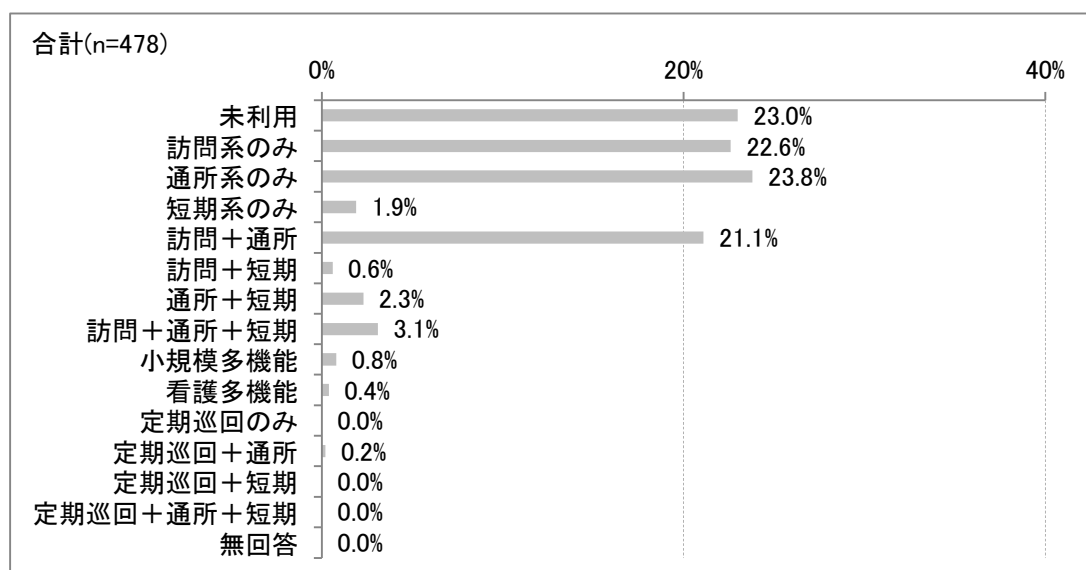
図表 3-3 二次判定結果



(4) サービス利用の組み合わせ

「通所系のみ」の割合が最も高く 23.8%となっている。次いで、「未利用（23.0%）」、「訪問系のみ（22.6%）」となっている。

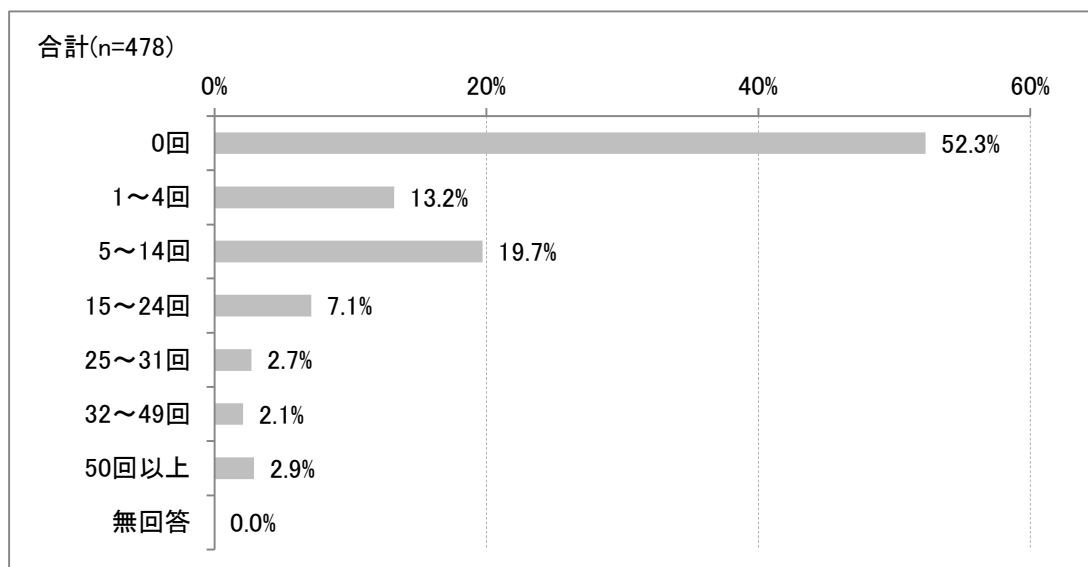
図表 3-4 サービス利用の組み合わせ



(5) 訪問系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く 52.3%となっている。次いで、「5～14回（19.7%）」、「1～4回（13.2%）」となっている。

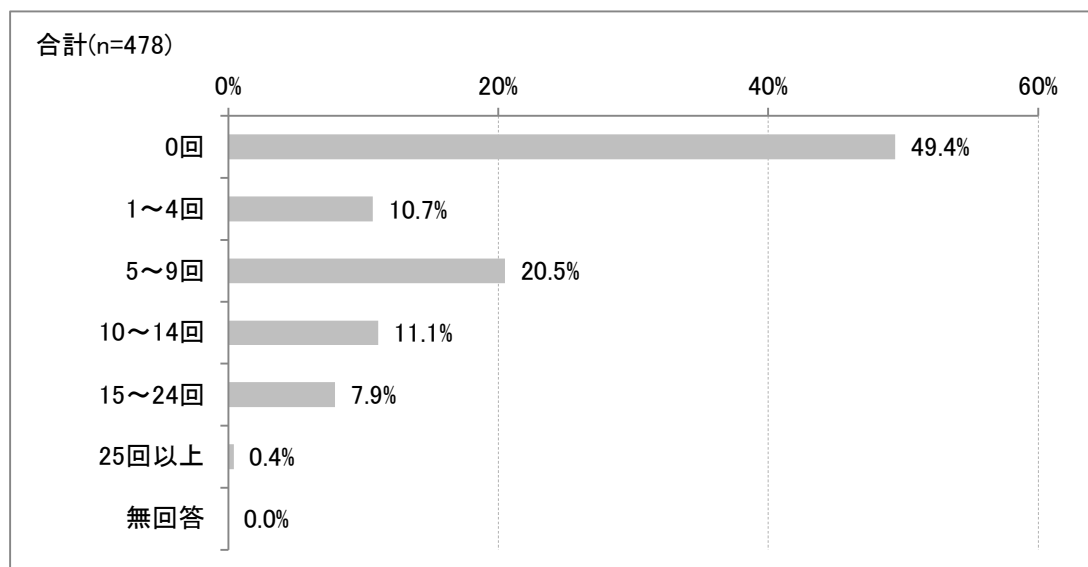
図表 3-5 サービスの利用回数（訪問系）



(6) 通所系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く 49.4%となっている。次いで、「5～9回（20.5%）」、「10～14回（11.1%）」となっている。

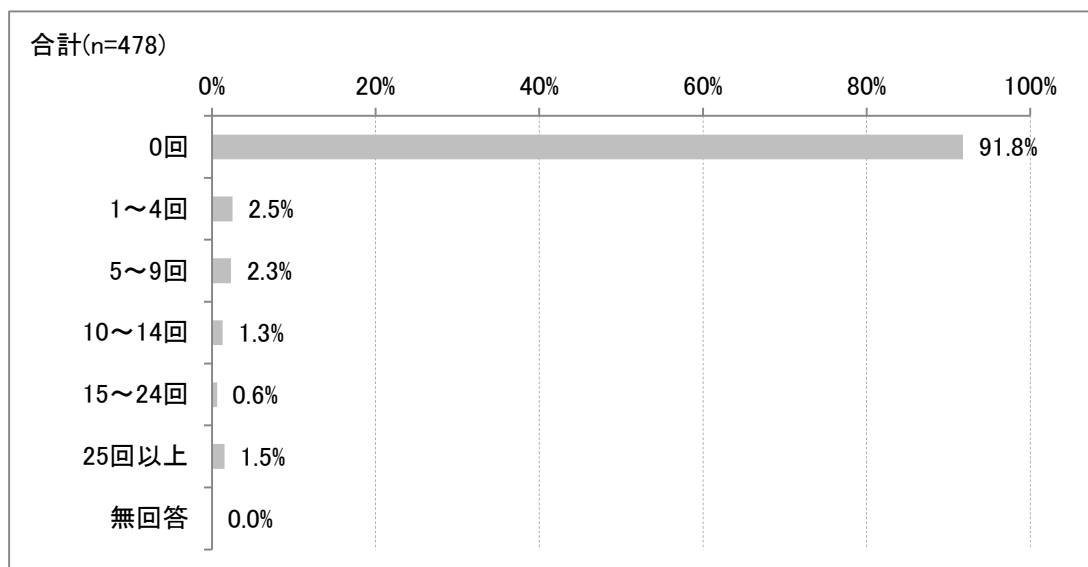
図表 3-6 サービスの利用回数（通所系）



(7) 短期系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く 91.8%となっている。次いで、「1～4回（2.5%）」、「5～9回（2.3%）」となっている。

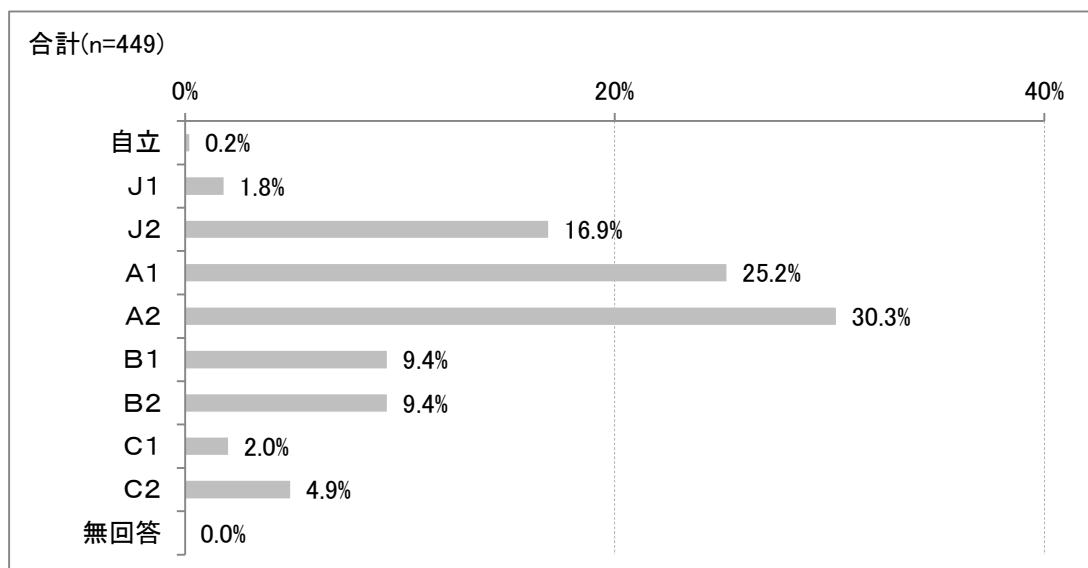
図表 3-7 サービスの利用回数（短期系）



(8) 障害高齢者の日常生活自立度

「A 2」の割合が最も高く 30.3%となっている。次いで、「A 1（25.2%）」、「J 2（16.9%）」となっている。

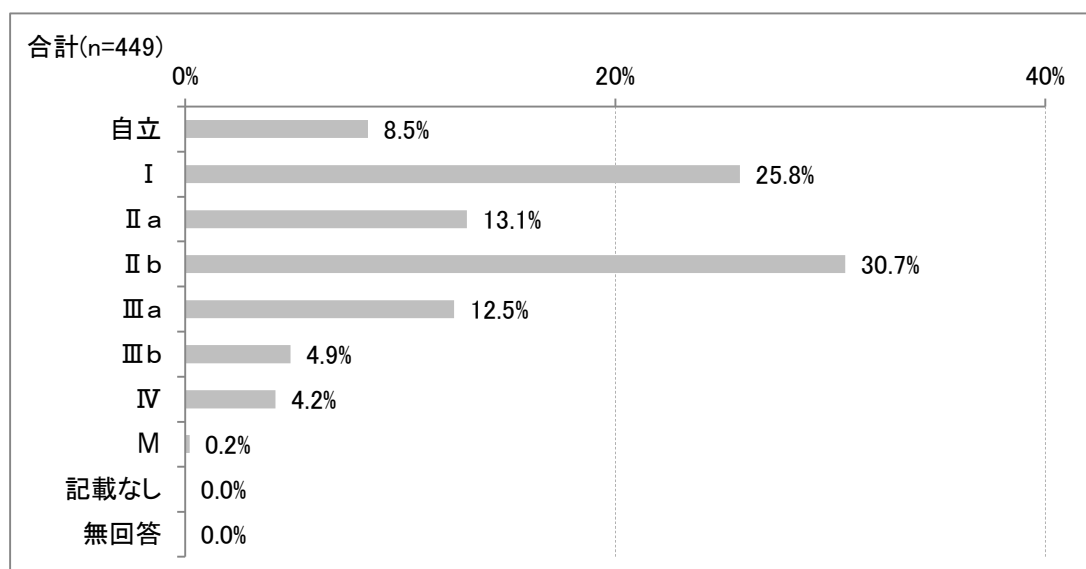
図表 3-8 障害高齢者の日常生活自立度



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

「Ⅱ b」の割合が最も高く 30.7%となっている。次いで、「Ⅰ」（25.8%）、「Ⅱ a」（13.1%）」となっている。

図表 3-9 認知症高齢者の日常生活自立度



【参考】

ランク	判断基準
Ⅰ	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
Ⅱ	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。
Ⅱ a	家庭外で上記Ⅱの状態がみられる。
Ⅱ b	家庭内でも上記Ⅱの状態がみられる。
Ⅲ	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さがみられ、介護を必要とする。
Ⅲ a	日中を中心として上記Ⅲの状態がみられる。
Ⅲ b	夜間を中心として上記Ⅲの状態がみられる
Ⅳ	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁にみられ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患がみられ、専門医療を必要とする。

Ⅱ クロス集計

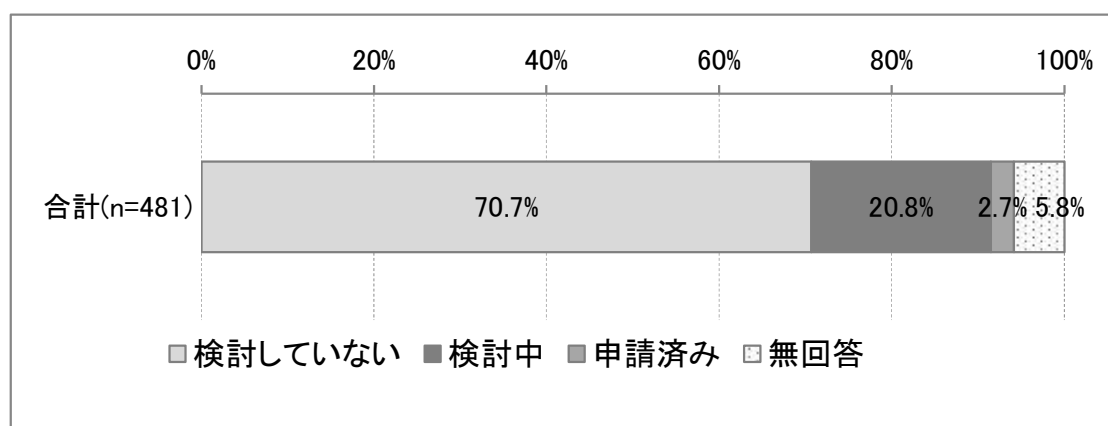
4 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

(1) 基礎集計

【施設等検討の状況】

「検討していない」の割合が最も高く 70.7%となっている。次いで、「検討中（20.8）」、「申請済み（2.7%）」となっている。

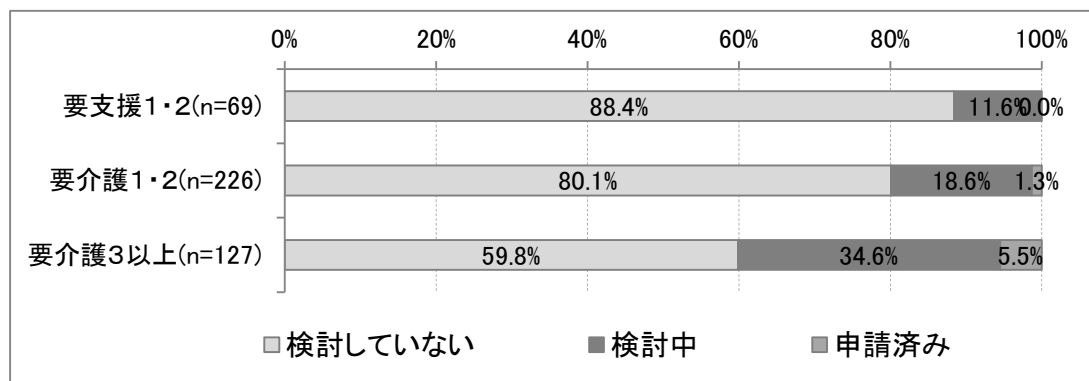
図表 4-1 施設等検討の状況



【要介護度別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が 88.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 11.6%、「申請済み」が 0.0%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が 80.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 18.6%、「申請済み」が 1.3%となっている。「要介護3以上」では「検討していない」が 59.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 34.6%、「申請済み」が 5.5%となっている。

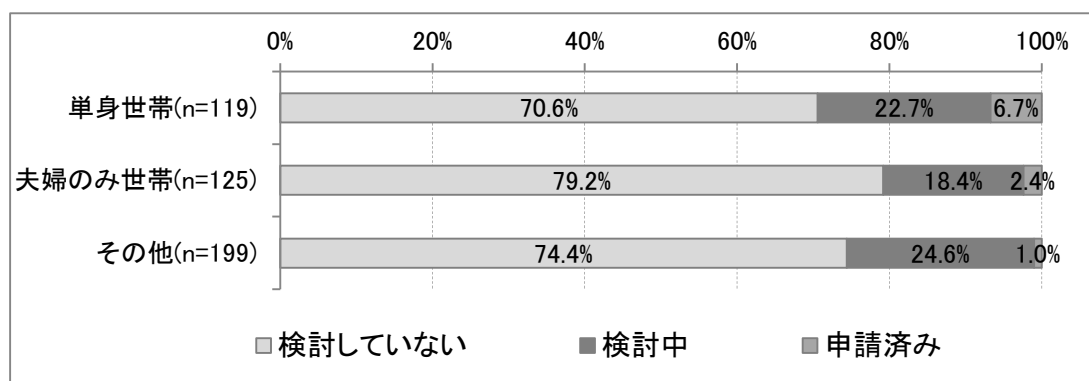
図表 4-2 要介護度別・施設等検討の状況



【世帯類型別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が70.6%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が22.7%、「申請済み」が6.7%となっている。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が79.2%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が18.4%、「申請済み」が2.4%となっている。「その他」では「検討していない」が74.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が24.6%、「申請済み」が1.0%となっている。

図表 4-3 世帯類型別・施設等検討の状況

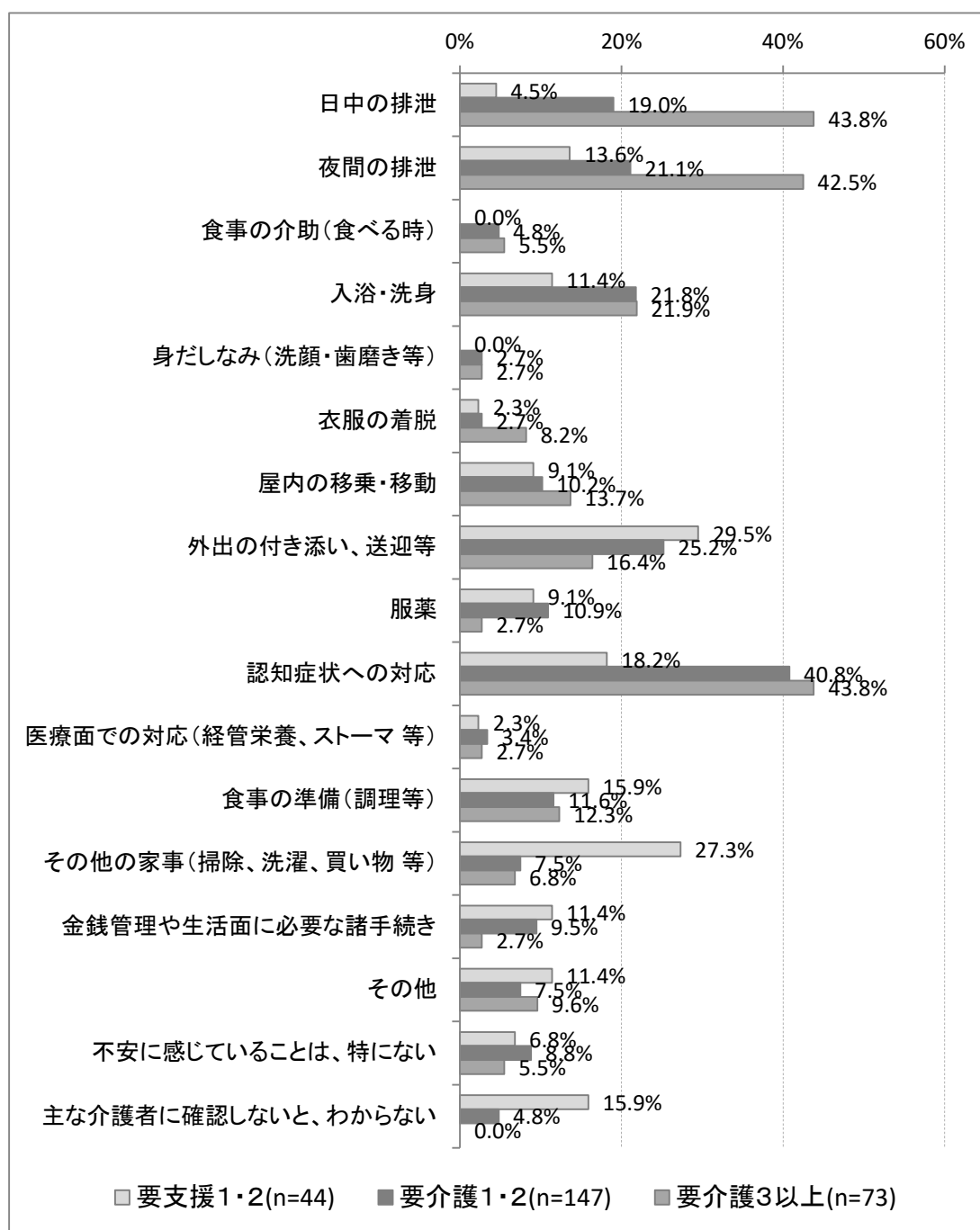


(2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】

介護者が不安に感じる介護を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「外出の付き添い、送迎等」が 29.5% ともっとも割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 27.3%、「認知症状への対応」が 18.2% となっている。「要介護１・２」では「認知症状への対応」が 40.8% ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 25.2%、「入浴・洗身」が 21.8% となっている。「要介護３以上」では「日中の排泄」、「認知症状への対応」が 43.8% ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 42.5%、「入浴・洗身」が 21.9% となっている。

図表 4-4 要介護度別・介護者が不安に感じる介護

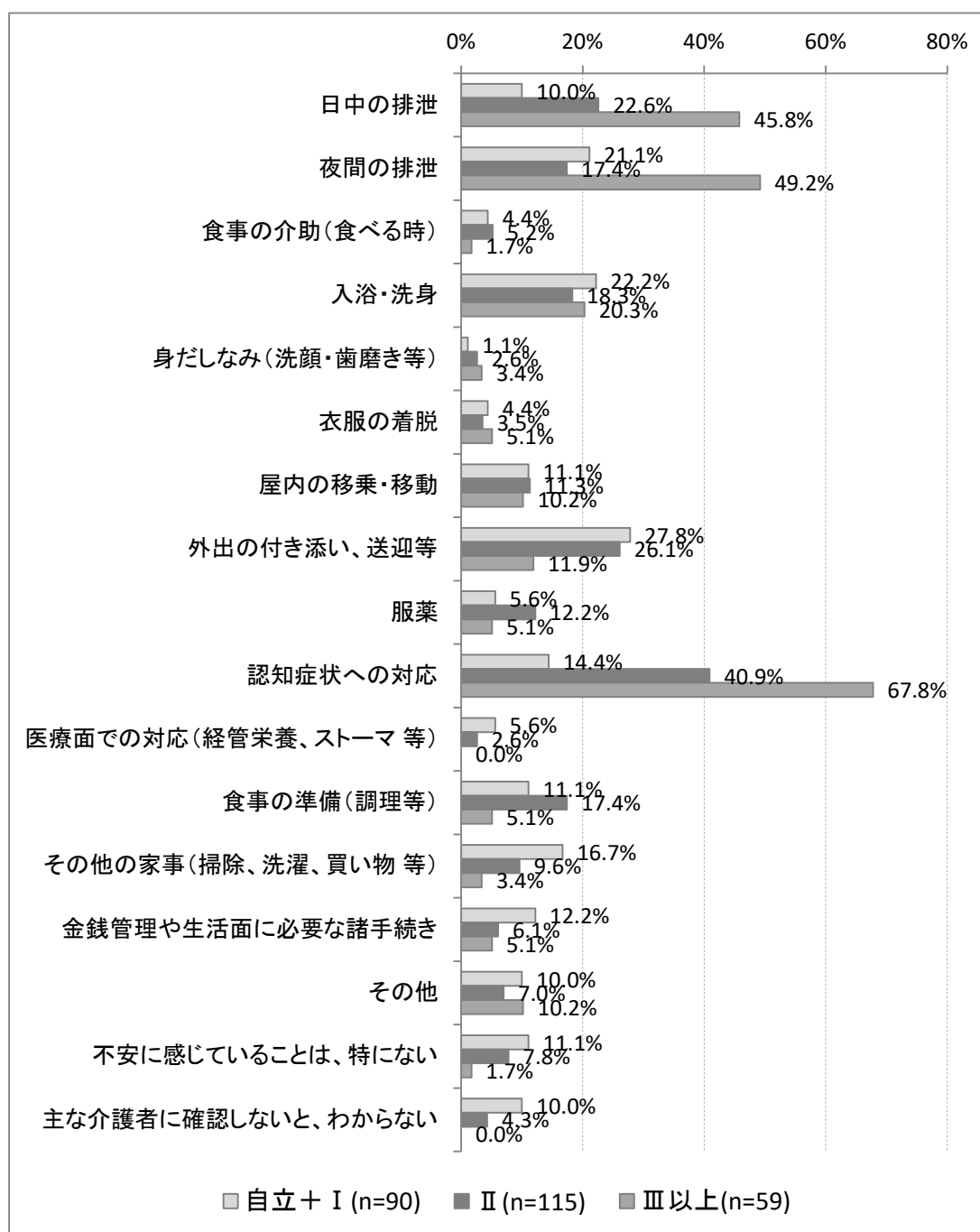


【認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護】

介護者が不安に感じる介護を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「外出の付き添い、送迎等」が27.8%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が22.2%、「夜間の排泄」が21.1%となっている。「Ⅱ」では「認知症状への対応」が40.9%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が26.1%、「日中の排泄」が22.6%となっている。

「Ⅲ以上」では「認知症状への対応」が67.8%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が49.2%、「日中の排泄」が45.8%となっている。

図表 4-5 認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護

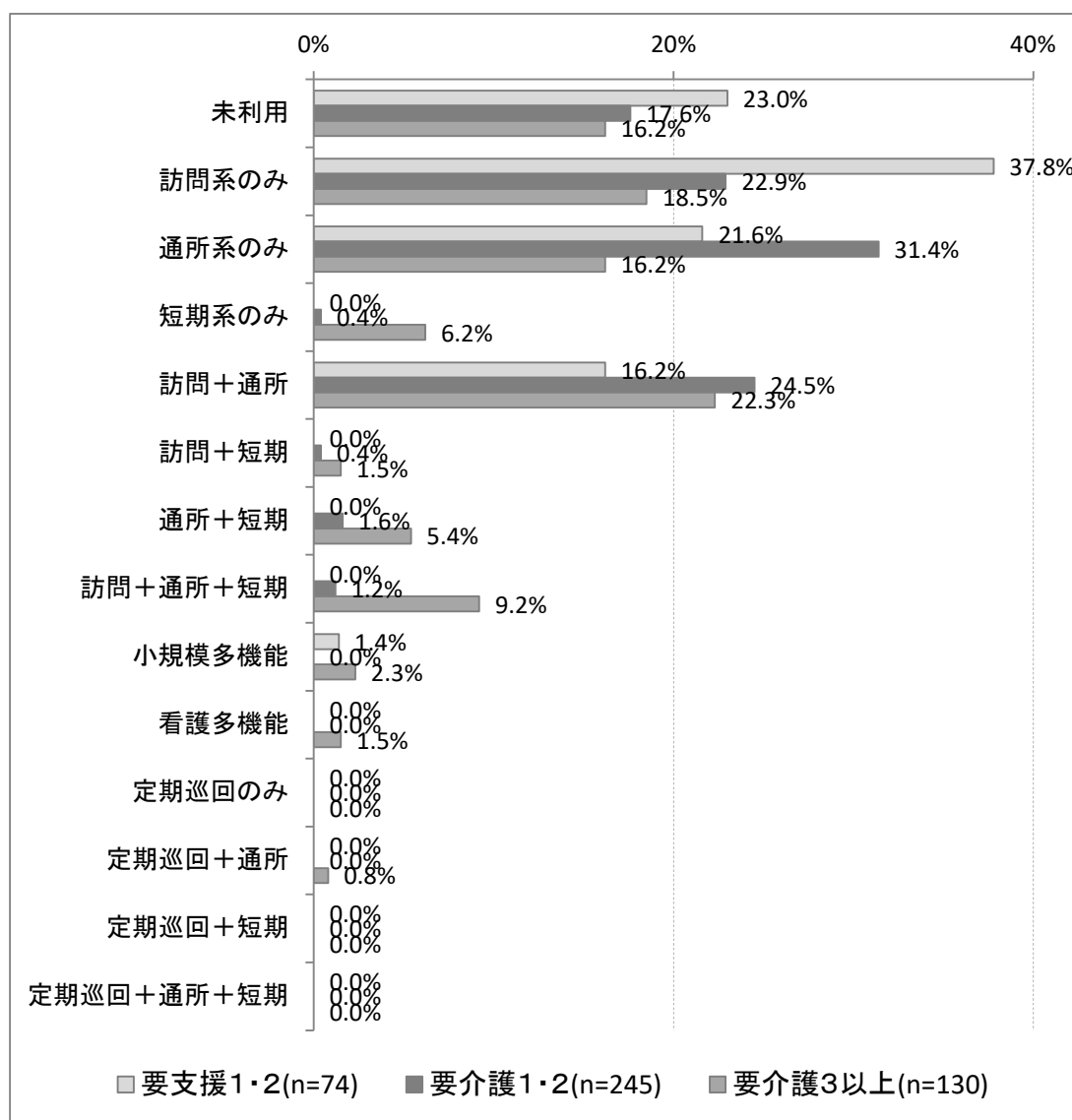


(3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「訪問系のみ」が37.8%と最も割合が高く、次いで「未利用」が23.0%、「通所系のみ」が21.6%となっている。「要介護1・2」では「通所系のみ」が31.4%と最も割合が高く、次いで「訪問+通所」が24.5%、「訪問系のみ」が22.9%となっている。「要介護3以上」では「訪問+通所」が22.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が18.5%、「未利用」、「通所系のみ」が16.2%となっている。

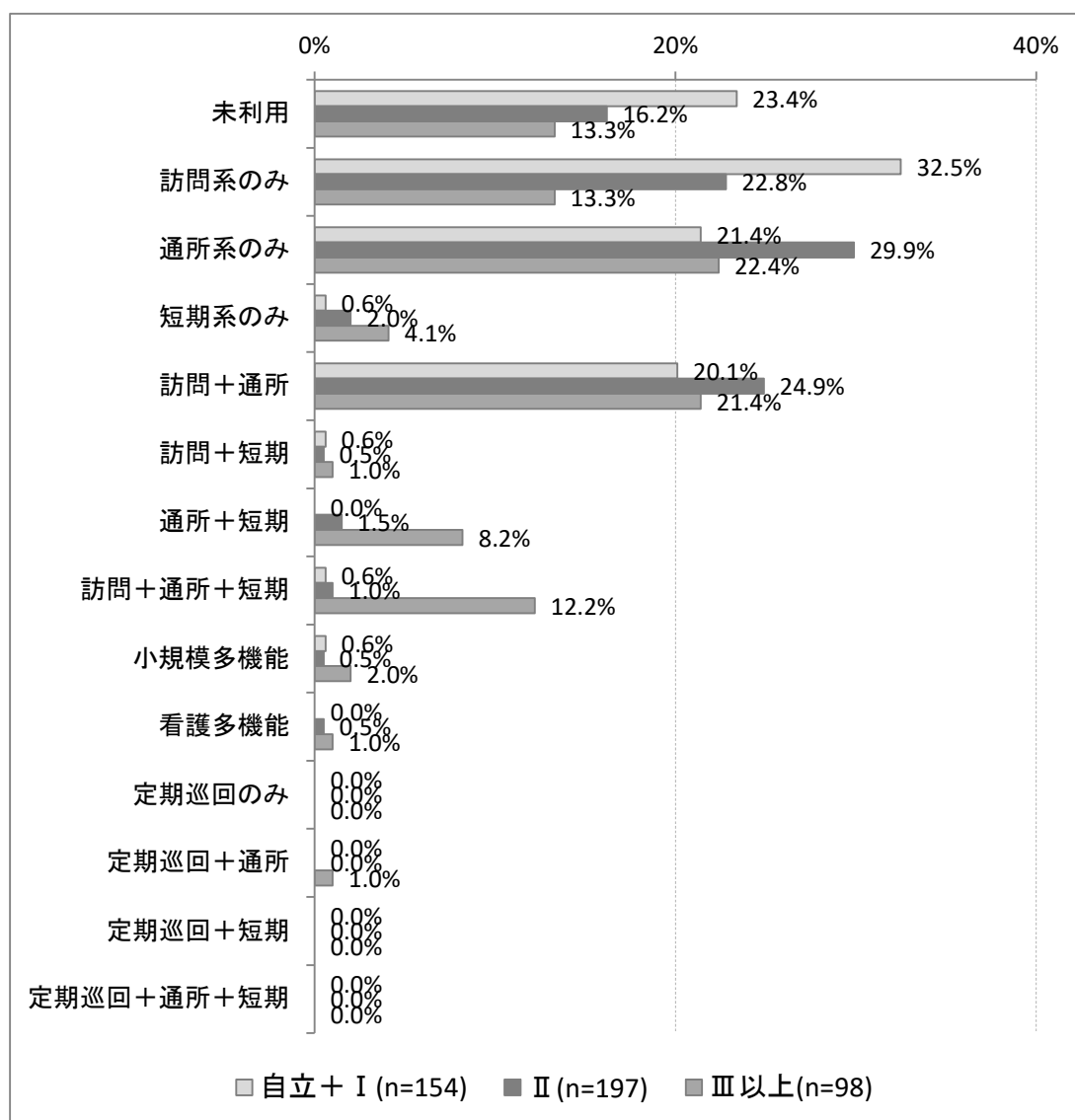
図表 4-6 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「訪問系のみ」が32.5%と最も割合が高く、次いで「未利用」が23.4%、「通所系のみ」が21.4%となっている。「Ⅱ」では「通所系のみ」が29.9%と最も割合が高く、次いで「訪問＋通所」が24.9%、「訪問系のみ」が22.8%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系のみ」が22.4%と最も割合が高く、次いで「訪問＋通所」が21.4%、「未利用」、「訪問系のみ」が13.3%となっている。

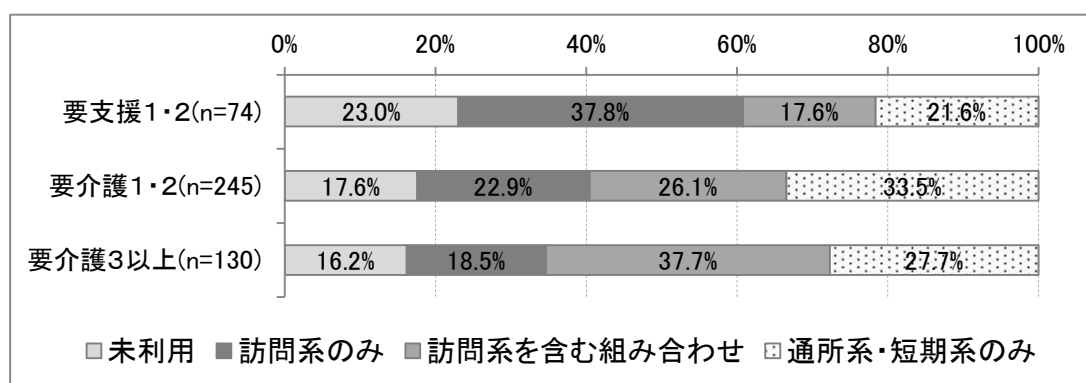
図表 4-7 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「訪問系のみ」が37.8%と最も割合が高く、次いで「未利用」が23.0%、「通所系・短期系のみ」が21.6%となっている。「要介護１・２」では「通所系・短期系のみ」が33.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が26.1%、「訪問系のみ」が22.9%となっている。「要介護３以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が37.7%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が27.7%、「訪問系のみ」が18.5%となっている。

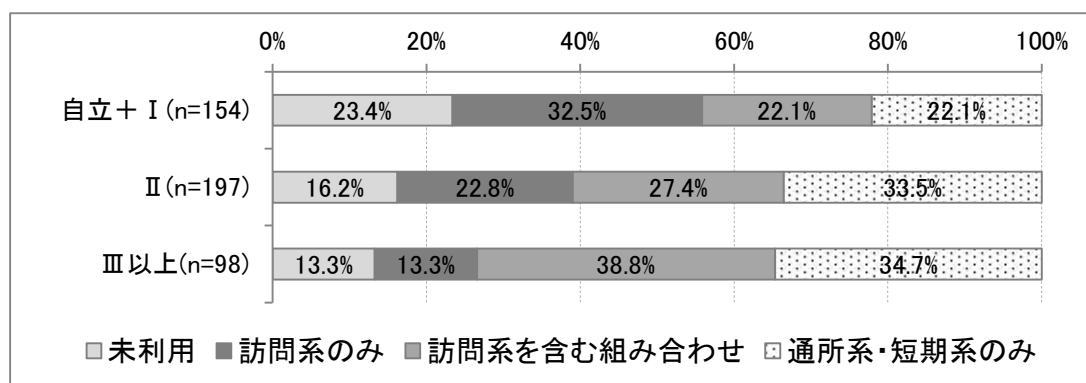
図表 4-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「訪問系のみ」が32.5%と最も割合が高く、次いで「未利用」が23.4%、「訪問系を含む組み合わせ」、「通所系・短期系のみ」が22.1%となっている。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が33.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が27.4%、「訪問系のみ」が22.8%となっている。「Ⅲ以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が38.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が34.7%、「未利用」、「訪問系のみ」が13.3%となっている。

図表 4-9 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ

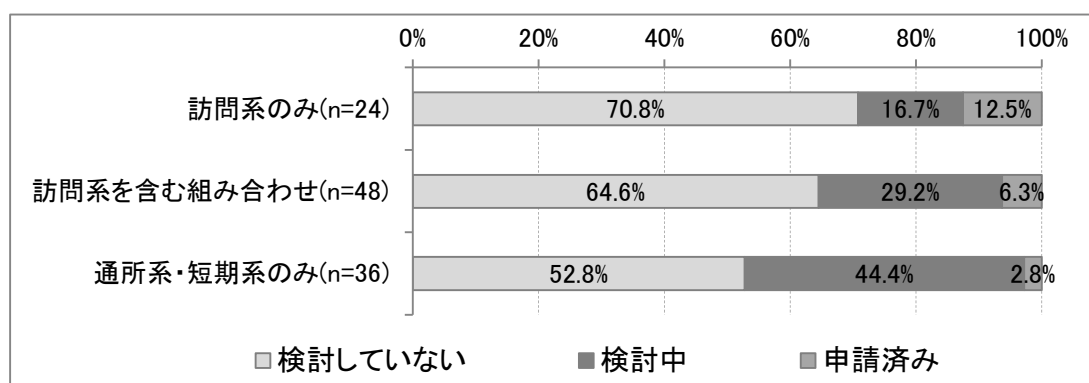


(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護3以上)】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が70.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が16.7%、「申請済み」が12.5%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が64.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が29.2%、「申請済み」が6.3%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が52.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が44.4%、「申請済み」が2.8%となっている。

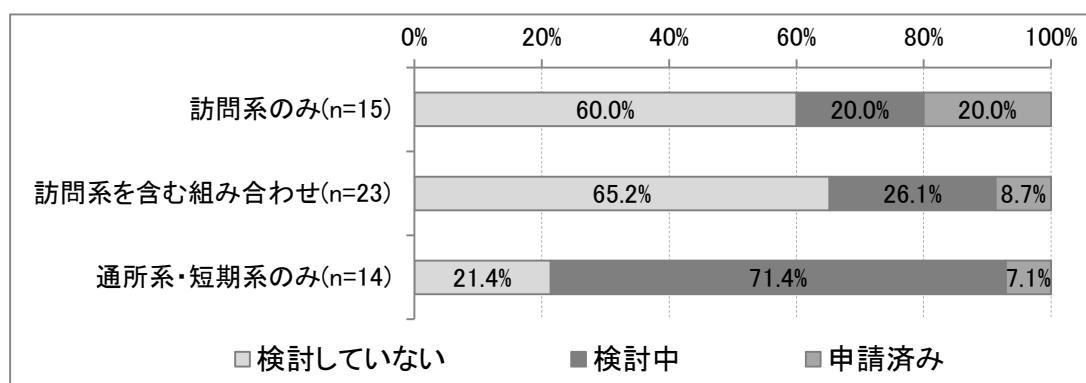
図表 4-10 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護4以上)】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が60.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が20.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が65.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が26.1%、「申請済み」が8.7%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討中」が71.4%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が21.4%、「申請済み」が7.1%となっている。

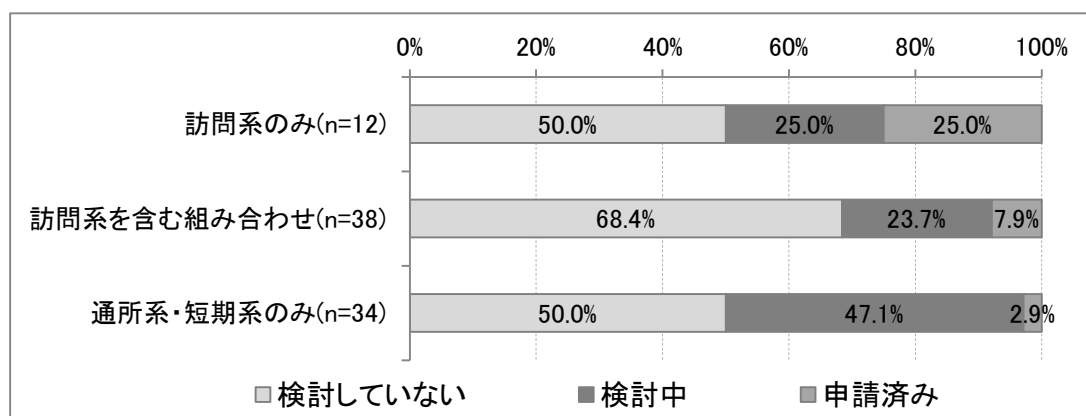
図表 4-11 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(認知症Ⅲ以上)】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が25.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が68.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が23.7%、「申請済み」が7.9%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が47.1%、「申請済み」が2.9%となっている。

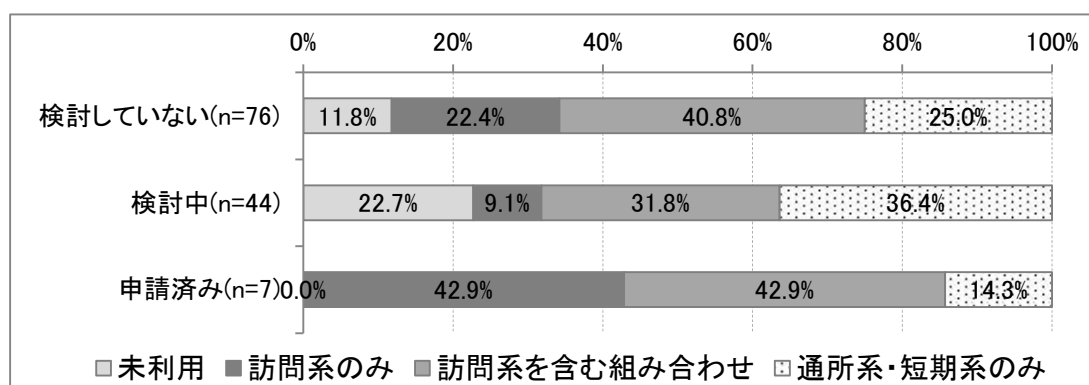
図表 4-12 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護3以上)】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「訪問系を含む組み合わせ」が40.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が25.0%、「訪問系のみ」が22.4%となっている。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が36.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が31.8%、「未利用」が22.7%となっている。「申請済み」では「訪問系のみ」が42.9%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が14.3%、「未利用」が0.0%となっている。

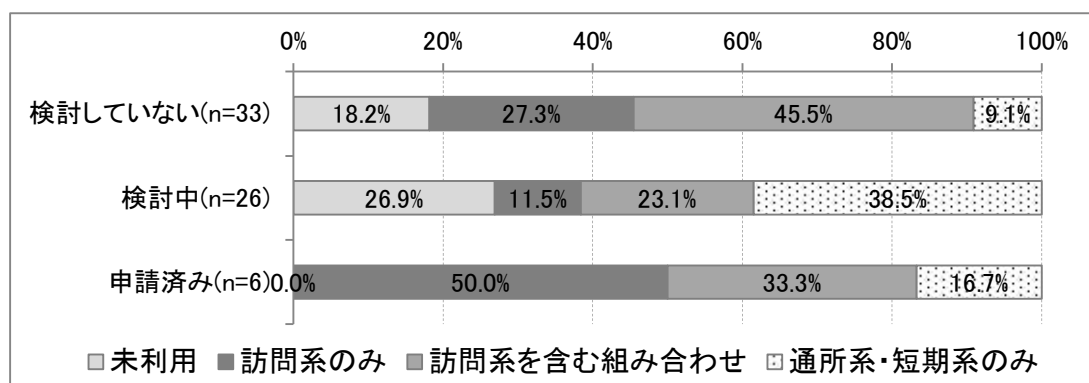
図表 4-13 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護4以上)】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「訪問系を含む組み合わせ」が45.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が27.3%、「未利用」が18.2%となっている。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が38.5%と最も割合が高く、次いで「未利用」が26.9%、「訪問系を含む組み合わせ」が23.1%となっている。「申請済み」では「訪問系のみ」が50.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が33.3%、「通所系・短期系のみ」が16.7%となっている。

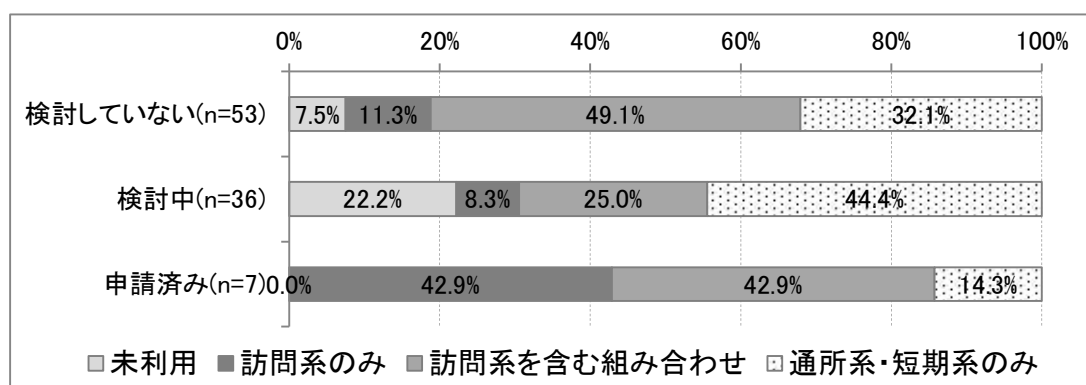
図表 4-14 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「訪問系を含む組み合わせ」が49.1%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が32.1%、「訪問系のみ」が11.3%となっている。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が44.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が25.0%、「未利用」が22.2%となっている。「申請済み」では「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が42.9%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が14.3%、「未利用」が0.0%となっている。

図表 4-15 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）

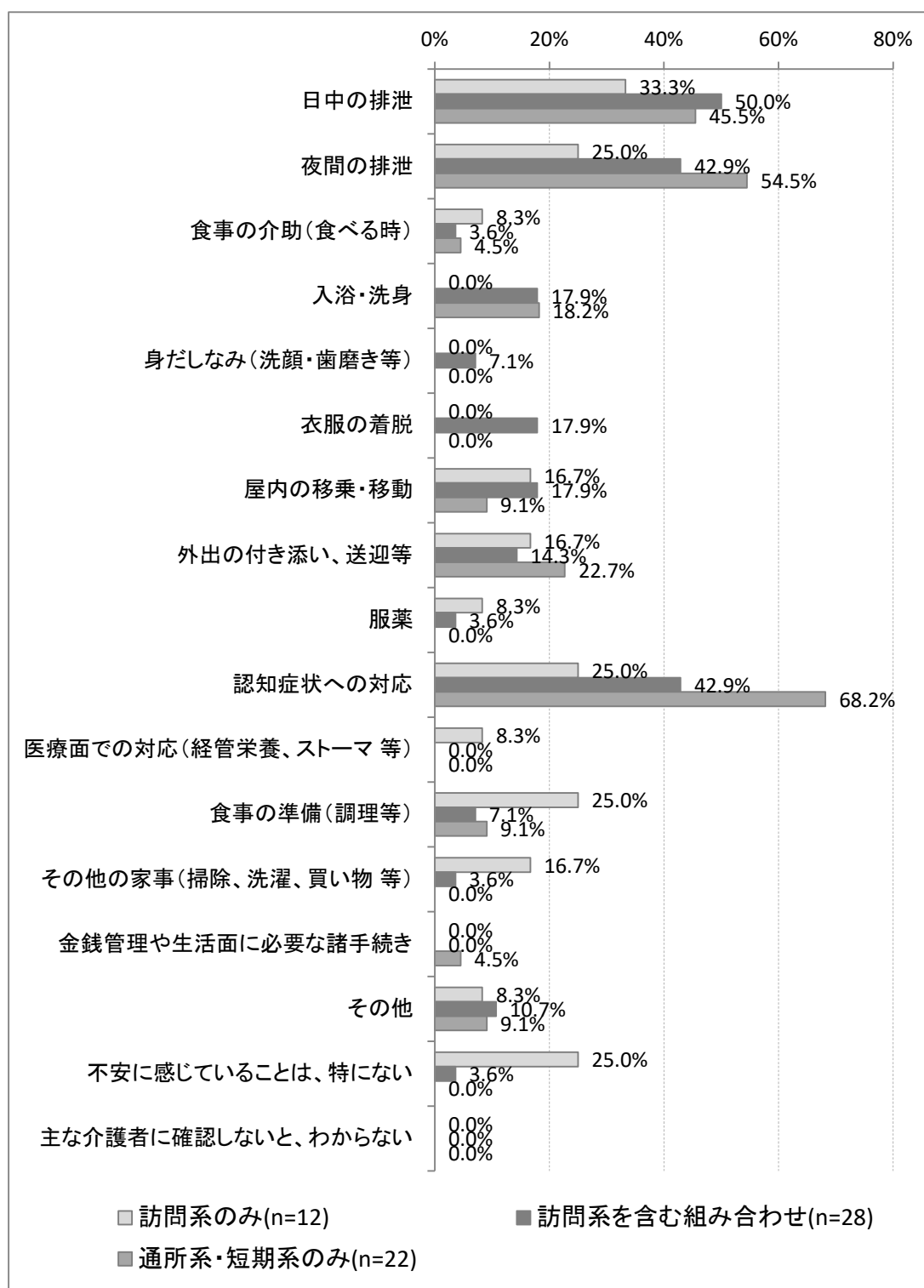


(5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護(要介護3以上)】

介護者が不安に感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「日中の排泄」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」、「不安に感じていることは、特にない」が25.0%、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が16.7%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「日中の排泄」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が42.9%、「入浴・洗身」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」が17.9%となっている。「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が68.2%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が54.5%、「日中の排泄」が45.5%となっている。

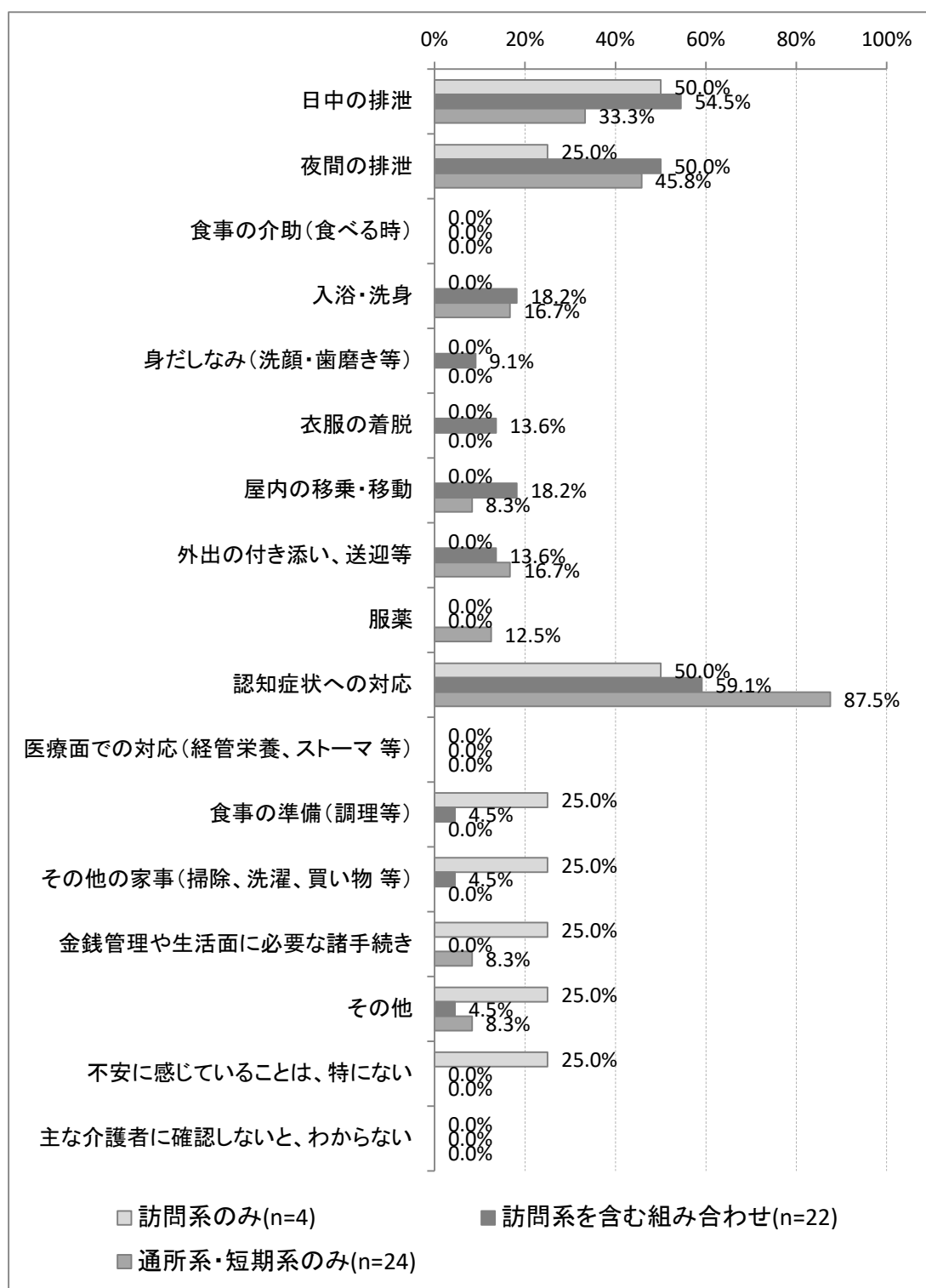
図表 4-16 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）



【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「日中の排泄」、「認知症状への対応」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」が25.0%、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が0.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「認知症状への対応」が59.1%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が54.5%、「夜間の排泄」が50.0%となっている。「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が87.5%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が45.8%、「日中の排泄」が33.3%となっている。

図表 4-17 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）

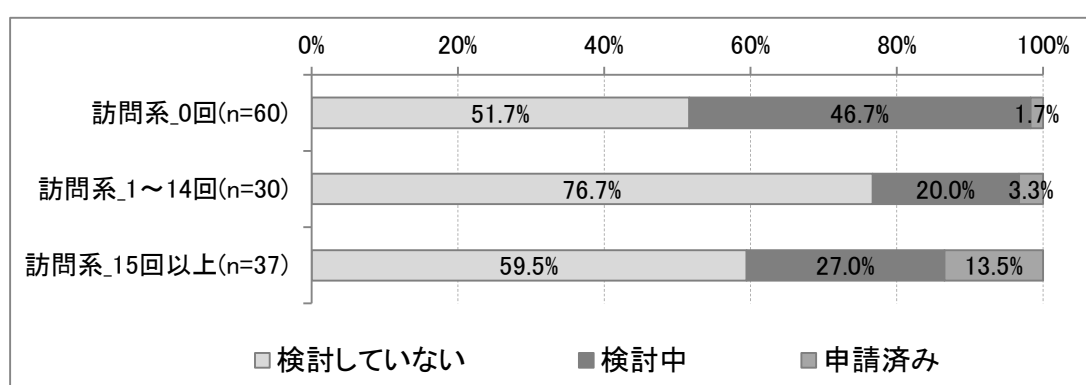


(6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

【サービス利用回数と施設等検討の状況(訪問系、要介護3以上)】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「検討していない」が51.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が46.7%、「申請済み」が1.7%となっている。「訪問系_1～14回」では「検討していない」が76.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.0%、「申請済み」が3.3%となっている。「訪問系_15回以上」では「検討していない」が59.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が27.0%、「申請済み」が13.5%となっている。

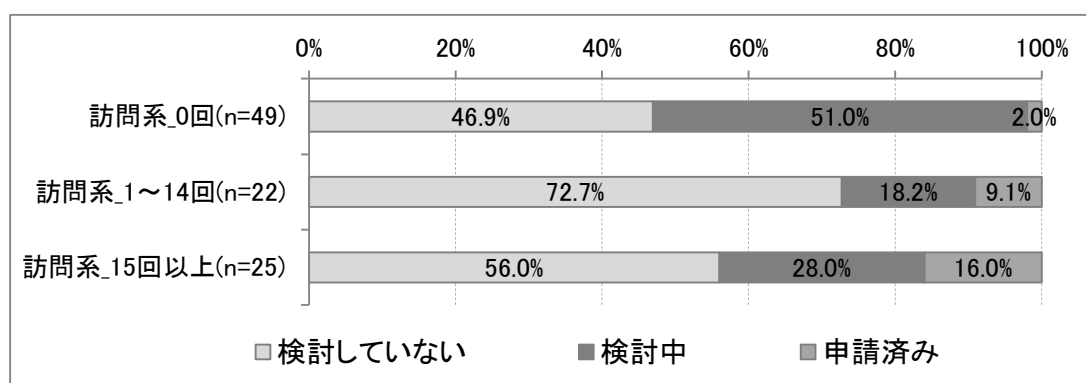
図表 4-18 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況(訪問系、認知症Ⅲ以上)】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「検討中」が51.0%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が46.9%、「申請済み」が2.0%となっている。「訪問系_1～14回」では「検討していない」が72.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が18.2%、「申請済み」が9.1%となっている。「訪問系_15回以上」では「検討していない」が56.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が28.0%、「申請済み」が16.0%となっている。

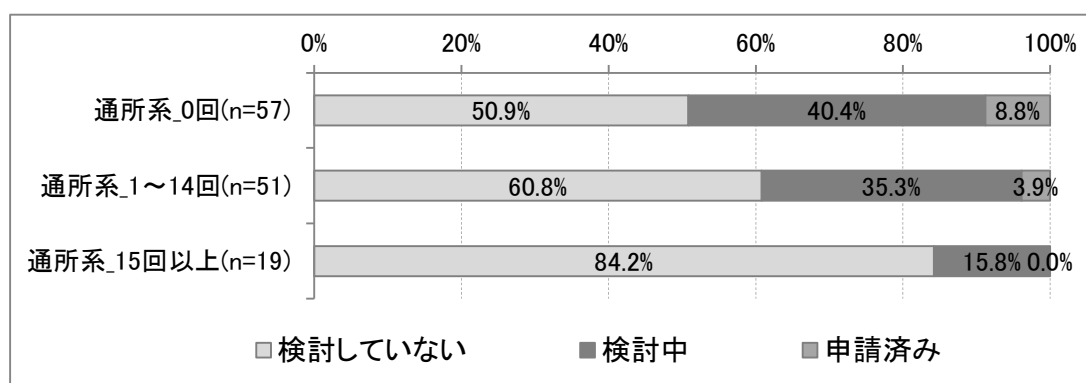
図表 4-19 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況(通所系、要介護3以上)】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「検討していない」が50.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が40.4%、「申請済み」が8.8%となっている。「通所系_1～14回」では「検討していない」が60.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が35.3%、「申請済み」が3.9%となっている。「通所系_15回以上」では「検討していない」が84.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が15.8%、「申請済み」が0.0%となっている。

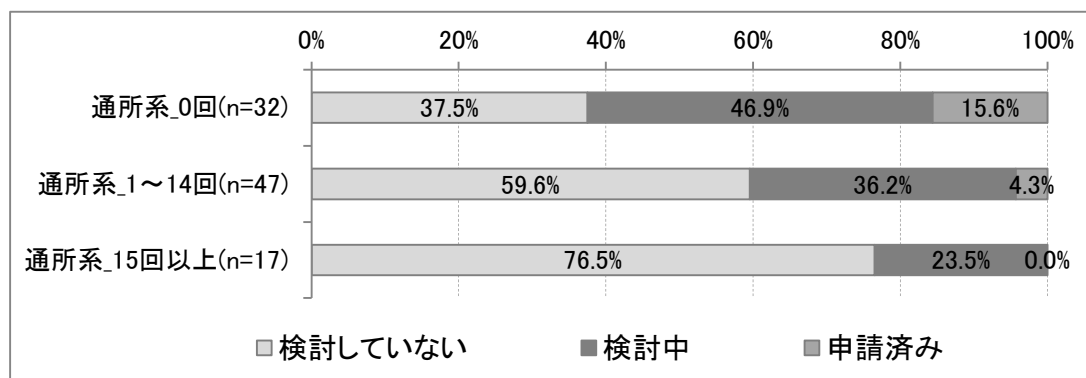
図表 4-20 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護3以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況(通所系、認知症Ⅲ以上)】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「検討中」が46.9%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が37.5%、「申請済み」が15.6%となっている。「通所系_1～14回」では「検討していない」が59.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が36.2%、「申請済み」が4.3%となっている。「通所系_15回以上」では「検討していない」が76.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が23.5%、「申請済み」が0.0%となっている。

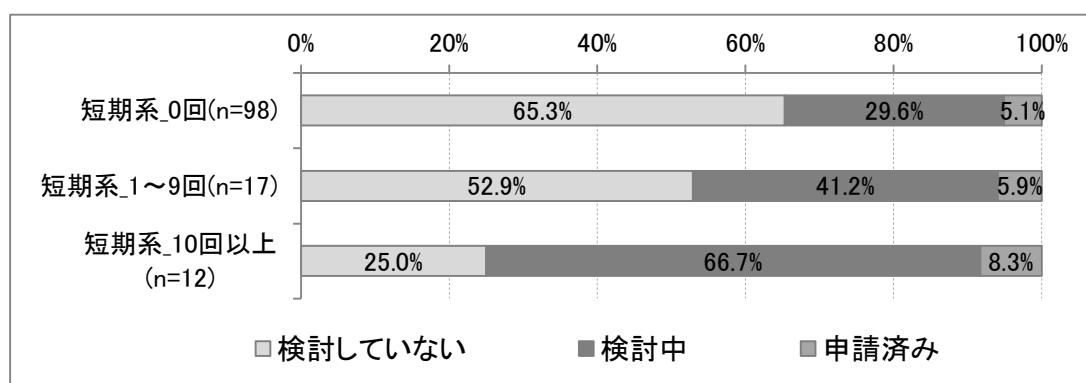
図表 4-21 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況(短期系、要介護3以上)】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「検討していない」が65.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が29.6%、「申請済み」が5.1%となっている。「短期系_1～9回」では「検討していない」が52.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が41.2%、「申請済み」が5.9%となっている。「短期系_10回以上」では「検討中」が66.7%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が25.0%、「申請済み」が8.3%となっている。

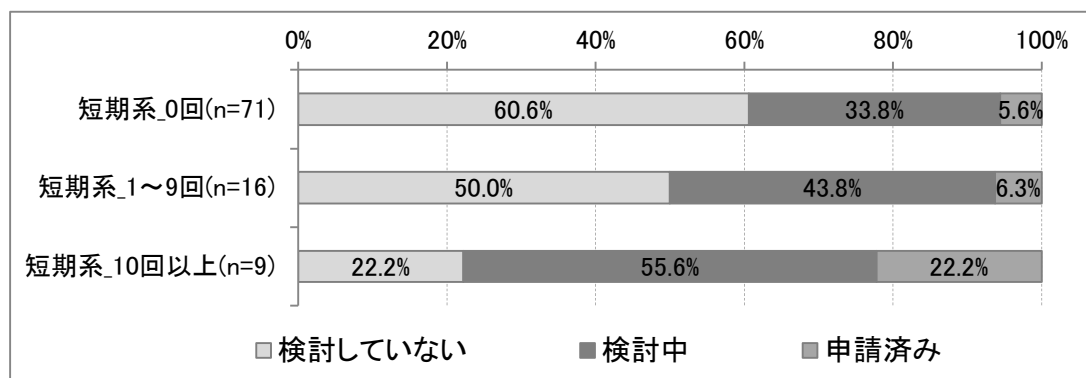
図表 4-22 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護3以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況(短期系、認知症Ⅲ以上)】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「検討していない」が60.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が33.8%、「申請済み」が5.6%となっている。「短期系_1～9回」では「検討していない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が43.8%、「申請済み」が6.3%となっている。「短期系_10回以上」では「検討中」が55.6%と最も割合が高く、次いで「検討していない」、「申請済み」が22.2%となっている。

図表 4-23 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）

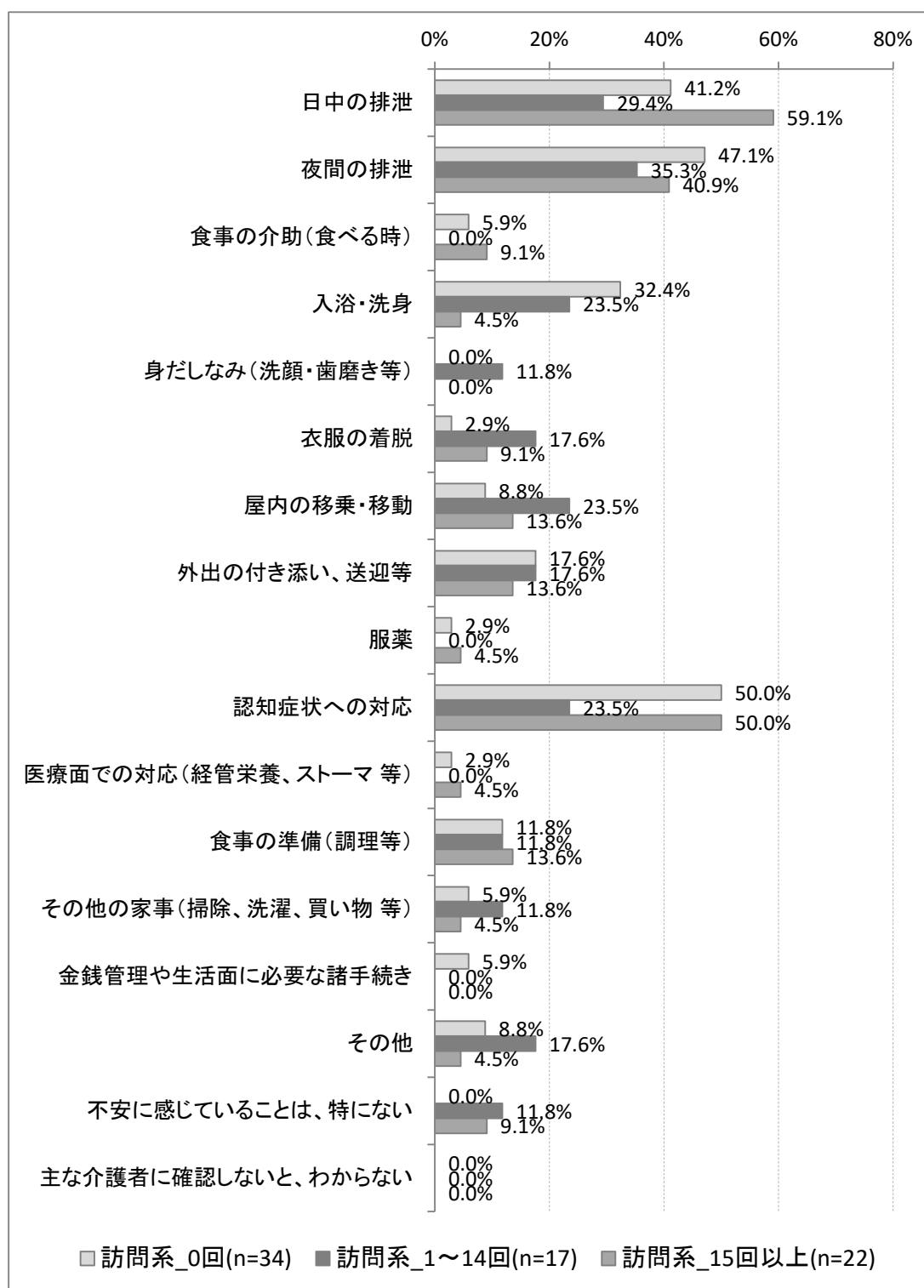


(7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(訪問系、要介護3以上)】

介護者が不安に感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「認知症状への対応」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が47.1%、「日中の排泄」が41.2%となっている。「訪問系_1～14回」では「夜間の排泄」が35.3%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が29.4%、「入浴・洗身」、「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」が23.5%となっている。「訪問系_15回以上」では「日中の排泄」が59.1%ともっとも割合が高く、次いで「認知症状への対応」が50.0%、「夜間の排泄」が40.9%となっている。

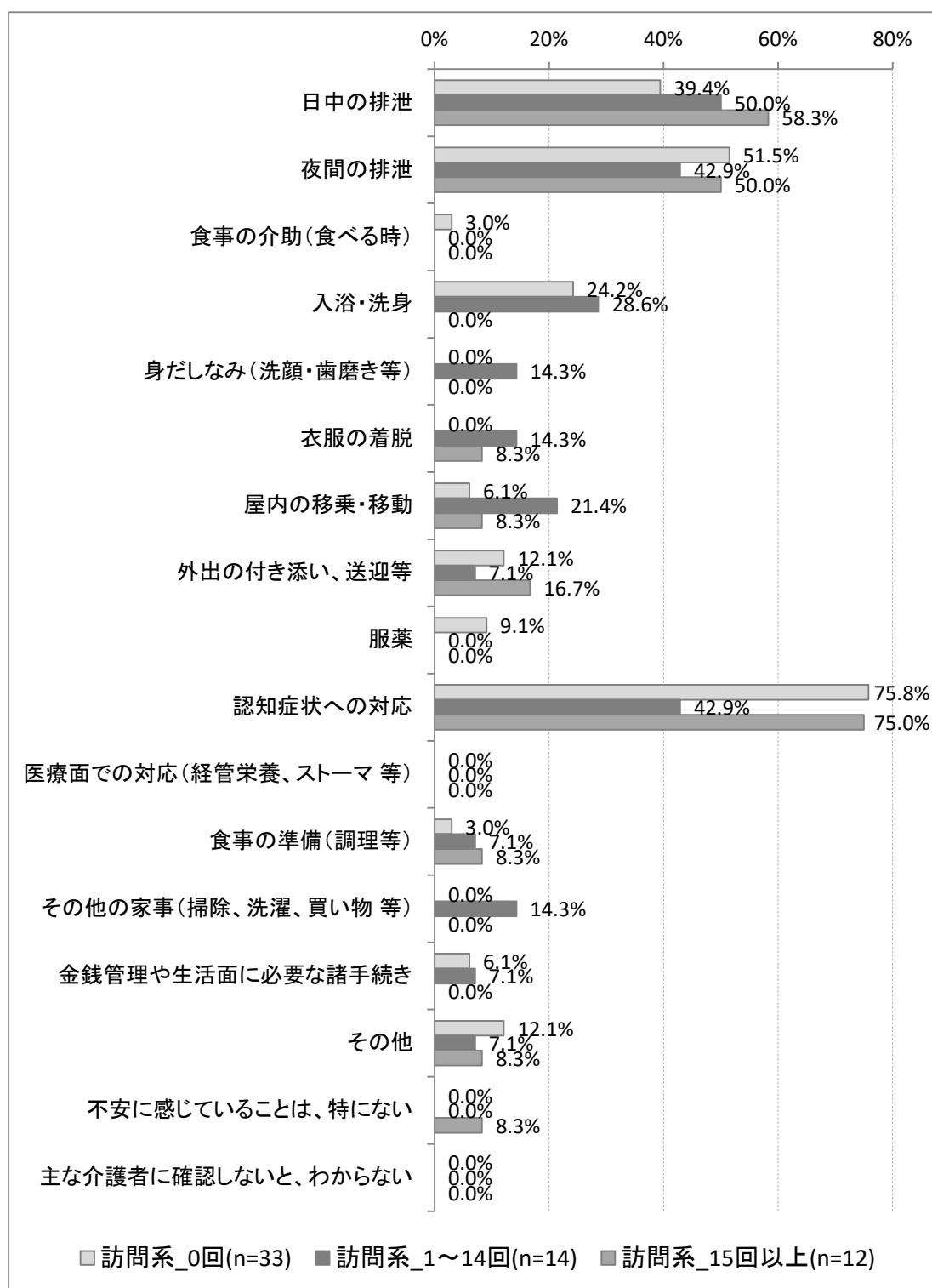
図表 4-24 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安に感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「認知症状への対応」が75.8%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が51.5%、「日中の排泄」が39.4%となっている。「訪問系_1～14回」では「日中の排泄」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が42.9%、「入浴・洗身」が28.6%となっている。「訪問系_15回以上」では「認知症状への対応」が75.0%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が58.3%、「夜間の排泄」が50.0%となっている。

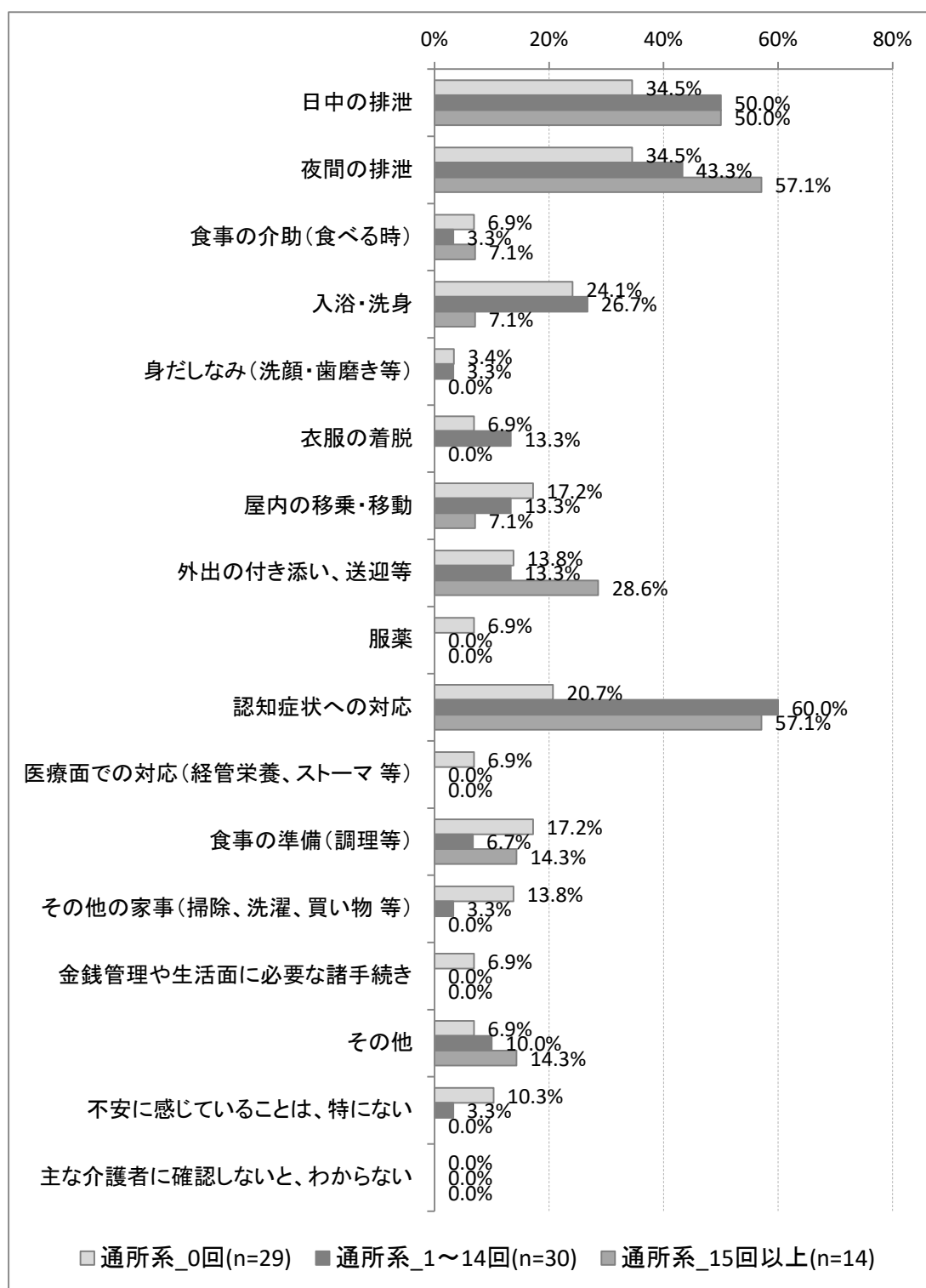
図表 4-25 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(通所系、要介護3以上)】

介護者が不安に感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が34.5%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が24.1%、「認知症状への対応」が20.7%となっている。「通所系_1～14回」では「認知症状への対応」が60.0%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が50.0%、「夜間の排泄」が43.3%となっている。「通所系_15回以上」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が57.1%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が50.0%、「外出の付き添い、送迎等」が28.6%となっている。

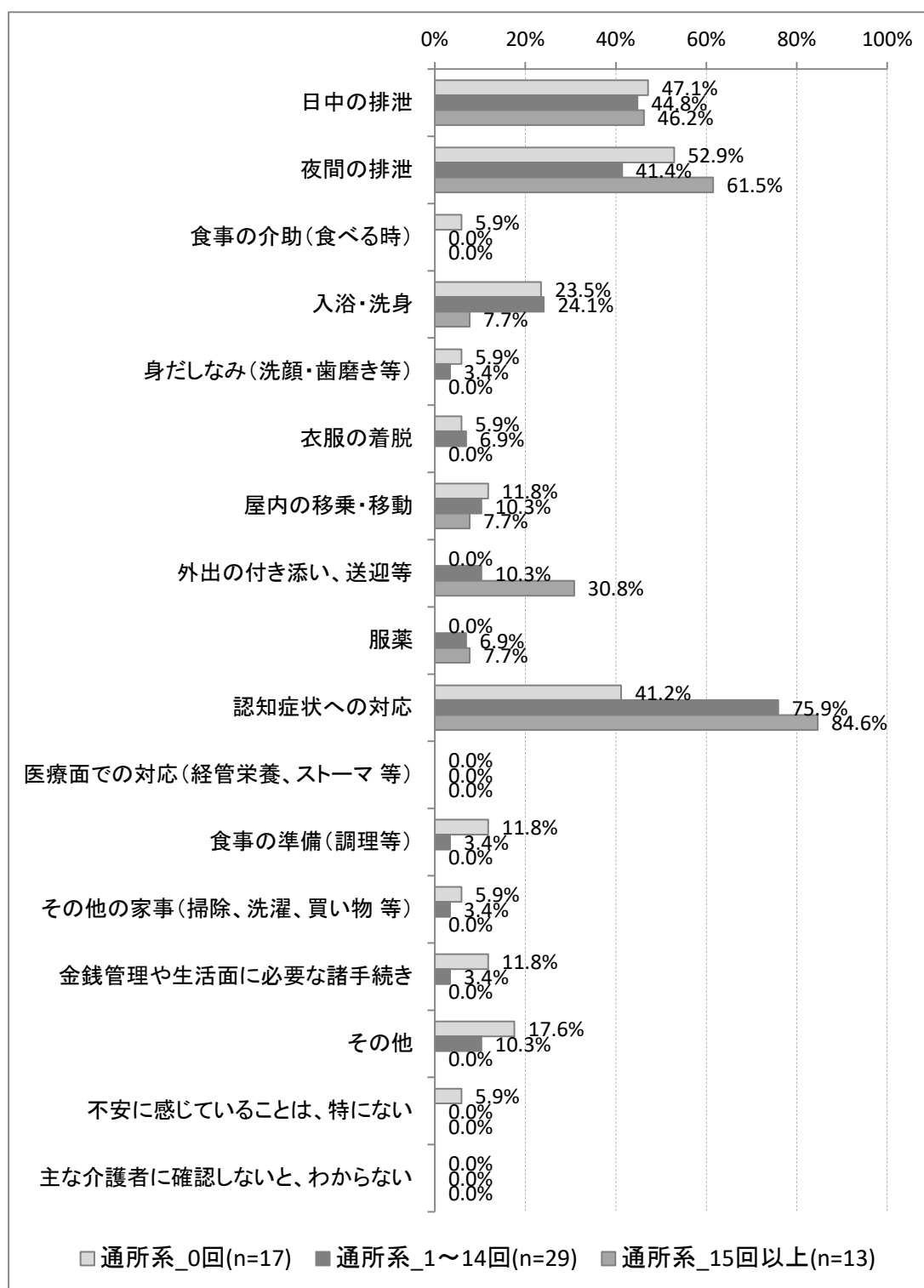
図表 4-26 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(通所系、認知症Ⅲ以上)】

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「夜間の排泄」が52.9%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が47.1%、「認知症状への対応」が41.2%となっている。「通所系_1～14回」では「認知症状への対応」が75.9%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が44.8%、「夜間の排泄」が41.4%となっている。「通所系_15回以上」では「認知症状への対応」が84.6%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が61.5%、「日中の排泄」が46.2%となっている。

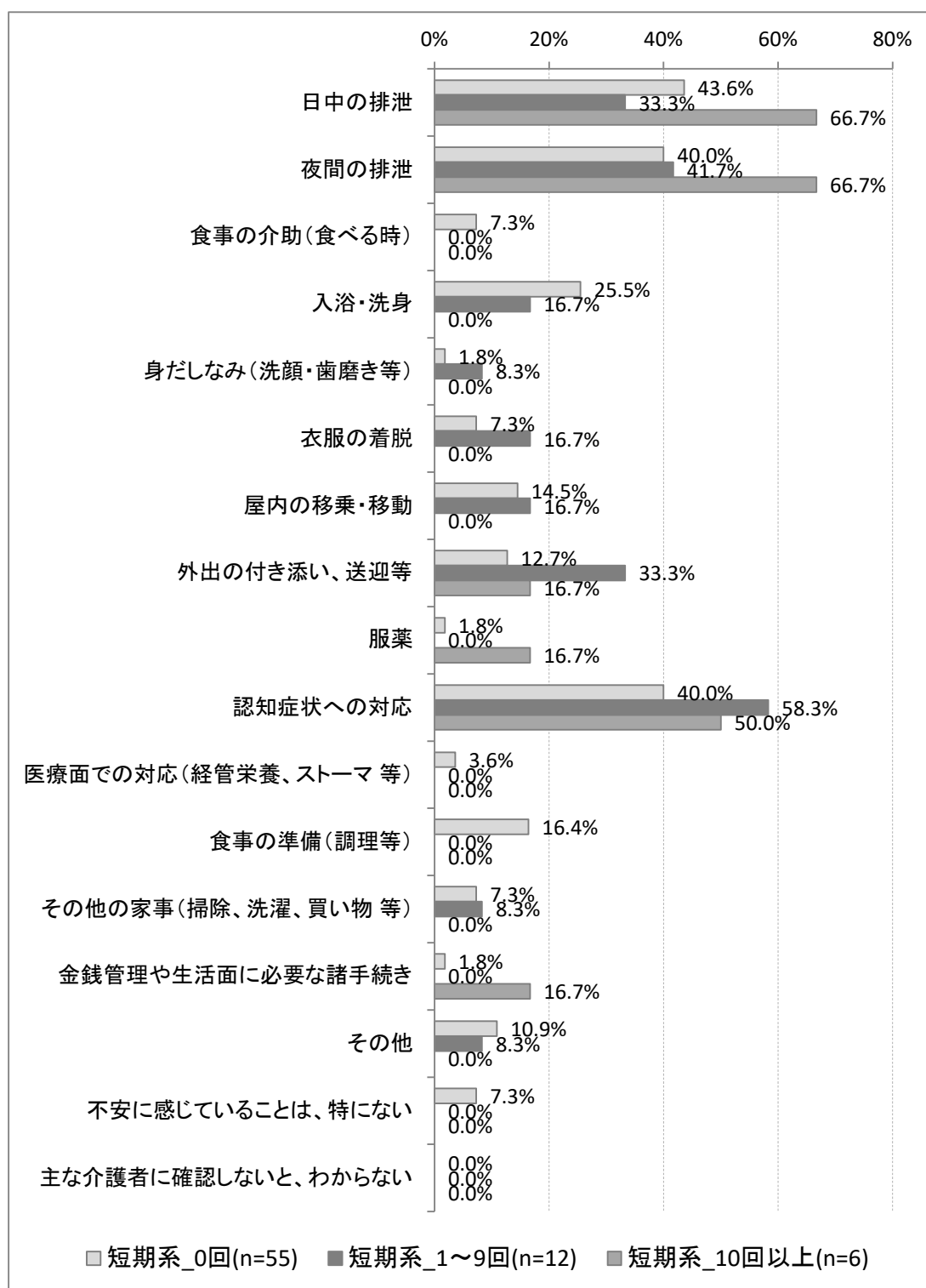
図表 4-27 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(短期系、要介護3以上)】

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「日中の排泄」が43.6%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が40.0%、「入浴・洗身」が25.5%となっている。「短期系_1～9回」では「認知症状への対応」が58.3%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が41.7%、「日中の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が33.3%となっている。「短期系_10回以上」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が66.7%ともっとも割合が高く、次いで「認知症状への対応」が50.0%、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が16.7%となっている。

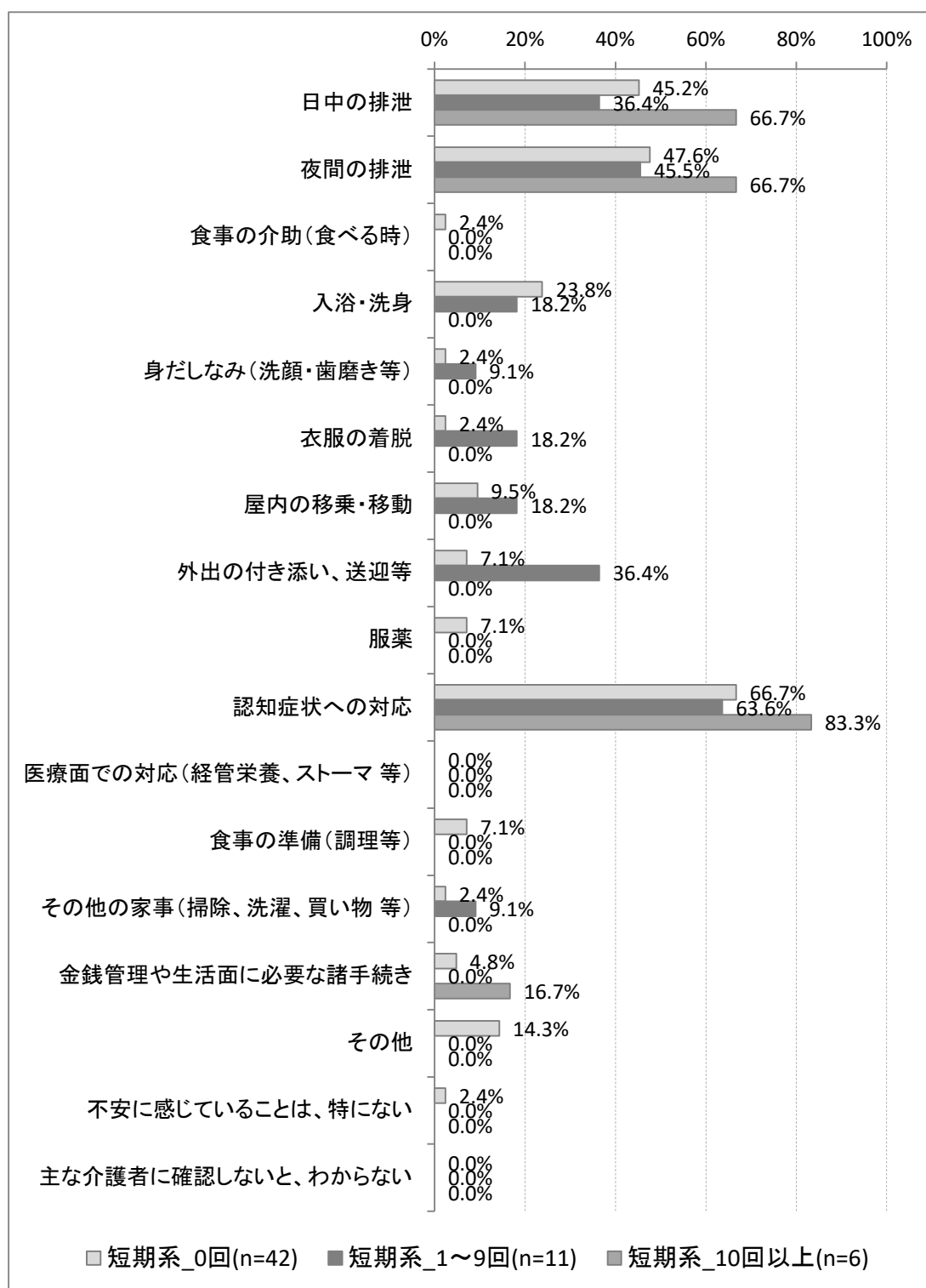
図表 4-28 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(短期系、認知症Ⅲ以上)】

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「認知症状への対応」が66.7%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が47.6%、「日中の排泄」が45.2%となっている。「短期系_1～9回」では「認知症状への対応」が63.6%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が45.5%、「日中の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が36.4%となっている。「短期系_10回以上」では「認知症状への対応」が83.3%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」が66.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が16.7%となっている。

図表 4-29 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）



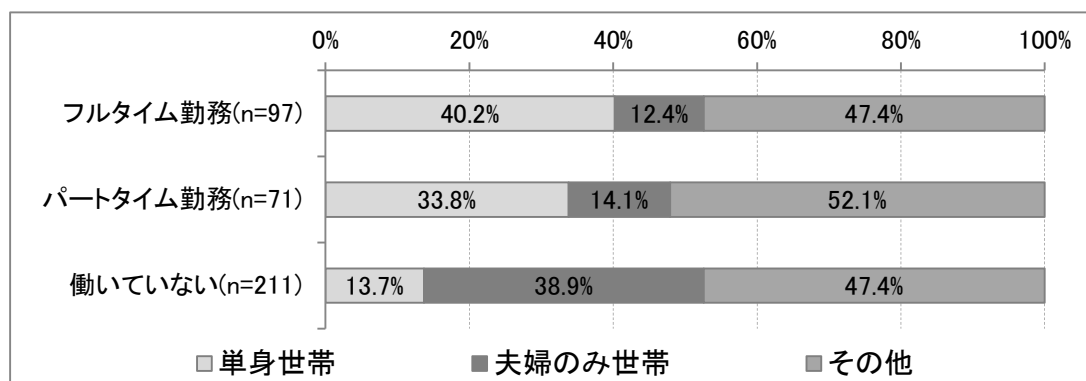
5 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

(1) 基本集計

【就労状況別・世帯類型】

世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他」が47.4%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が40.2%、「夫婦のみ世帯」が12.4%となっている。「パートタイム勤務」では「その他」が52.1%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が33.8%、「夫婦のみ世帯」が14.1%となっている。「働いていない」では「その他」が47.4%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が38.9%、「単身世帯」が13.7%となっている。

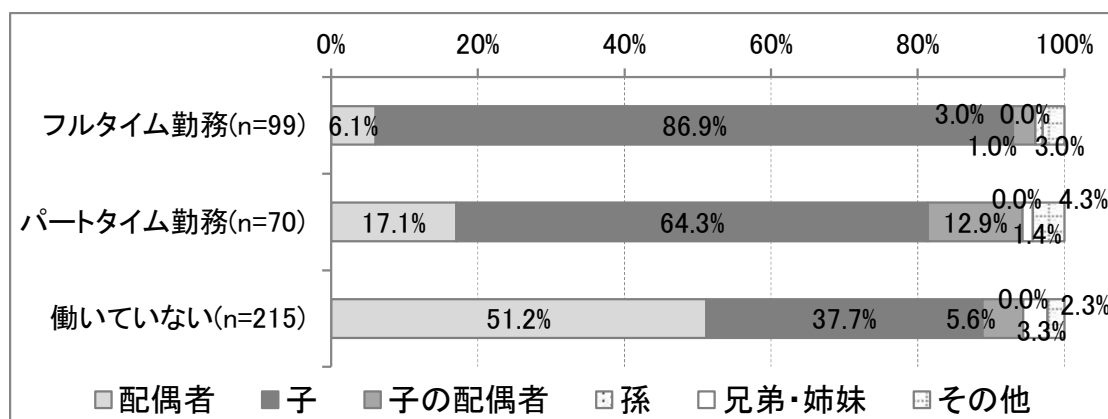
図表 5-1 就労状況別・世帯類型



【就労状況別・主な介護者の本人との関係】

主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「子」が86.9%ともっとも割合が高く、次いで「配偶者」が6.1%、「子の配偶者」、「その他」が3.0%となっている。「パートタイム勤務」では「子」が64.3%ともっとも割合が高く、次いで「配偶者」が17.1%、「子の配偶者」が12.9%となっている。「働いていない」では「配偶者」が51.2%ともっとも割合が高く、次いで「子」が37.7%、「子の配偶者」が5.6%となっている。

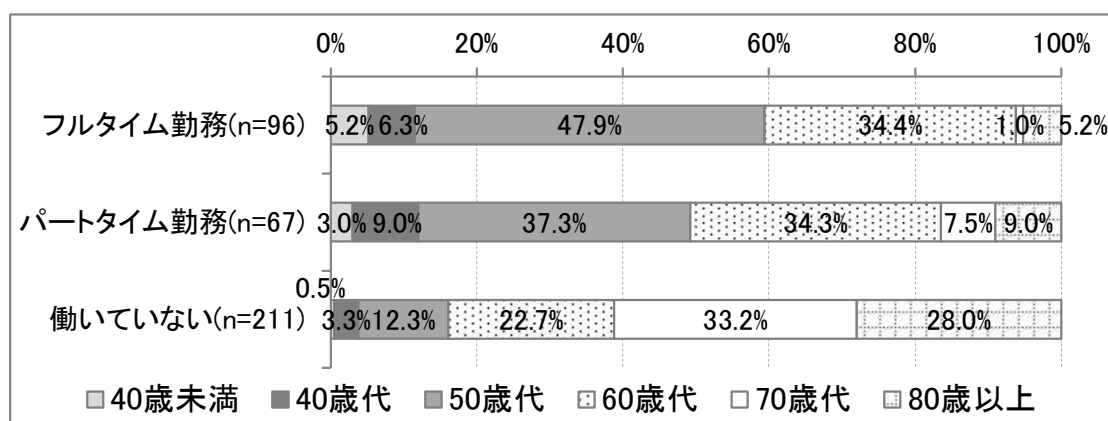
図表 5-2 就労状況別・主な介護者の本人との関係



【就労状況別・主な介護者の年齢】

介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「50 歳代」が 47.9%と最も割合が高く、次いで「60 歳代」が 34.4%、「40 歳代」が 6.3%となっている。「パートタイム勤務」では「50 歳代」が 37.3%と最も割合が高く、次いで「60 歳代」が 34.3%、「40 歳代」が 9.0%となっている。「働いていない」では「70 歳代」が 33.2%と最も割合が高く、次いで「80 歳以上」が 28.0%、「60 歳代」が 22.7%となっている。

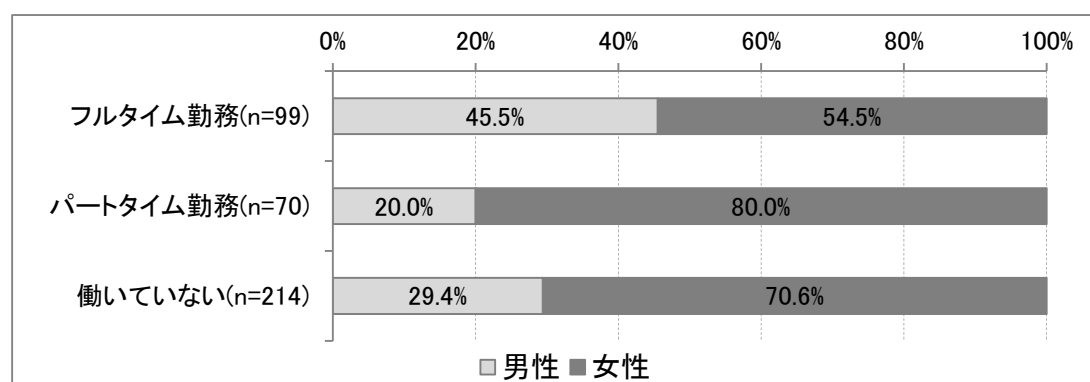
図表 5-3 就労状況別・主な介護者の年齢



【就労状況別・主な介護者の性別】

介護者の性別を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「女性」が 54.5%と最も割合が高く、次いで「男性」が 45.5%となっている。「パートタイム勤務」では「女性」が 80.0%と最も割合が高く、次いで「男性」が 20.0%となっている。「働いていない」では「女性」が 70.6%と最も割合が高く、次いで「男性」が 29.4%となっている。

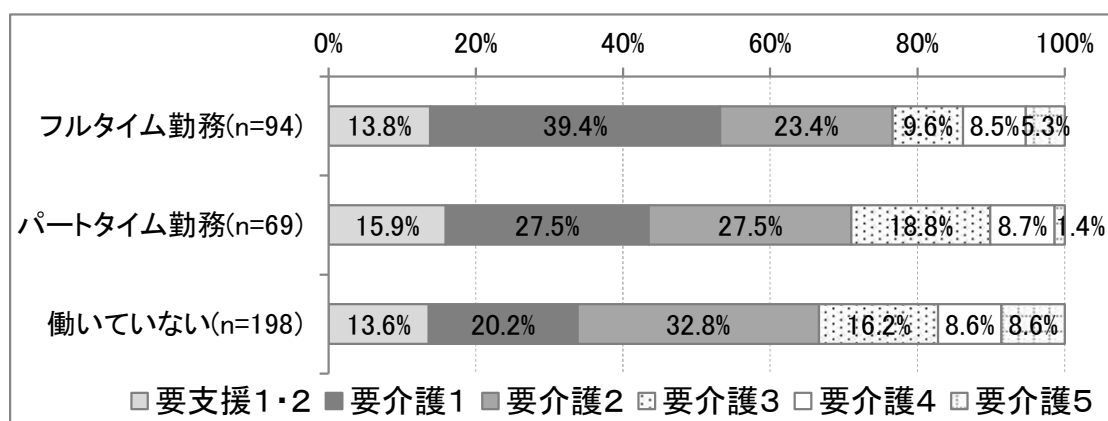
図表 5-4 就労状況別・主な介護者の性別



【就労状況別・要介護度】

二次判定結果を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「要介護1」が39.4%と最も割合が高く、次いで「要介護2」が23.4%、「要支援1・2」が13.8%となっている。「パートタイム勤務」では「要介護1」、「要介護2」が27.5%と最も割合が高く、次いで「要介護3」が18.8%、「要支援1・2」が15.9%となっている。「働いていない」では「要介護2」が32.8%と最も割合が高く、次いで「要介護1」が20.2%、「要介護3」が16.2%となっている。

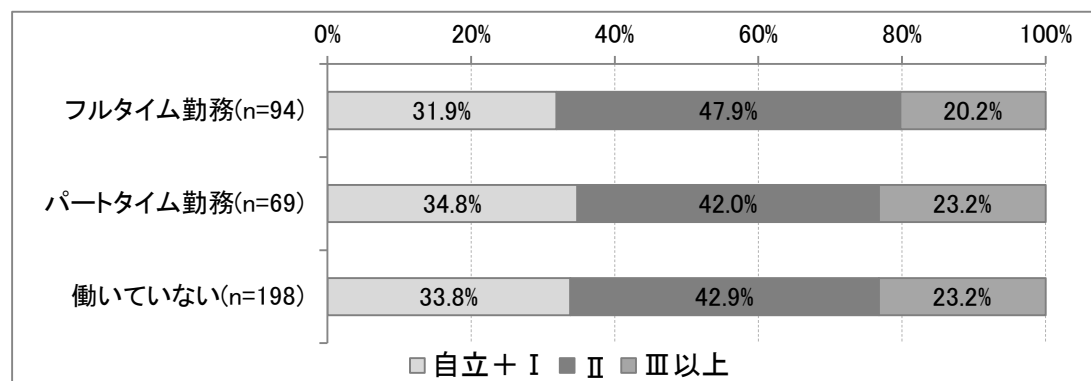
図表 5-5 就労状況別・要介護度



【就労状況別・認知症自立度】

認知症高齢者自立度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「Ⅱ」が47.9%と最も割合が高く、次いで「自立+Ⅰ」が31.9%、「Ⅲ以上」が20.2%となっている。「パートタイム勤務」では「Ⅱ」が42.0%と最も割合が高く、次いで「自立+Ⅰ」が34.8%、「Ⅲ以上」が23.2%となっている。「働いていない」では「Ⅱ」が42.9%と最も割合が高く、次いで「自立+Ⅰ」が33.8%、「Ⅲ以上」が23.2%となっている。

図表 5-6 就労状況別・認知症自立度

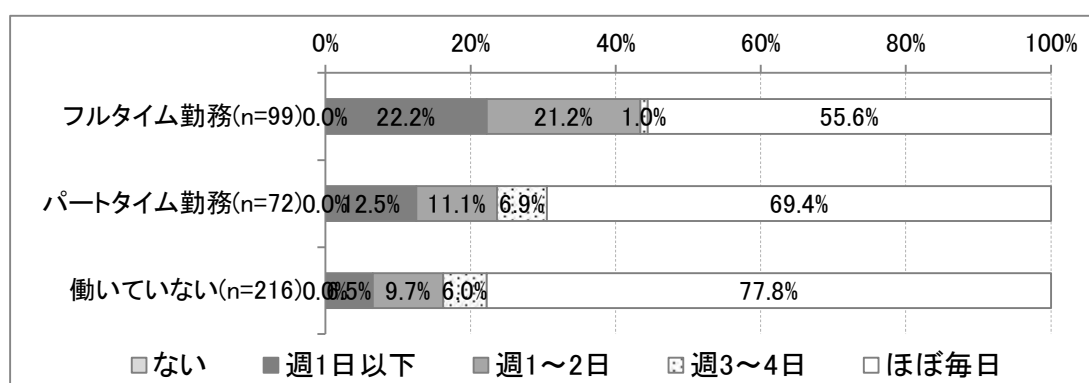


(2) 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

【就労状況別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が 55.6%と最も割合が高く、次いで「週 1 日以下」が 22.2%、「週 1～2 日」が 21.2%となっている。「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が 69.4%と最も割合が高く、次いで「週 1 日以下」が 12.5%、「週 1～2 日」が 11.1%となっている。「働いていない」では「ほぼ毎日」が 77.8%と最も割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 9.7%、「週 1 日以下」が 6.5%となっている。

図表 5-7 就労状況別・家族等による介護の頻度

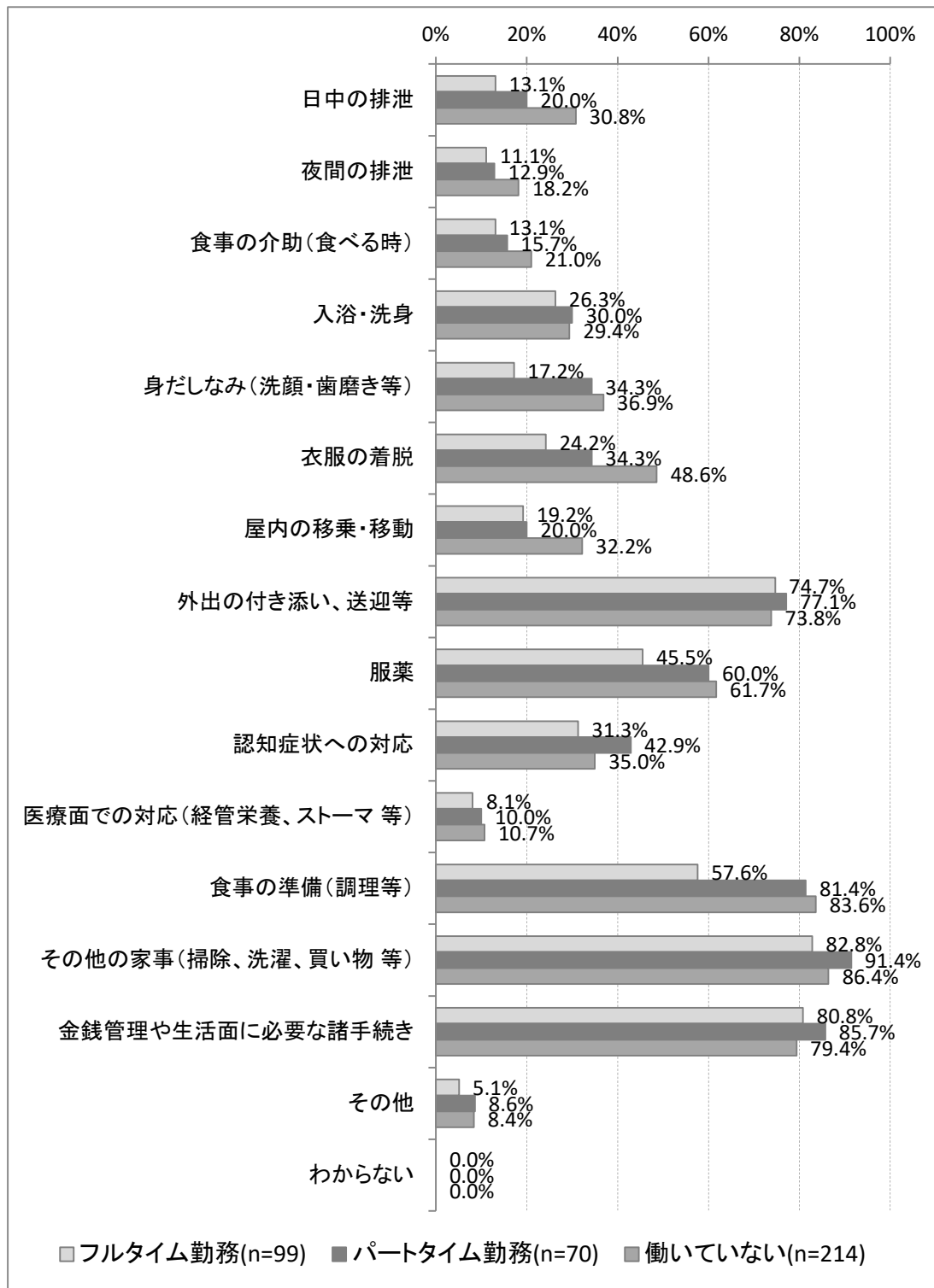


【就労状況別・主な介護者が行っている介護】

介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 82.8%と最も割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 80.8%、「外出の付き添い、送迎等」が 74.7%となっている。

「パートタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 91.4%と最も割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 85.7%、「食事の準備（調理等）」が 81.4%となっている。「働いていない」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 86.4%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 83.6%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 79.4%となっている。

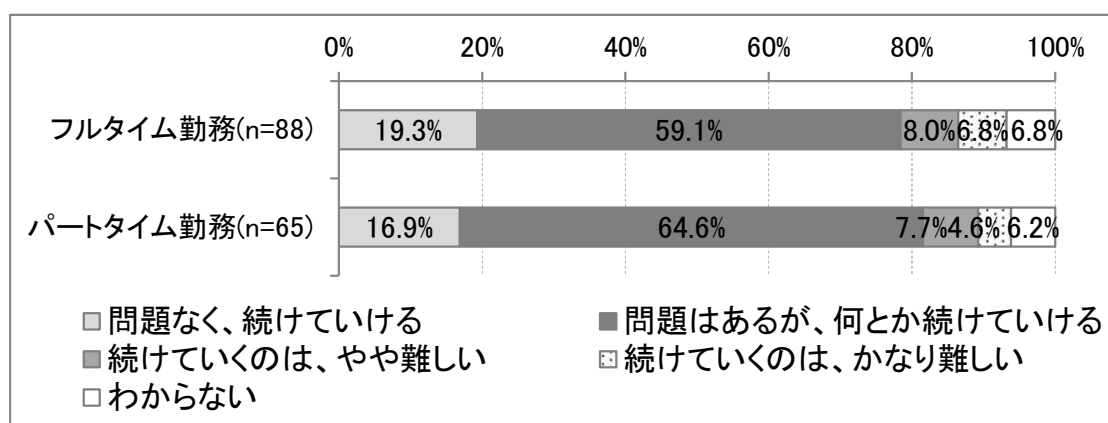
図表 5-8 就労状況別・主な介護者が行っている介護



【就労状況別・就労継続見込み】

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が59.1%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が19.3%、「続けていくのは、やや難しい」が8.0%となっている。「パートタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が64.6%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が16.9%、「続けていくのは、やや難しい」が7.7%となっている。

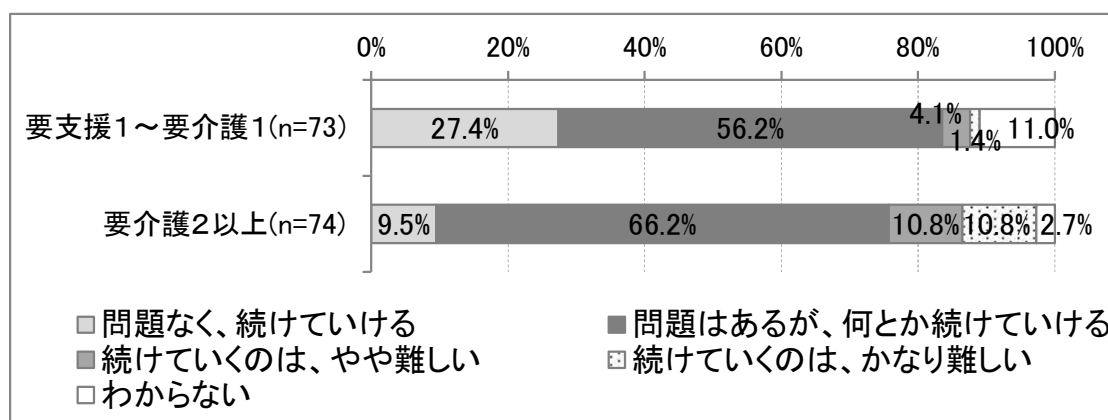
図表 5-9 就労状況別・就労継続見込み



【要介護度別・就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者の就労継続の可否に係る意識を二次判定結果別にみると、「要支援1～要介護1」では「問題はあるが、何とか続けていける」が56.2%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が27.4%、「わからない」が11.0%となっている。「要介護2以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が66.2%と最も割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」が10.8%、「問題なく、続けていける」が9.5%となっている。

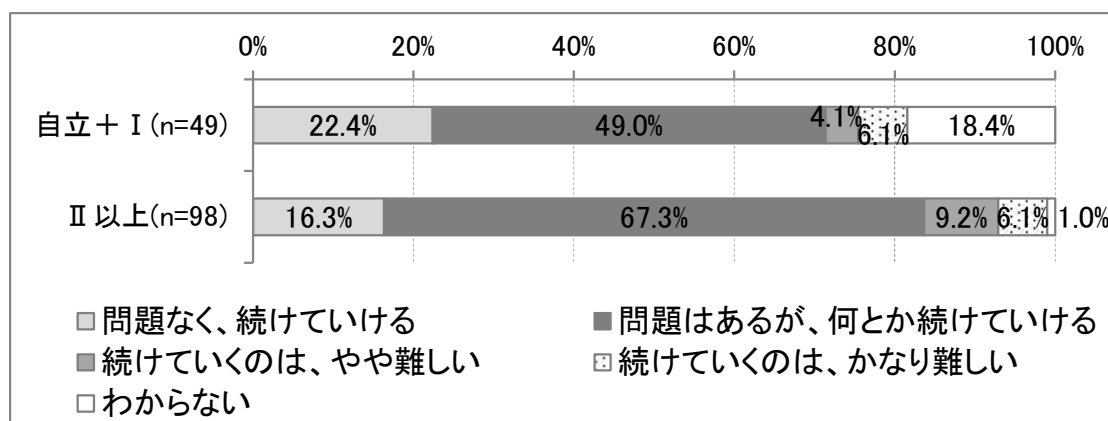
図表 5-10 要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



【認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「問題はあるが、何とか続けていける」が49.0%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が22.4%、「わからない」が18.4%となっている。「Ⅱ以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が67.3%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が16.3%、「続けていくのは、やや難しい」が9.2%となっている。

図表 5-11 認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

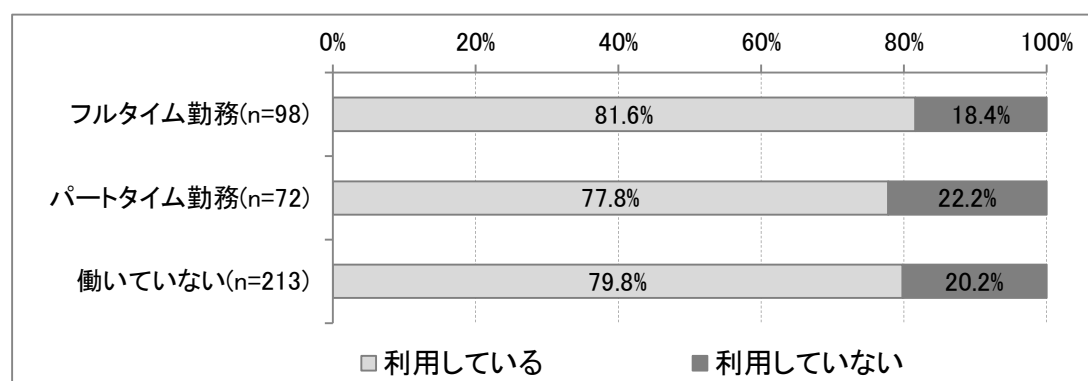


(3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

【就労状況別・介護保険サービス利用の有無】

介護保険サービスの利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用している」が81.6%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が18.4%となっている。「パートタイム勤務」では「利用している」が77.8%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が22.2%となっている。「働いていない」では「利用している」が79.8%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が20.2%となっている。

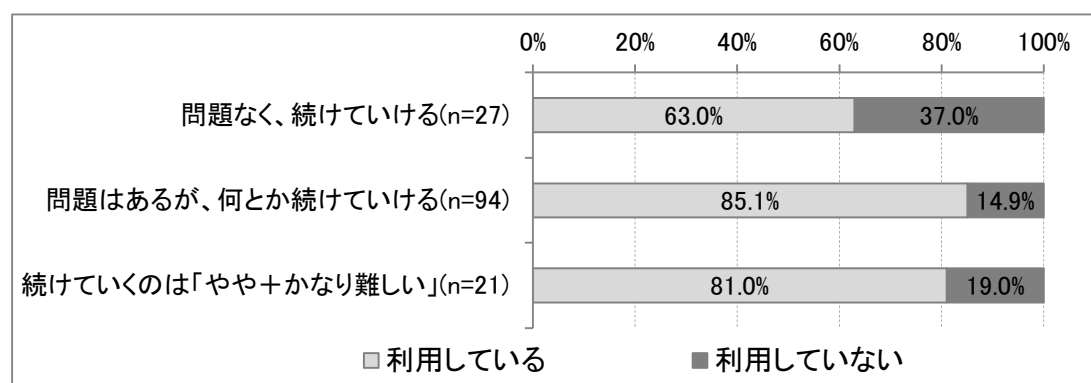
図表 5-12 就労状況別・介護保険サービス利用の有無



【就労継続見込み別・介護保険サービス利用の有無(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護保険サービスの利用の有無を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「利用している」が63.0%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が37.0%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「利用している」が85.1%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が14.9%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「利用している」が81.0%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が19.0%となっている。

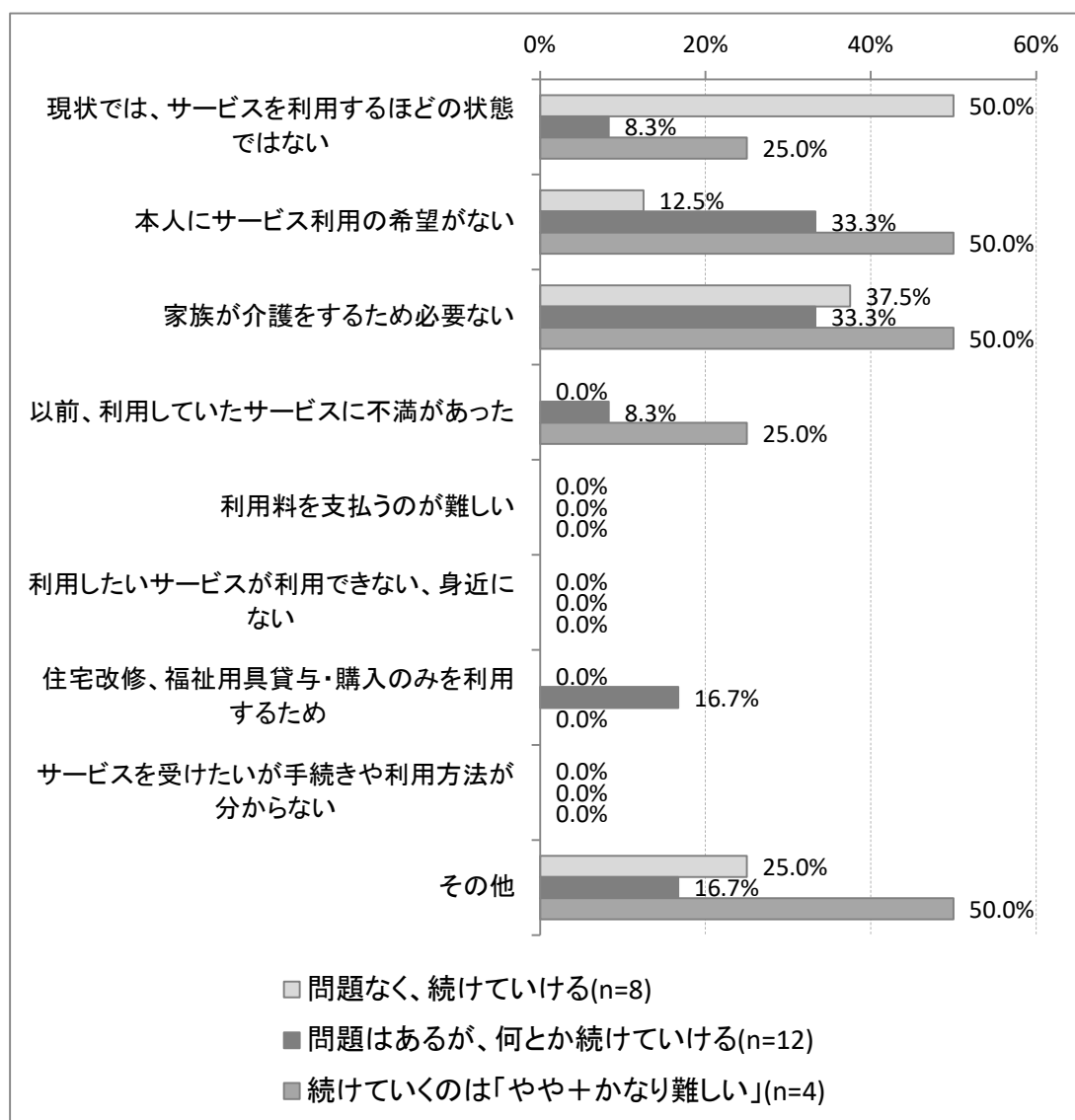
図表 5-13 就労継続見込み別・介護保険サービス利用の有無（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



【就労継続見込み別・サービス未利用の理由(フルタイム勤務+パート勤務)】

未利用の理由を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が37.5%、「その他」が25.0%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が33.3%と最も割合が高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「その他」が16.7%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」が8.3%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」、「その他」が50.0%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」が25.0%、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が0.0%となっている。

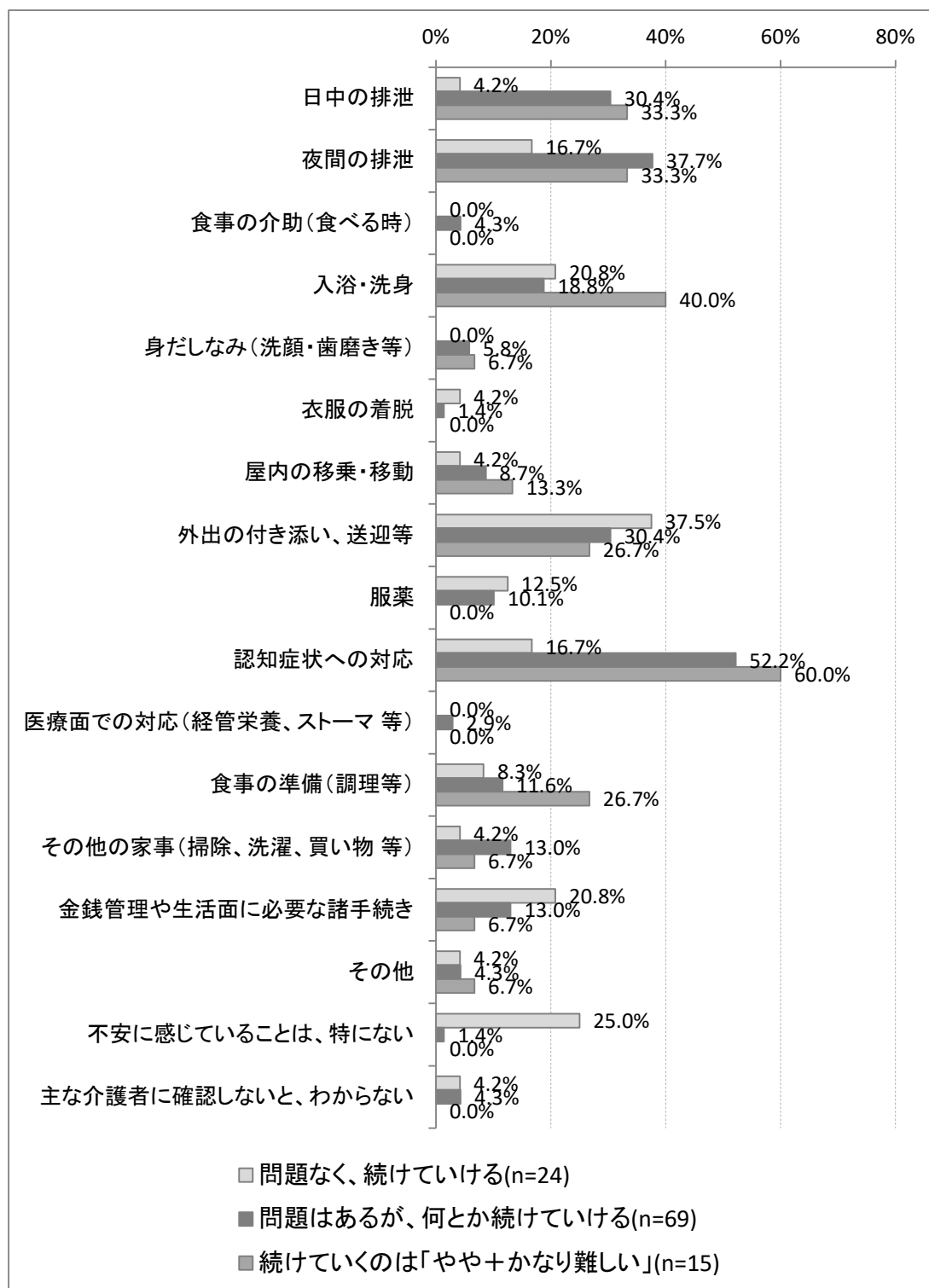
図表 5-14 就労継続見込み別・サービス未利用の理由（フルタイム勤務＋パート勤務）



【就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「外出の付き添い、送迎等」が 37.5% ともっとも割合が高く、次いで「不安に感じていることは、特にない」が 25.0%、「入浴・洗身」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 20.8% となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「認知症状への対応」が 52.2% ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 37.7%、「日中の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が 30.4% となっている。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「認知症状への対応」が 60.0% ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が 40.0%、「日中の排泄」、「夜間の排泄」が 33.3% となっている。

図表 5-15 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

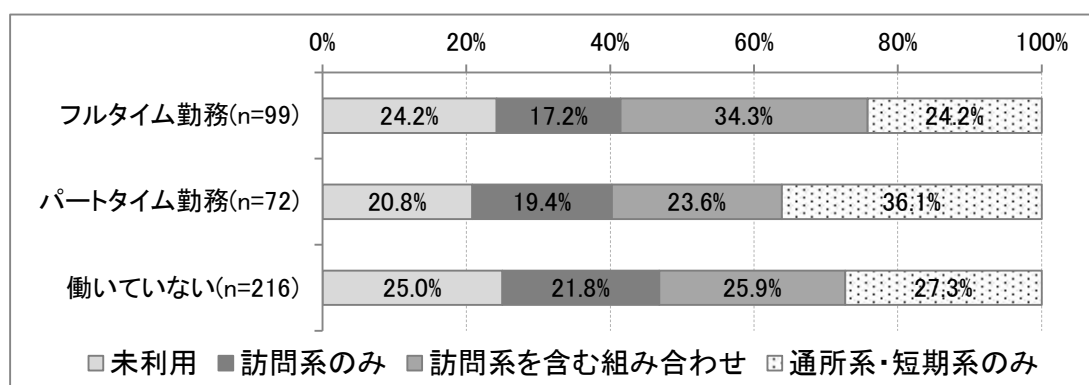


(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

【就労状況別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「訪問系を含む組み合わせ」が34.3%と最も割合が高く、次いで「未利用」、「通所系・短期系のみ」が24.2%、「訪問系のみ」が17.2%となっている。「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が36.1%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が23.6%、「未利用」が20.8%となっている。「働いていない」では「通所系・短期系のみ」が27.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が25.9%、「未利用」が25.0%となっている。

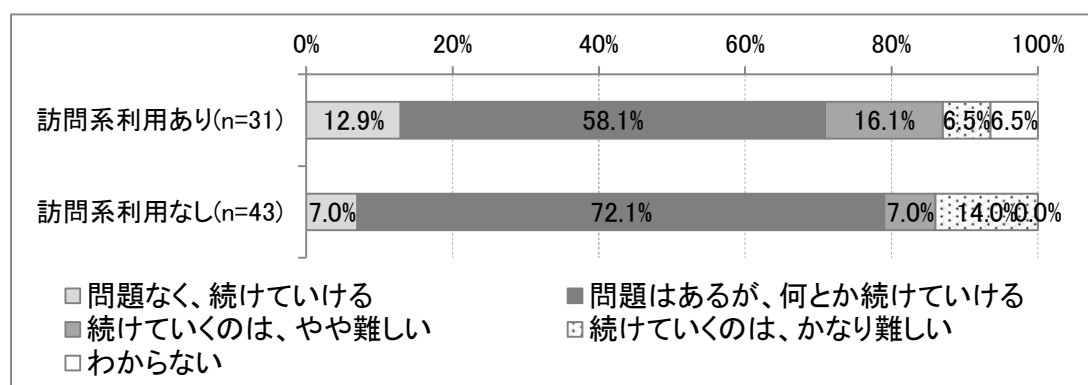
図表 5-16 就労状況別・サービス利用の組み合わせ



【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が58.1%と最も割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が16.1%、「問題なく、続けていける」が12.9%となっている。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が72.1%と最も割合が高く、次いで「続けていくのは、かなり難しい」が14.0%、「問題なく、続けていける」、「続けていくのは、やや難しい」が7.0%となっている。

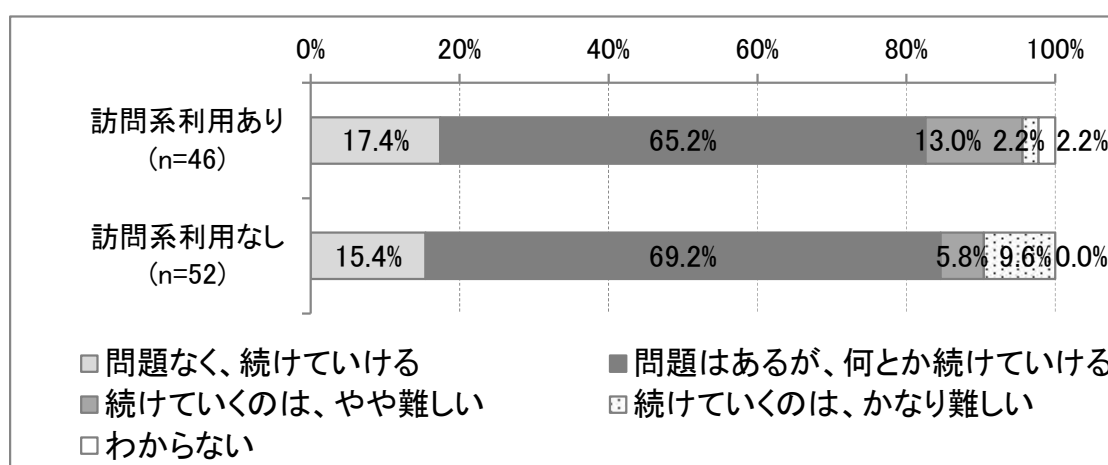
図表 5-17 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が65.2%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が17.4%、「続けていくのは、やや難しい」が13.0%となっている。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が69.2%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が15.4%、「続けていくのは、かなり難しい」が9.6%となっている。

図表 5-18 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

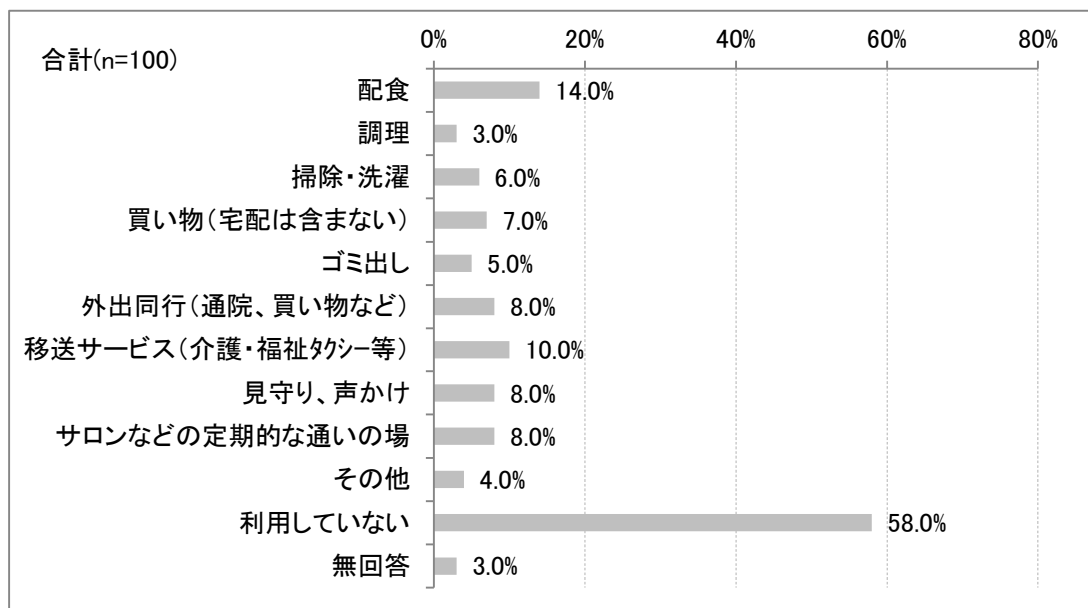


(5) 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

【利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）】

「利用していない」の割合が最も高く 58.0%となっている。次いで、「配食（14.0%）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（10.0%）」となっている。

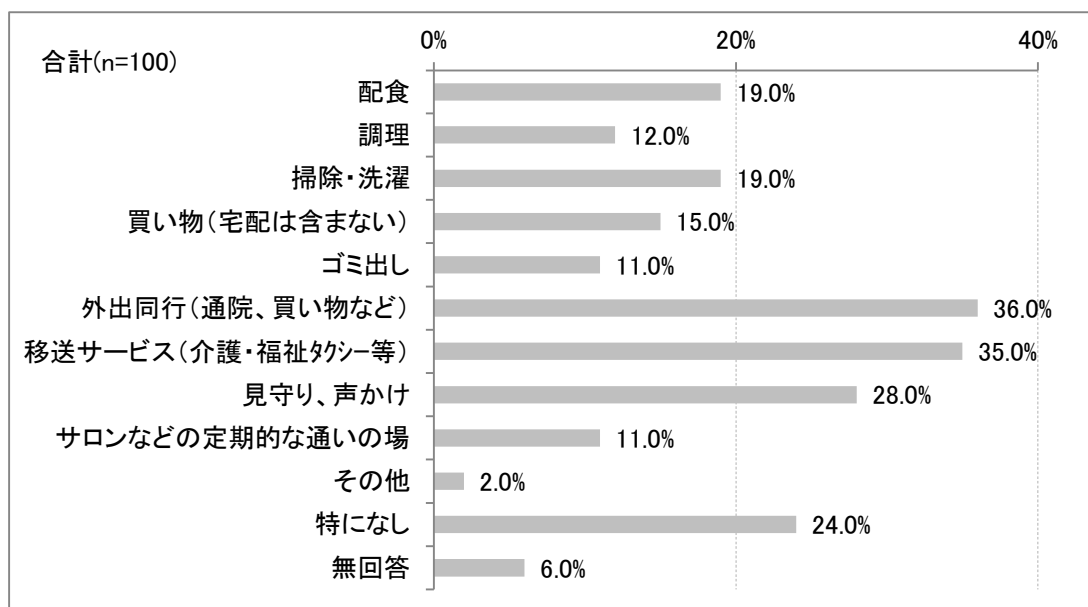
図表 5-19_1 利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）



【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(フルタイム勤務)】

「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く 36.0%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）(35.0%)」、「見守り、声かけ（28.0%）」となっている。

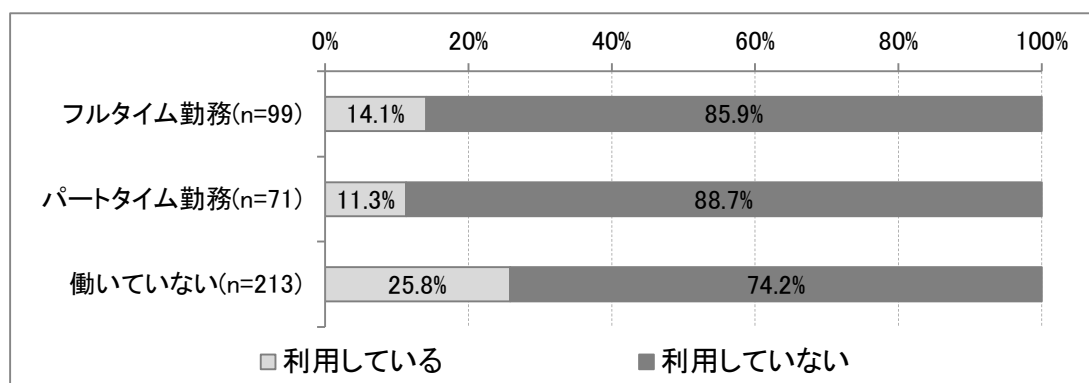
図表 5-19_2 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）



【就労状況別・訪問診療の利用の有無】

訪問診療の利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用していない」が85.9%と最も割合が高く、次いで「利用している」が14.1%となっている。「パートタイム勤務」では「利用していない」が88.7%と最も割合が高く、次いで「利用している」が11.3%となっている。「働いていない」では「利用していない」が74.2%と最も割合が高く、次いで「利用している」が25.8%となっている。

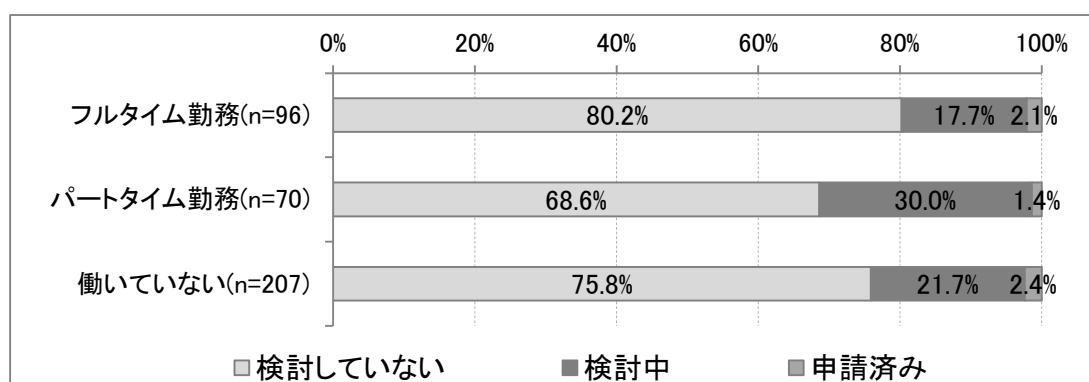
図表 5-20 就労状況別・訪問診療の利用の有無



【就労状況別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「検討していない」が80.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が17.7%、「申請済み」が2.1%となっている。「パートタイム勤務」では「検討していない」が68.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が30.0%、「申請済み」が1.4%となっている。「働いていない」では「検討していない」が75.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が21.7%、「申請済み」が2.4%となっている。

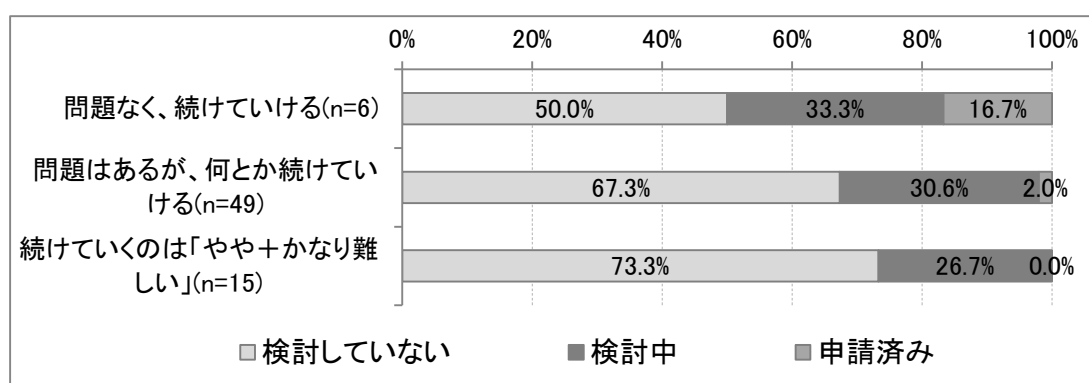
図表 5-21 就労状況別・施設等検討の状況



【就労継続見込み別・施設等検討の状況(要介護2以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務)】

施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が16.7%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が67.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が30.6%、「申請済み」が2.0%となっている。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」では「検討していない」が73.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が26.7%、「申請済み」が0.0%となっている。

図表 5-22 就労継続見込み別・施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

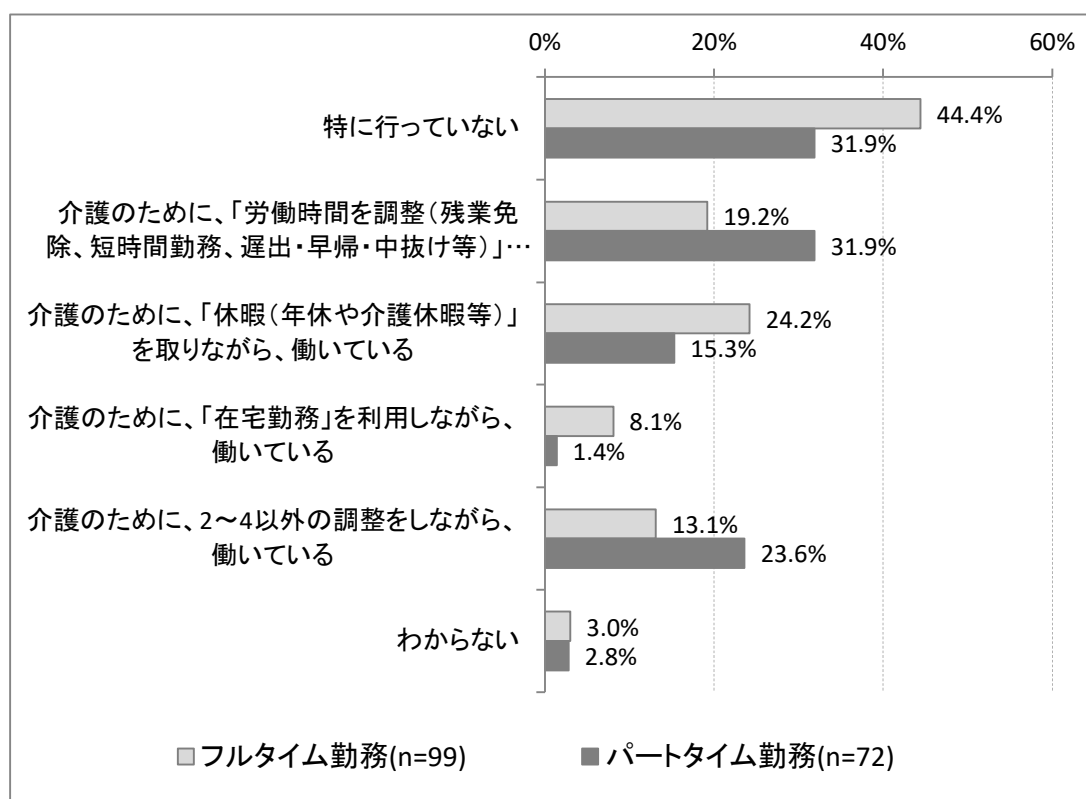


(6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

【就労状況別・介護のための働き方の調整】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」が44.4%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が24.2%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が19.2%となっている。「パートタイム勤務」では「特に行っていない」、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が31.9%と最も割合が高く、次いで「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が23.6%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が15.3%となっている。

図表 5-23 就労状況別・介護のための働き方の調整

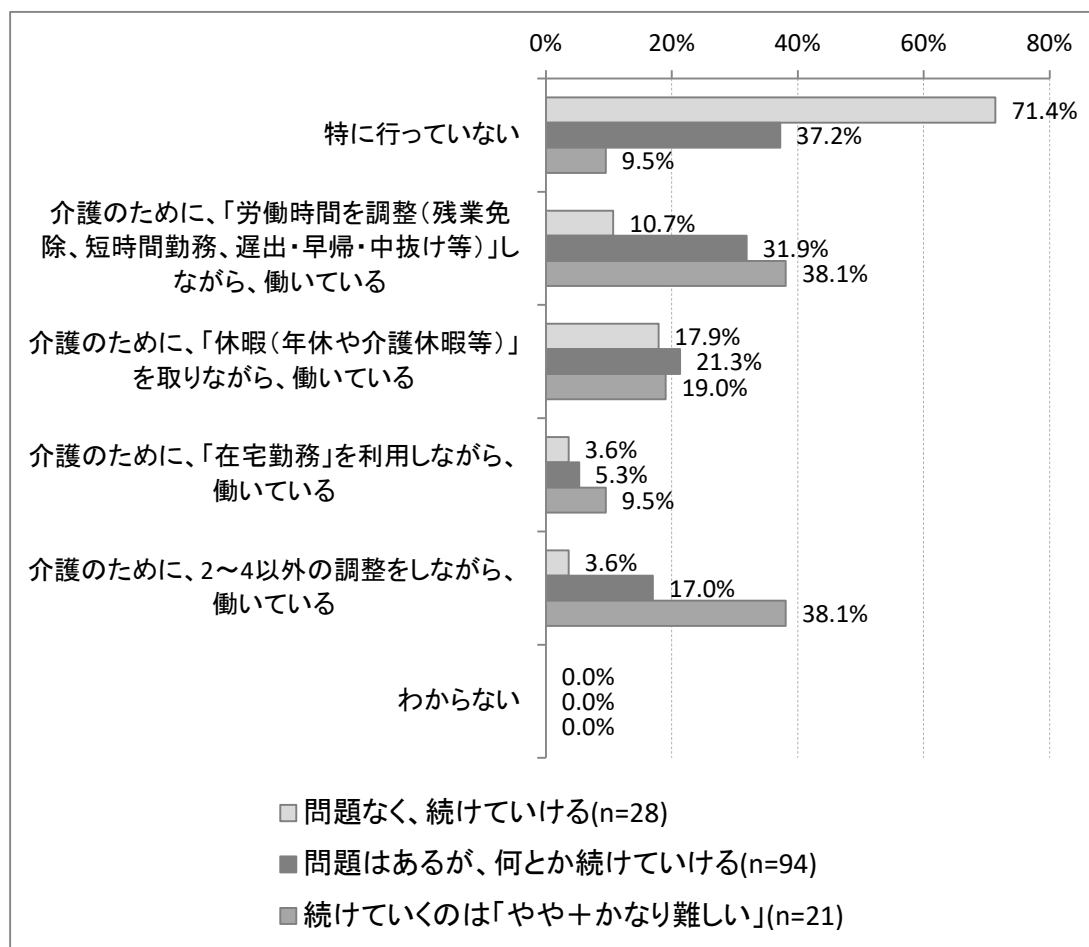


【就労継続見込み別・介護のための働き方の調整(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が71.4%ともっとも割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が17.9%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が10.7%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「特に行っていない」が37.2%ともっとも割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が31.9%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が21.3%となっている。

「続けていくのは「やや＋かなり難しい」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が38.1%ともっとも割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が19.0%、「特に行っていない」、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が9.5%となっている。

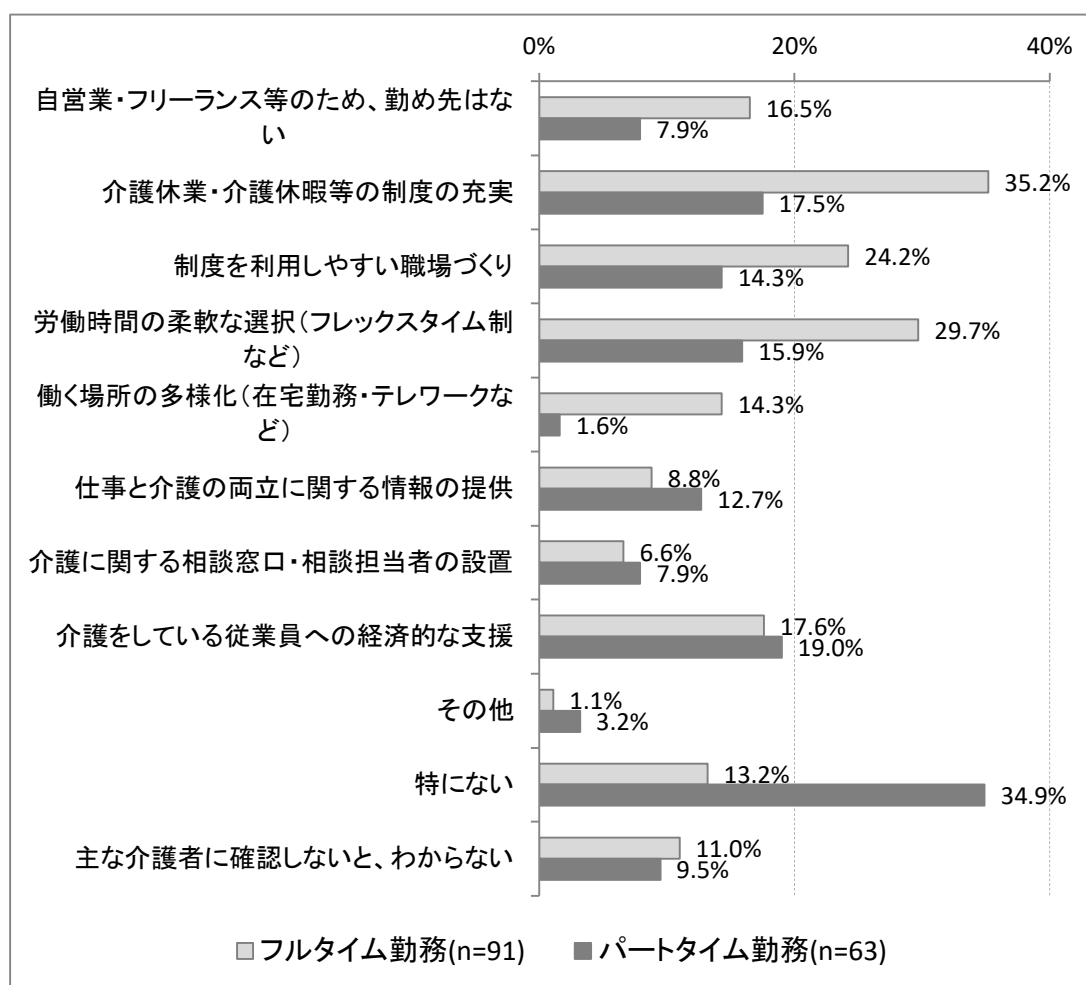
図表 5-24 就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



【就労状況別・効果的な勤め先からの支援】

効果的な勤め先からの支援を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が35.2%と最も割合が高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が29.7%、「制度を利用しやすい職場づくり」が24.2%となっている。「パートタイム勤務」では「特になし」が34.9%と最も割合が高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」が19.0%、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が17.5%となっている。

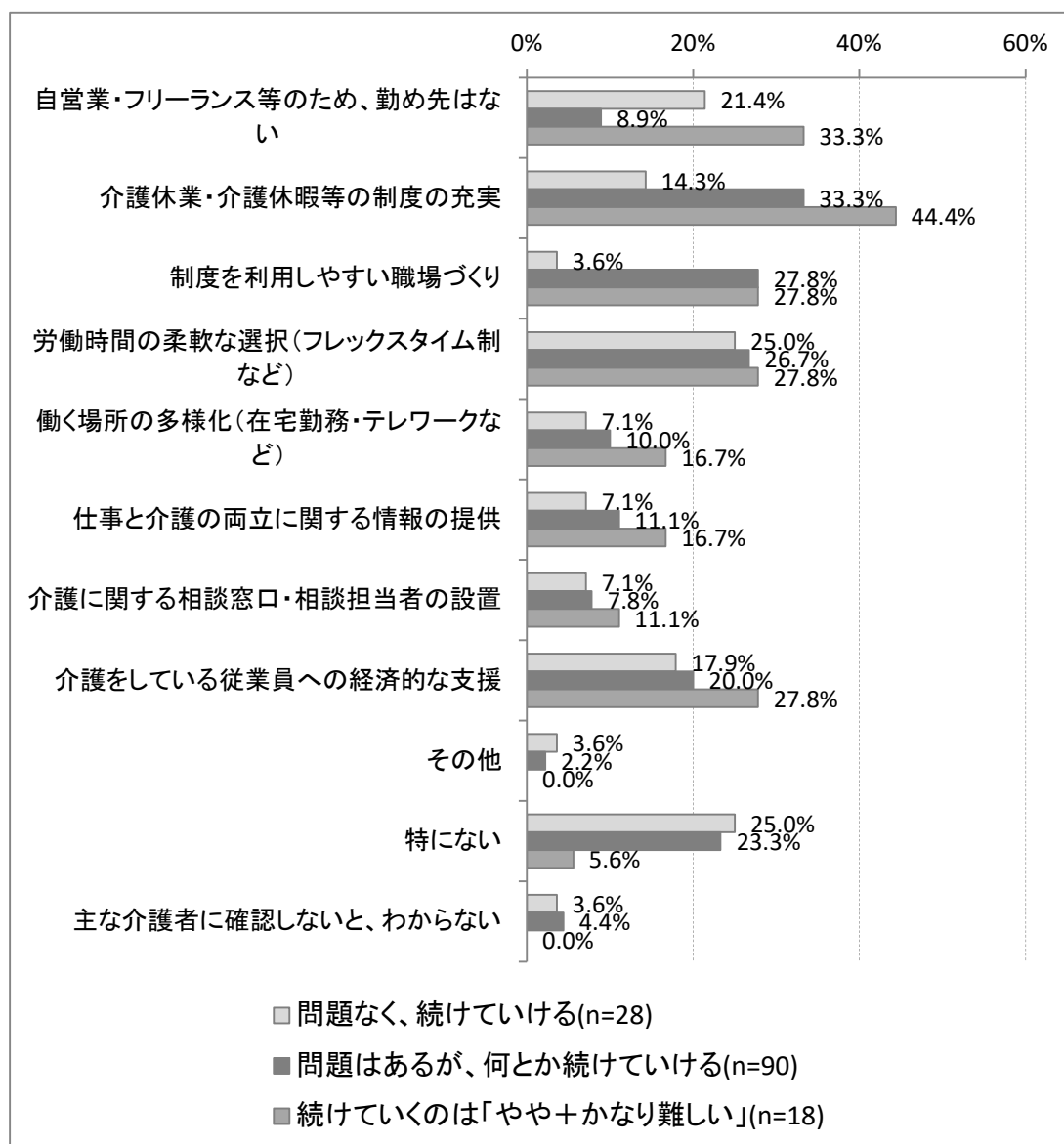
図表 5-25 就労状況別・効果的な勤め先からの支援



【就労継続見込み別・効果的な勤め先からの支援(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

効果的な勤め先からの支援を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「特にない」が25.0%と最も割合が高く、次いで「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が21.4%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が17.9%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が33.3%と最も割合が高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が27.8%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が26.7%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が44.4%と最も割合が高く、次いで「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が33.3%、「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「介護をしている従業員への経済的な支援」が27.8%となっている。

図表 5-26 就労継続見込み別・効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



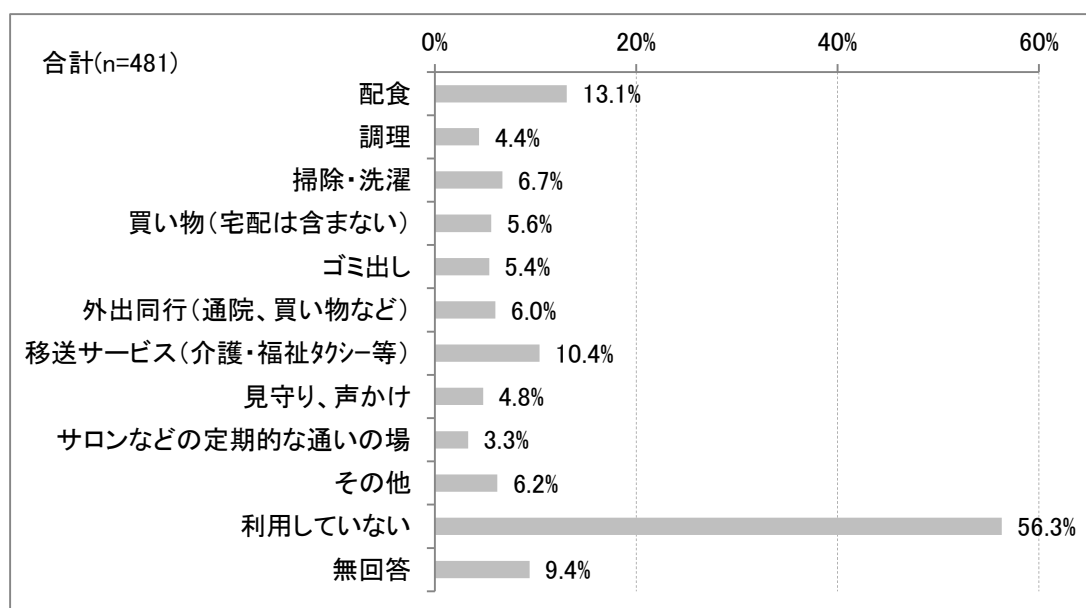
6 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

(1) 基礎集計

【保険外の支援・サービスの利用状況】

「利用していない」の割合が最も高く 56.3%となっている。次いで、「配食（13.1%）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（10.4%）」となっている。

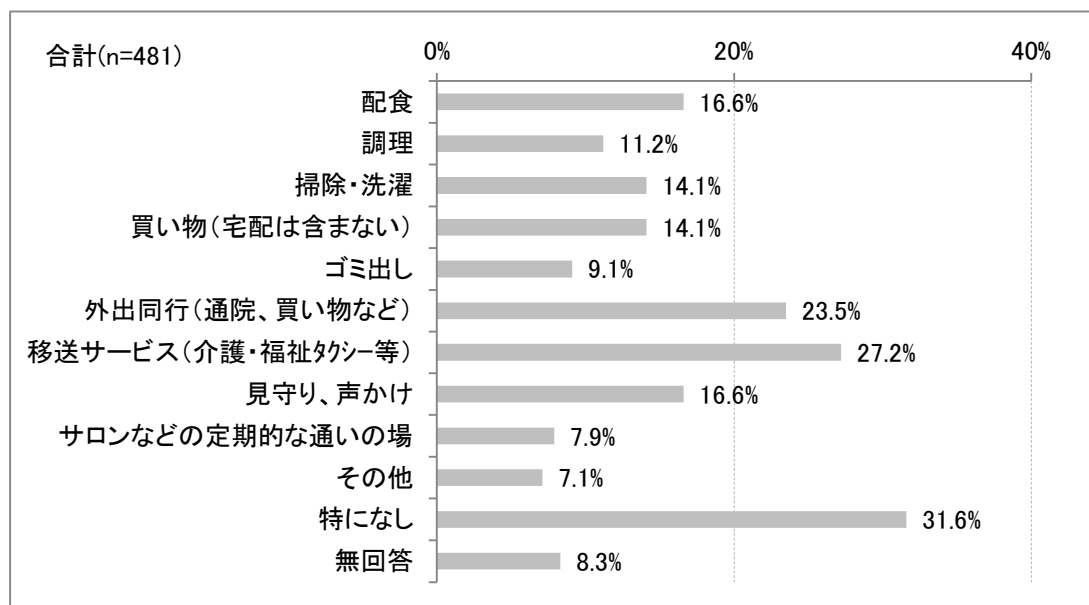
図表 6-1 保険外の支援・サービスの利用状況



【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

「特になし」の割合が最も高く 31.6%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（27.2%）」、「外出同行（通院、買い物など）（23.5%）」となっている。

図表 6-2 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

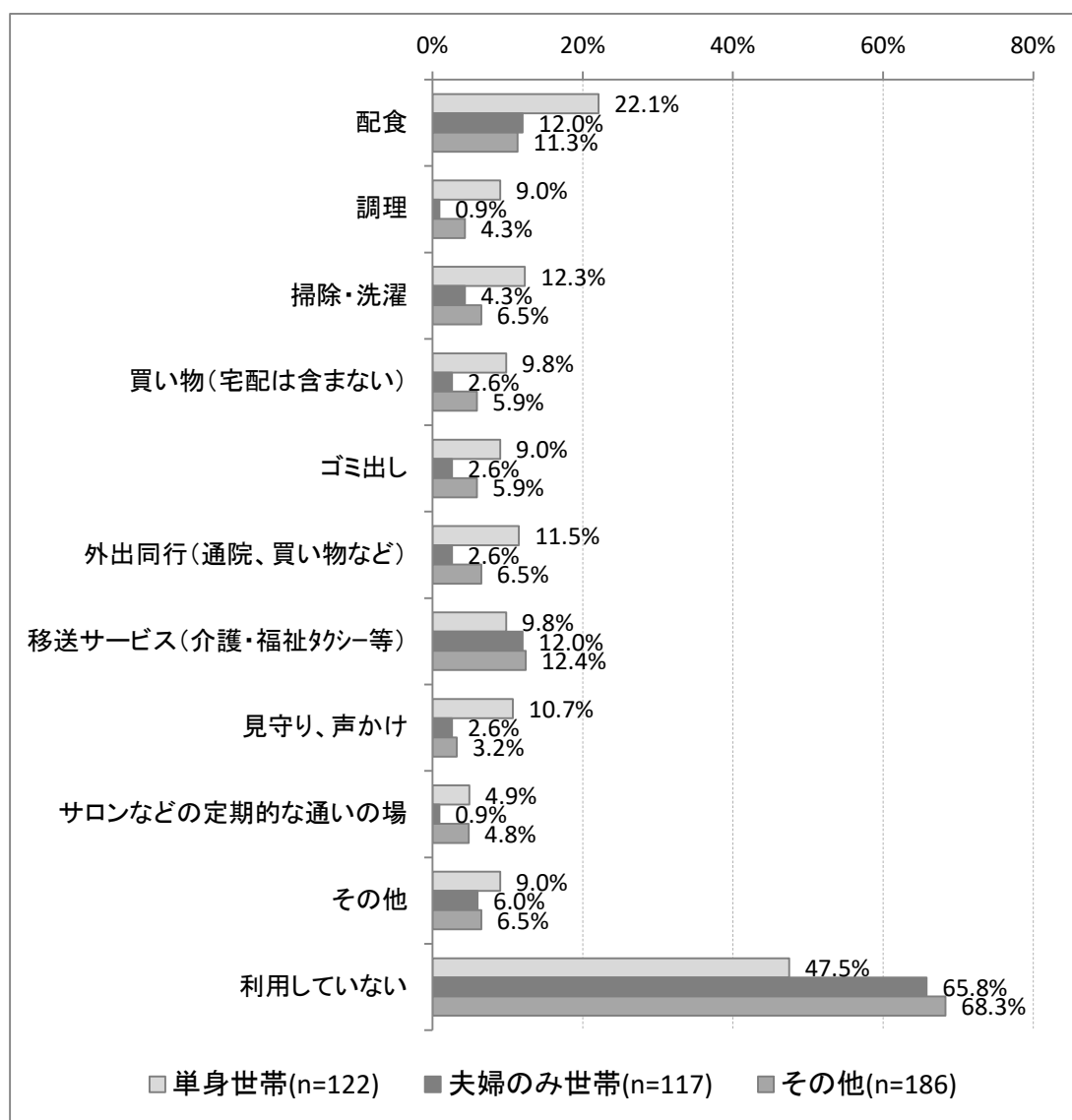


(2) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

【世帯類型別・保険外の支援・サービスの利用状況】

保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が47.5%と最も割合が高く、次いで「配食」が22.1%、「掃除・洗濯」が12.3%となっている。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が65.8%と最も割合が高く、次いで「配食」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が12.0%、「その他」が6.0%となっている。「その他」では「利用していない」が68.3%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が12.4%、「配食」が11.3%となっている。

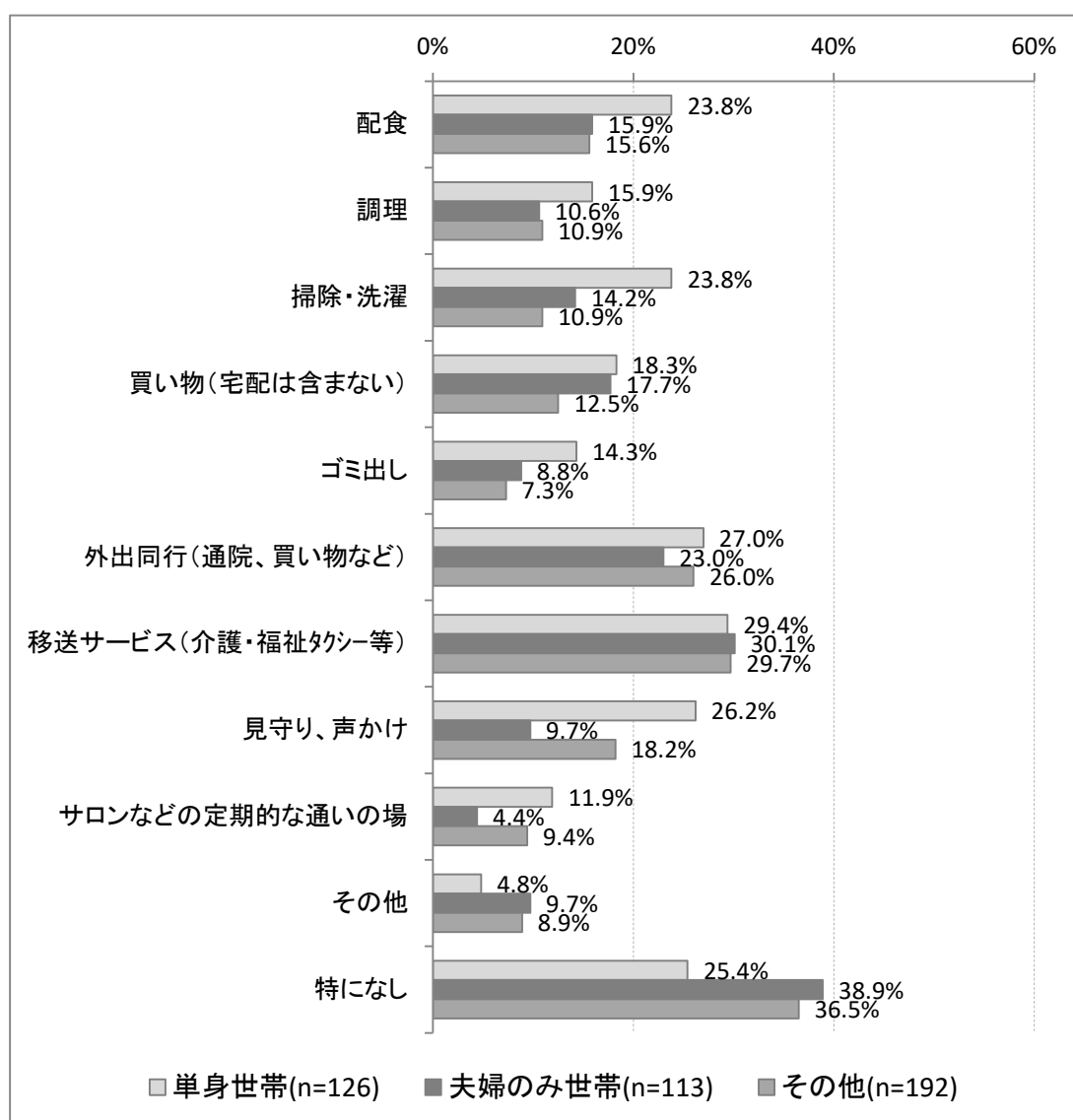
図表 6-3 世帯類型別・保険外の支援・サービスの利用状況



【世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 29.4% ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 27.0%、「見守り、声かけ」が 26.2% となっている。「夫婦のみ世帯」では「特になし」が 38.9% ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 30.1%、「外出同行（通院、買い物など）」が 23.0% となっている。「その他」では「特になし」が 36.5% ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 29.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が 26.0% となっている。

図表 6-4 世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

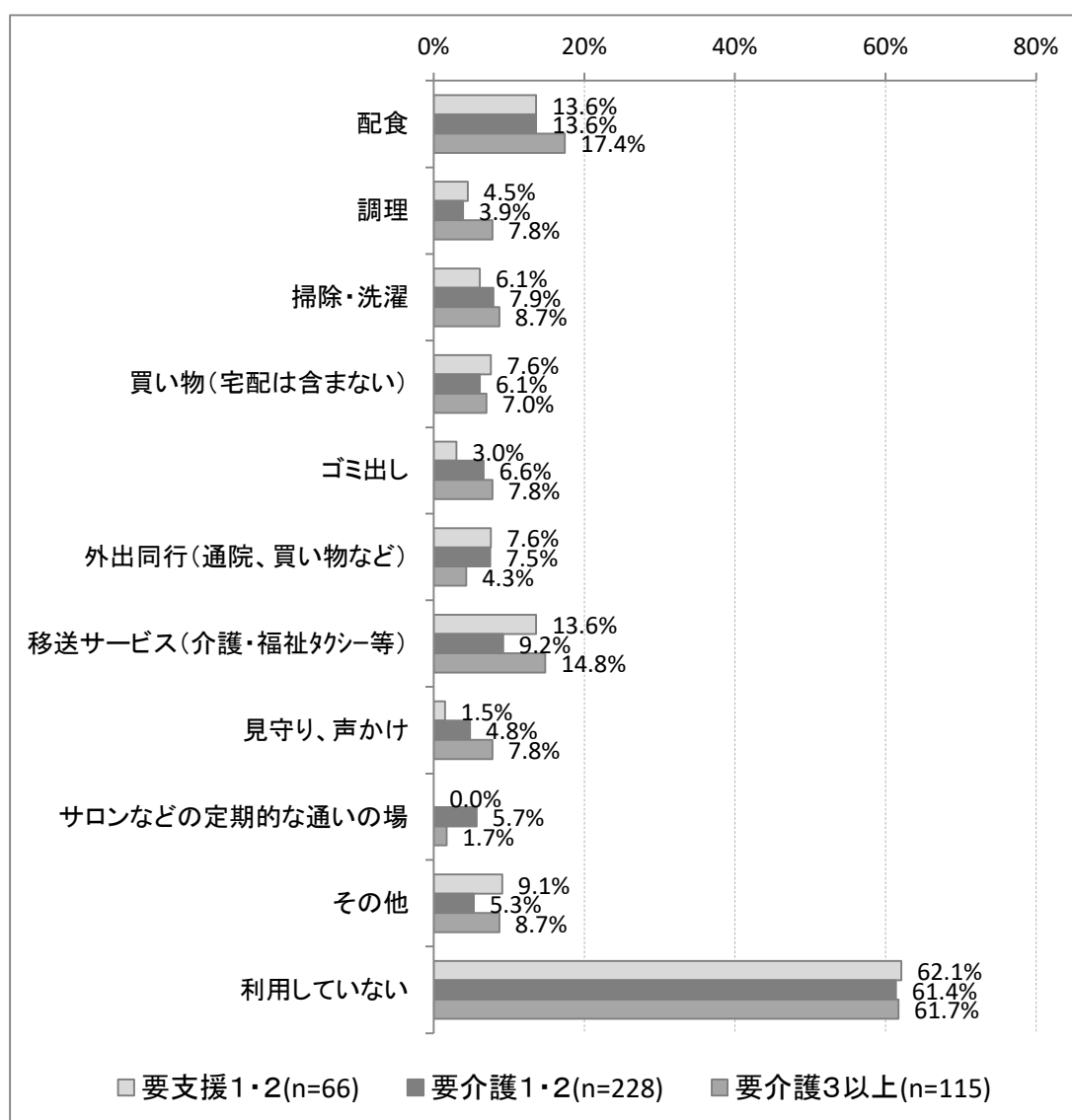


(3) 「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」

【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「利用していない」が62.1%と最も割合が高く、次いで「配食」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が13.6%、「その他」が9.1%となっている。「要介護１・２」では「利用していない」が61.4%と最も割合が高く、次いで「配食」が13.6%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が9.2%となっている。「要介護３以上」では「利用していない」が61.7%と最も割合が高く、次いで「配食」が17.4%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が14.8%となっている。

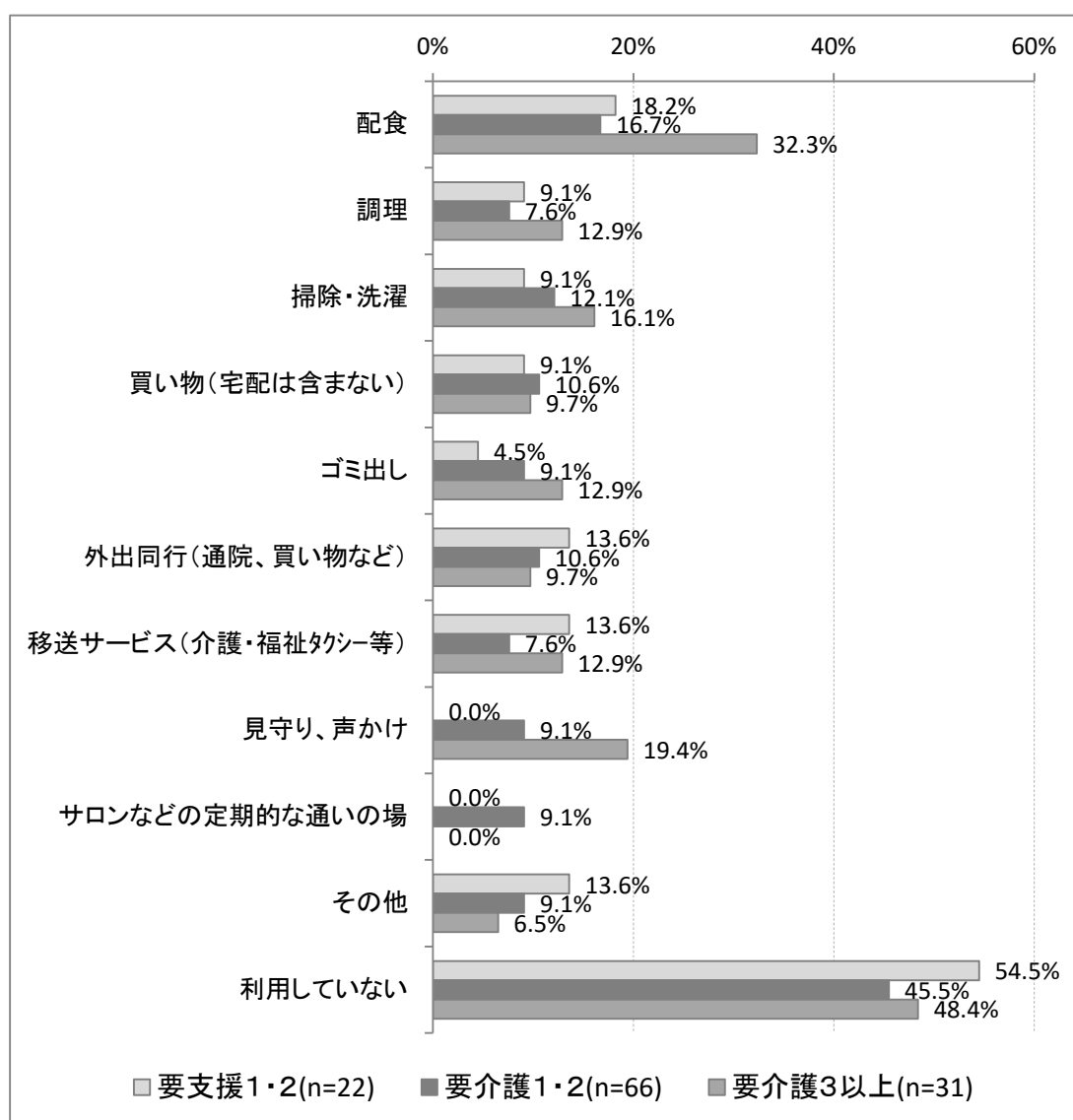
図表 6-5 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況



【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況(単身世帯)】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が54.5%と最も割合が高く、次いで「配食」が18.2%、「外出同行(通院、買い物など)」、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」、「その他」が13.6%となっている。「要介護1・2」では「利用していない」が45.5%と最も割合が高く、次いで「配食」が16.7%、「掃除・洗濯」が12.1%となっている。「要介護3以上」では「利用していない」が48.4%と最も割合が高く、次いで「配食」が32.3%、「見守り、声かけ」が19.4%となっている。

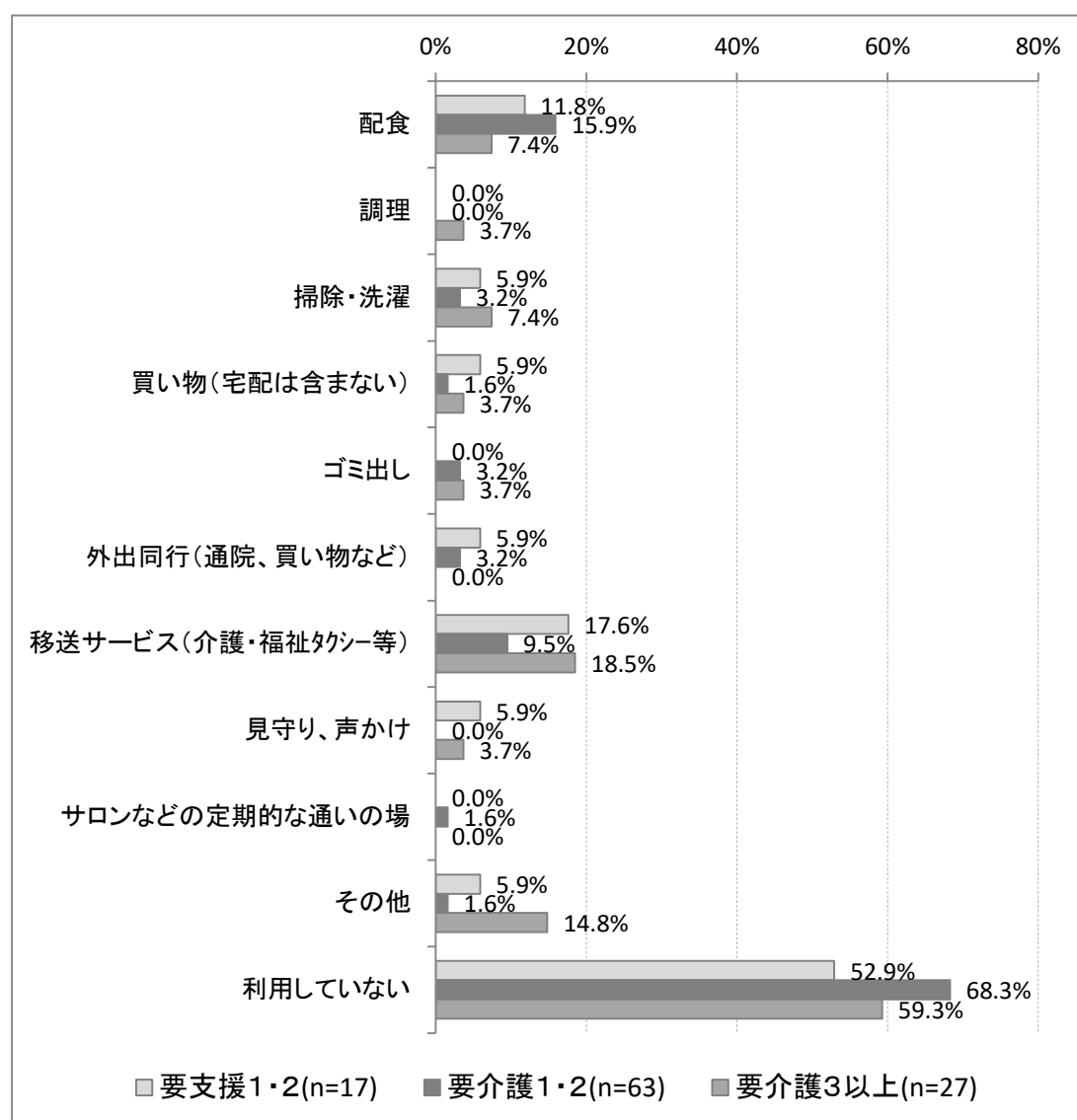
図表 6-6 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況(単身世帯)



【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況(夫婦のみ世帯)】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が52.9%と最も割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が17.6%、「配食」が11.8%となっている。「要介護1・2」では「利用していない」が68.3%と最も割合が高く、次いで「配食」が15.9%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が9.5%となっている。「要介護3以上」では「利用していない」が59.3%と最も割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が18.5%、「その他」が14.8%となっている。

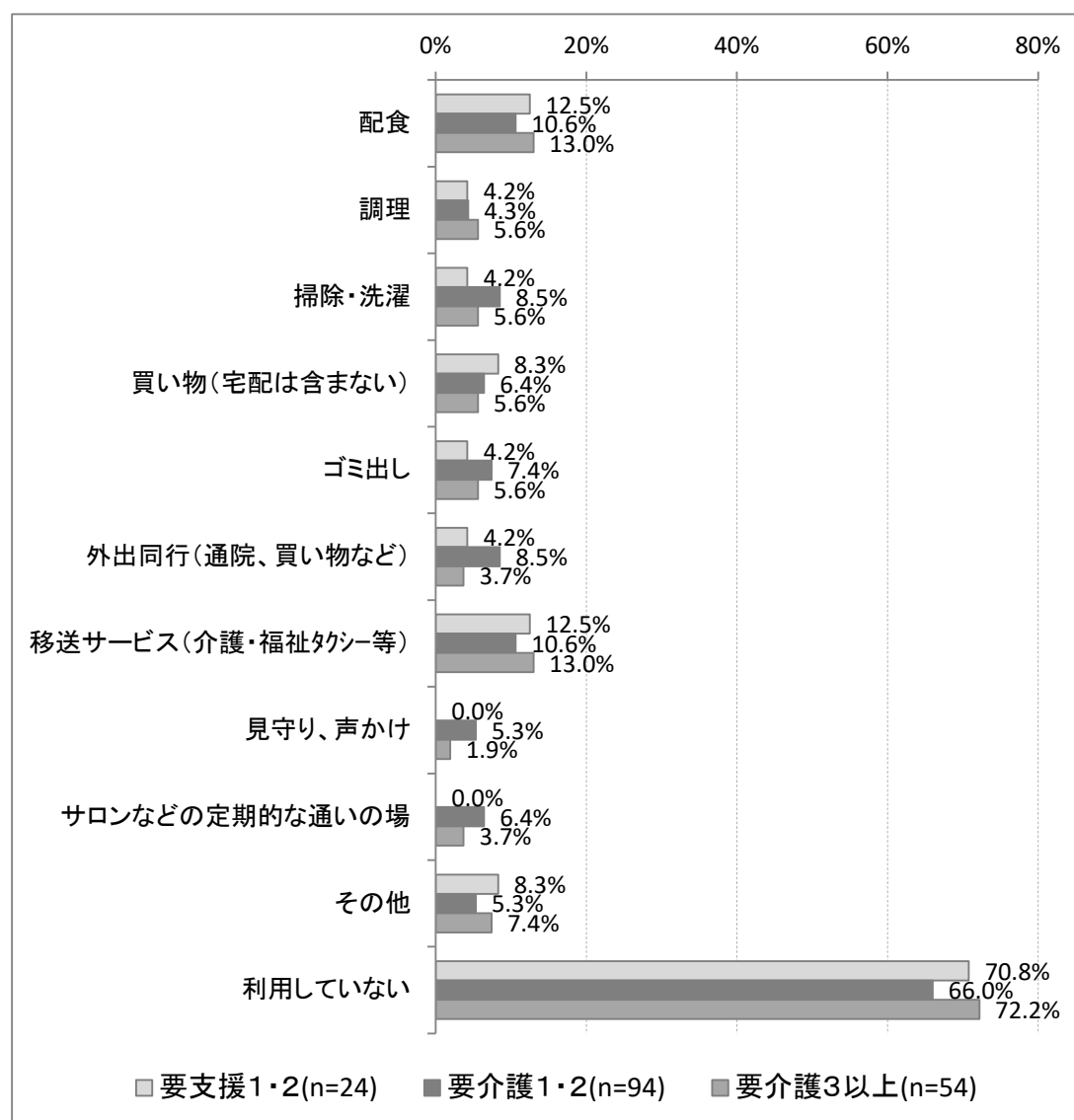
図表 6-7 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況(夫婦のみ世帯)



【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況(その他世帯)】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が70.8%と最も割合が高く、次いで「配食」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が12.5%、「買い物（宅配は含まない）」、「その他」が8.3%となっている。「要介護1・2」では「利用していない」が66.0%と最も割合が高く、次いで「配食」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が10.6%、「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」が8.5%となっている。「要介護3以上」では「利用していない」が72.2%と最も割合が高く、次いで「配食」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が13.0%、「その他」が7.4%となっている。

図表 6-8 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）

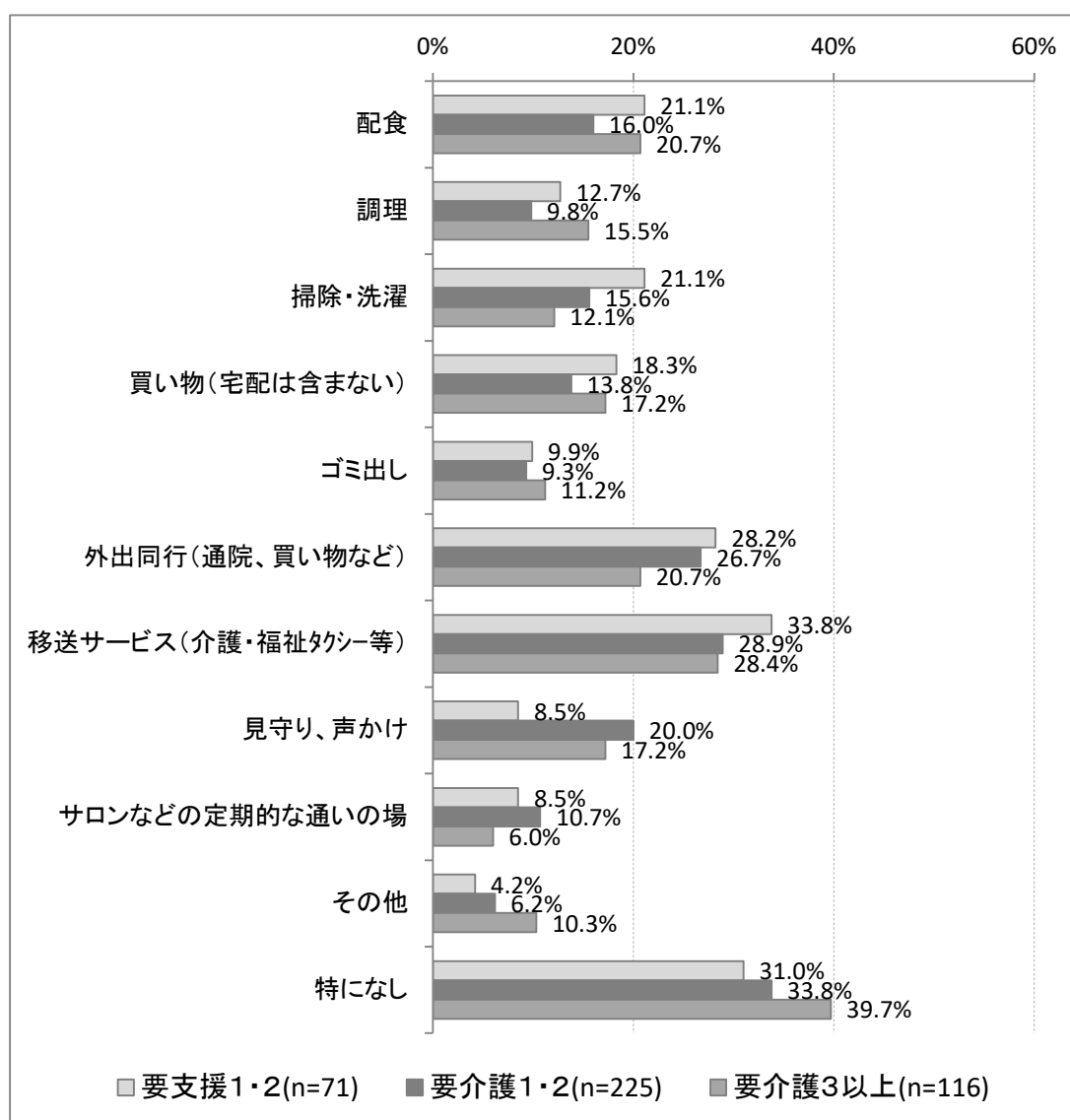


(4) 「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」

【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が33.8%と最も割合が高く、次いで「特になし」が31.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が28.2%となっている。「要介護1・2」では「特になし」が33.8%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.9%、「外出同行（通院、買い物など）」が26.7%となっている。「要介護3以上」では「特になし」が39.7%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.4%、「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」が20.7%となっている。

図表 6-9 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

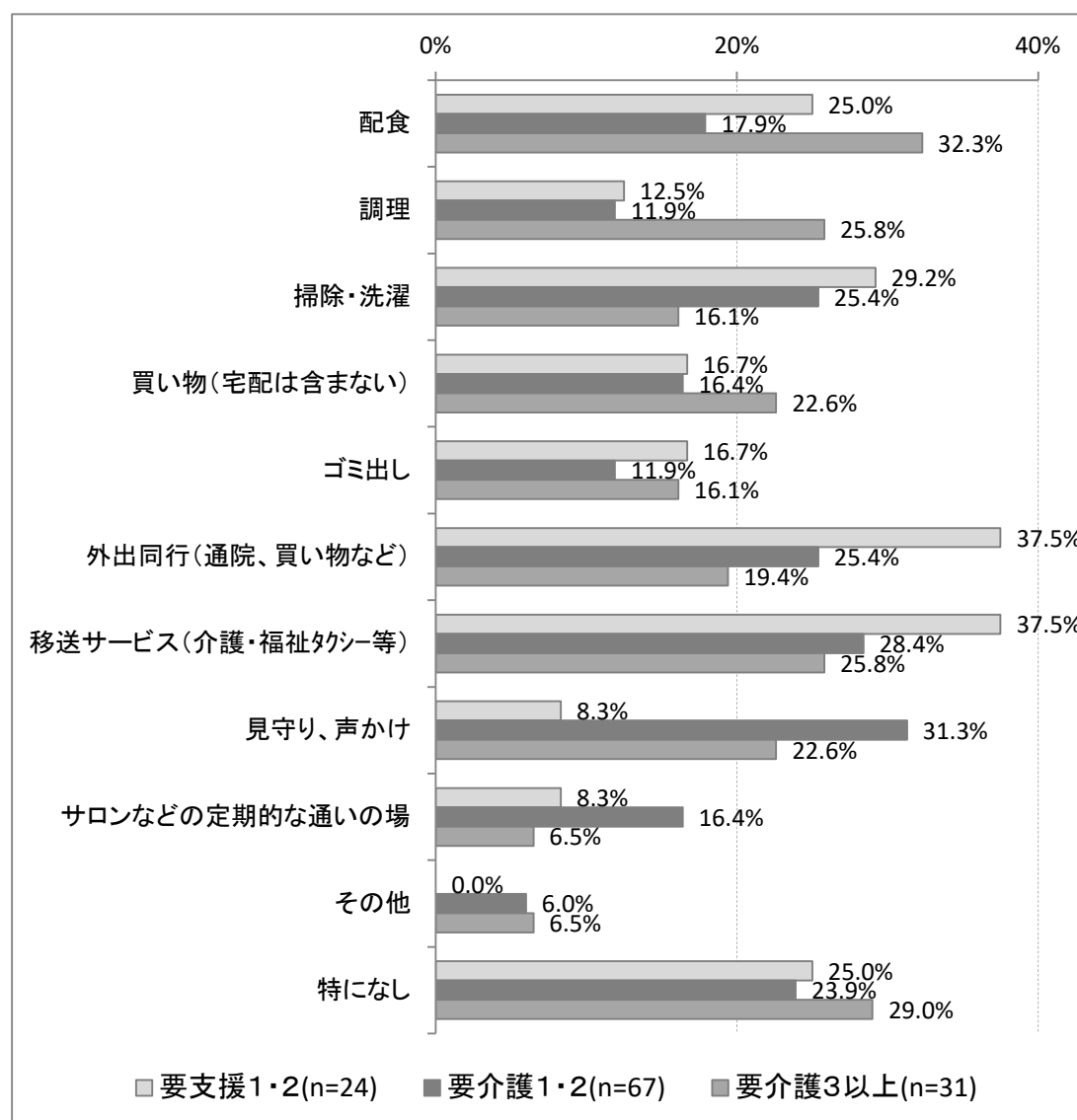


【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が37.5%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が29.2%、「配食」、「特になし」が25.0%となっている。

「要介護1・2」では「見守り、声かけ」が31.3%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.4%、「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」が25.4%となっている。「要介護3以上」では「配食」が32.3%と最も割合が高く、次いで「特になし」が29.0%、「調理」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が25.8%となっている。

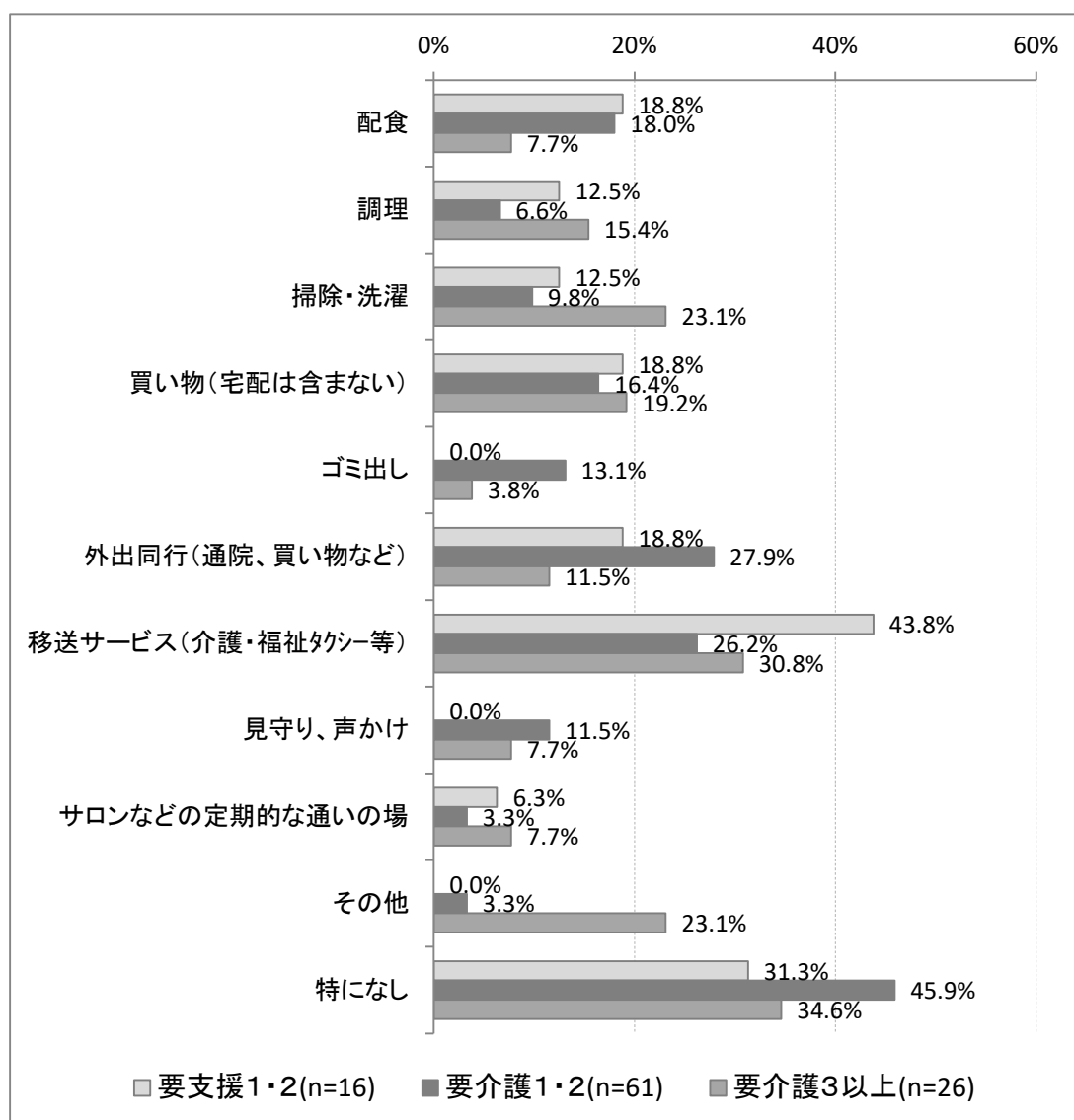
図表 6-10 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(夫婦のみ世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が43.8%と最も割合が高く、次いで「特になし」が31.3%、「配食」、「買い物（宅配は含まない）」、「外出同行（通院、買い物など）」が18.8%となっている。「要介護1・2」では「特になし」が45.9%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が27.9%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が26.2%となっている。「要介護3以上」では「特になし」が34.6%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が30.8%、「掃除・洗濯」、「その他」が23.1%となっている。

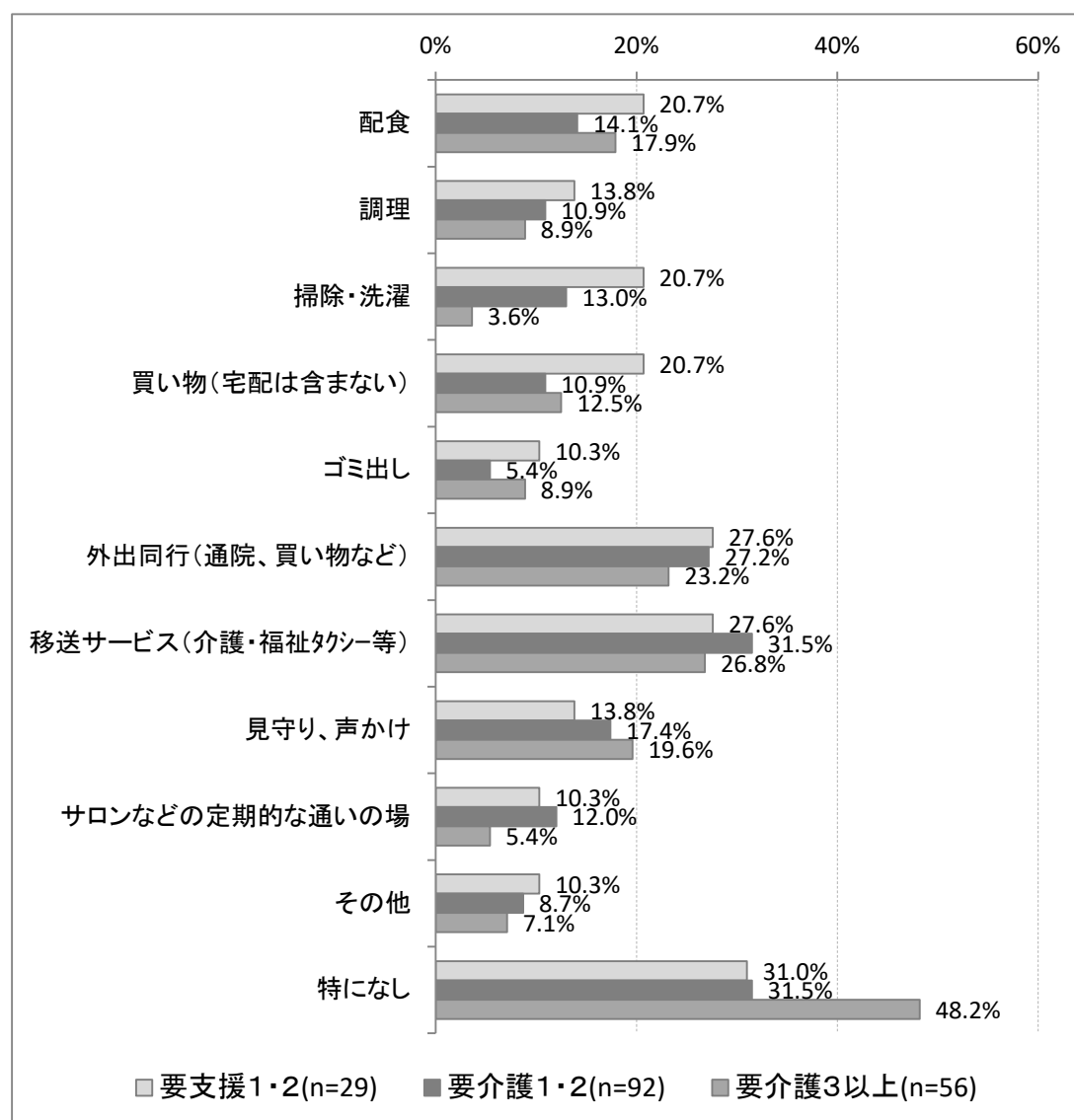
図表 6-11 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「特になし」が31.0%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.6%、「配食」、「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」が20.7%となっている。「要介護1・2」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「特になし」が31.5%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が27.2%、「見守り、声かけ」が17.4%となっている。「要介護3以上」では「特になし」が48.2%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が26.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が23.2%となっている。

図表 6-12 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）



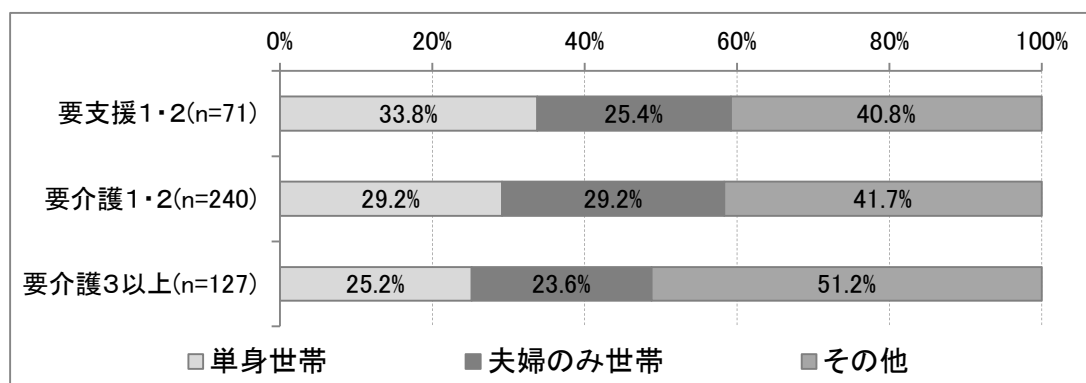
7 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

(1) 基礎集計

【要介護度別・世帯類型】

世帯類型を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「その他」が40.8%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」が33.8%、「夫婦のみ世帯」が25.4%となっている。「要介護１・２」では「その他」が41.7%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」、「夫婦のみ世帯」が29.2%となっている。「要介護３以上」では「その他」が51.2%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」が25.2%、「夫婦のみ世帯」が23.6%となっている。

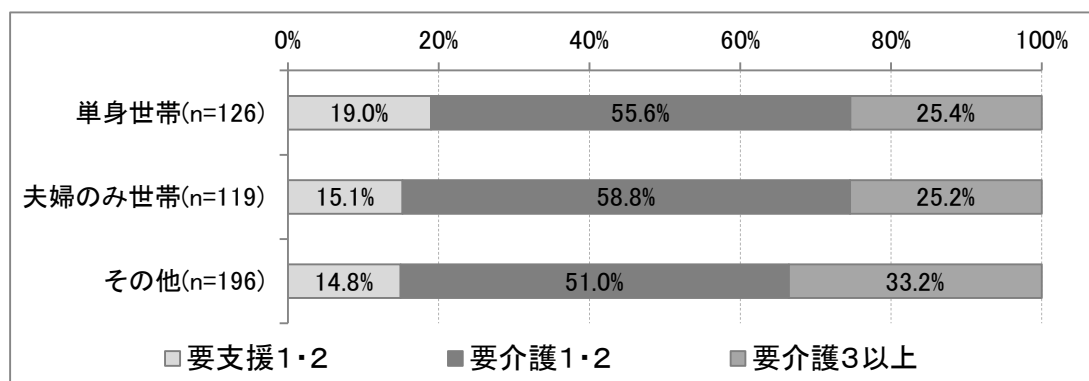
図表 7-1 要介護度別・世帯類型



【世帯類型別・要介護度】

二次判定結果を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「要介護１・２」が55.6%ともっとも割合が高く、次いで「要介護３以上」が25.4%、「要支援１・２」が19.0%となっている。「夫婦のみ世帯」では「要介護１・２」が58.8%ともっとも割合が高く、次いで「要介護３以上」が25.2%、「要支援１・２」が15.1%となっている。「その他」では「要介護１・２」が51.0%ともっとも割合が高く、次いで「要介護３以上」が33.2%、「要支援１・２」が14.8%となっている。

図表 7-2 世帯類型別・要介護度

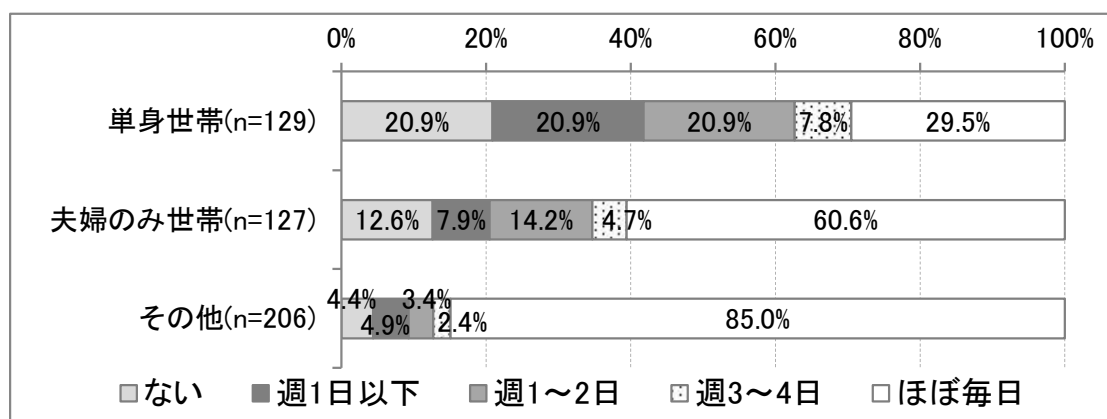


(2) 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

【世帯類型別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「ほぼ毎日」が29.5%と最も割合が高く、次いで「ない」、「週1日以下」、「週1～2日」が20.9%、「週3～4日」が7.8%となっている。「夫婦のみ世帯」では「ほぼ毎日」が60.6%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が14.2%、「ない」が12.6%となっている。「その他」では「ほぼ毎日」が85.0%と最も割合が高く、次いで「週1日以下」が4.9%、「ない」が4.4%となっている。

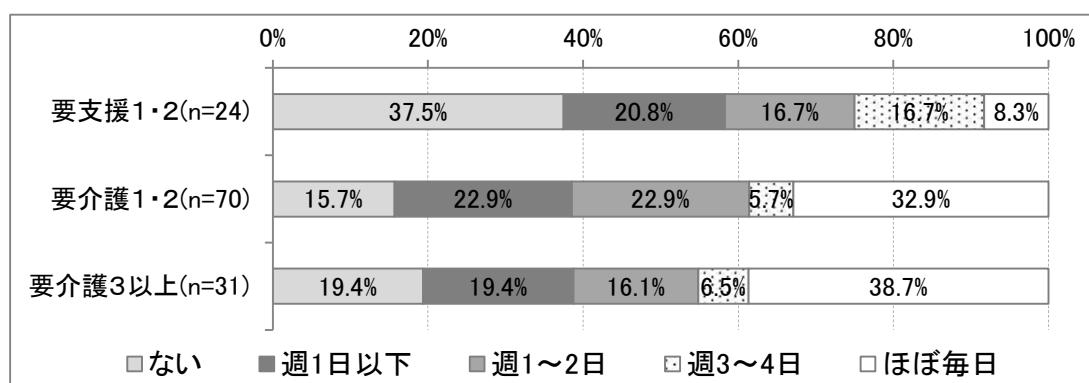
図表 7-3 世帯類型別・家族等による介護の頻度



【要介護度別・家族等による介護の頻度(単身世帯)】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ない」が37.5%と最も割合が高く、次いで「週1日以下」が20.8%、「週1～2日」、「週3～4日」が16.7%となっている。「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が32.9%と最も割合が高く、次いで「週1日以下」、「週1～2日」が22.9%、「ない」が15.7%となっている。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が38.7%と最も割合が高く、次いで「ない」、「週1日以下」が19.4%、「週1～2日」が16.1%となっている。

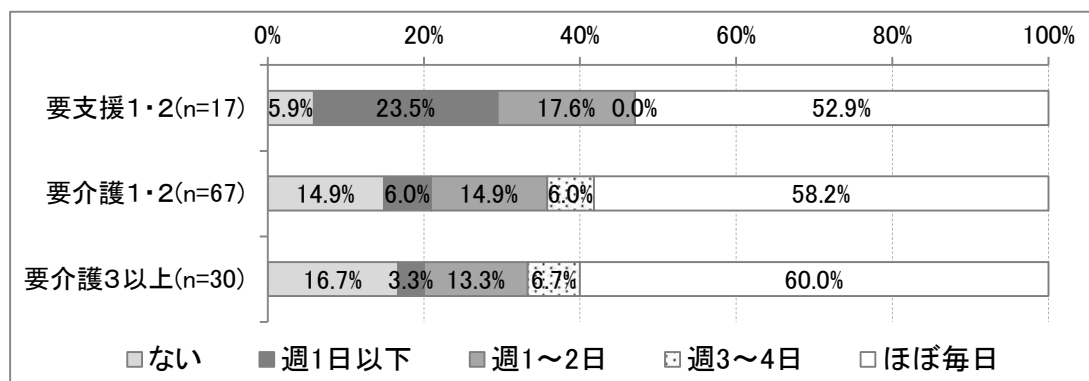
図表 7-4 要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）



【要介護度別・家族等による介護の頻度(夫婦のみ世帯)】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ほぼ毎日」が52.9%と最も割合が高く、次いで「週1日以下」が23.5%、「週1～2日」が17.6%となっている。「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が58.2%と最も割合が高く、次いで「ない」、「週1～2日」が14.9%、「週1日以下」、「週3～4日」が6.0%となっている。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が60.0%と最も割合が高く、次いで「ない」が16.7%、「週1～2日」が13.3%となっている。

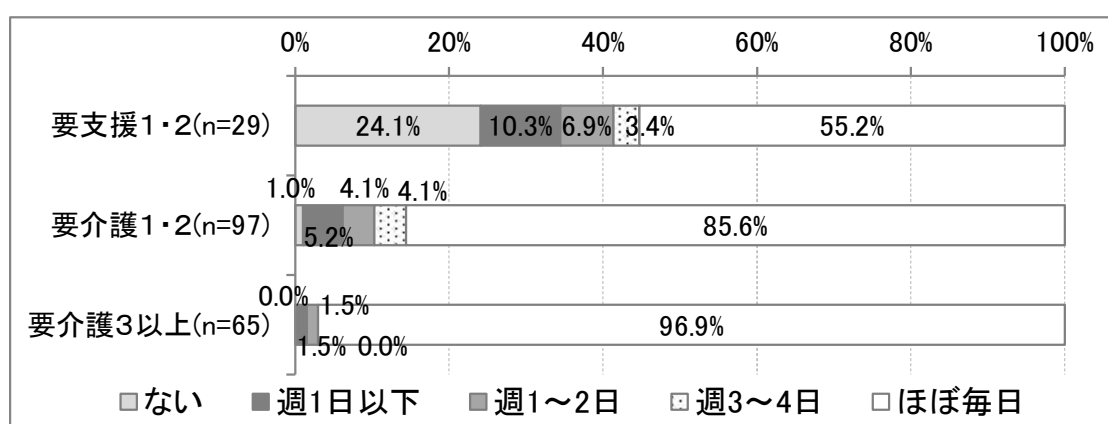
図表 7-5 要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・家族等による介護の頻度(その他世帯)】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ほぼ毎日」が55.2%と最も割合が高く、次いで「ない」が24.1%、「週1日以下」が10.3%となっている。「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が85.6%と最も割合が高く、次いで「週1日以下」が5.2%、「週1～2日」が4.1%となっている。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が96.9%と最も割合が高く、次いで「週1日以下」が1.5%、「週1～2日」が1.5%、「週3～4日」が0.0%となっている。

図表 7-6 要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）

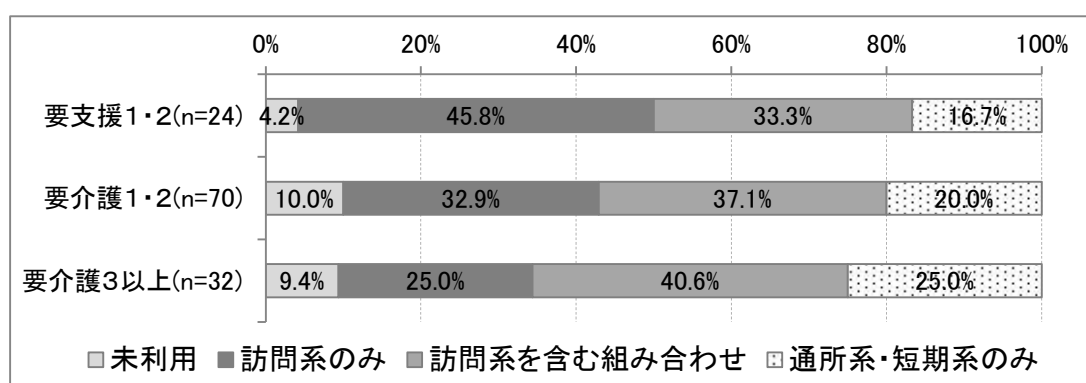


(3) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ(単身世帯)】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「訪問系のみ」が45.8%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が33.3%、「通所系・短期系のみ」が16.7%となっている。「要介護１・２」では「訪問系を含む組み合わせ」が37.1%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が32.9%、「通所系・短期系のみ」が20.0%となっている。「要介護３以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が40.6%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」が25.0%、「未利用」が9.4%となっている。

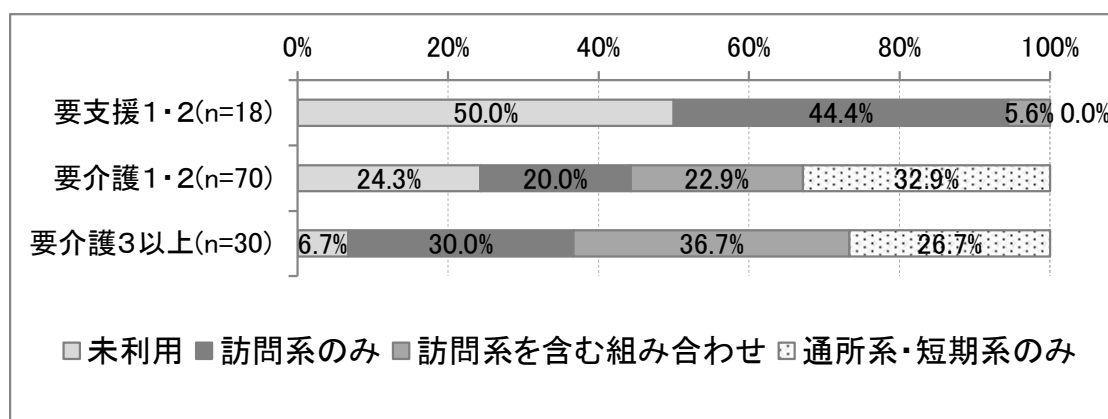
図表 7-7 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯)】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「未利用」が50.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が44.4%、「訪問系を含む組み合わせ」が5.6%となっている。「要介護１・２」では「通所系・短期系のみ」が32.9%と最も割合が高く、次いで「未利用」が24.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が22.9%となっている。「要介護３以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が36.7%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が30.0%、「通所系・短期系のみ」が26.7%となっている。

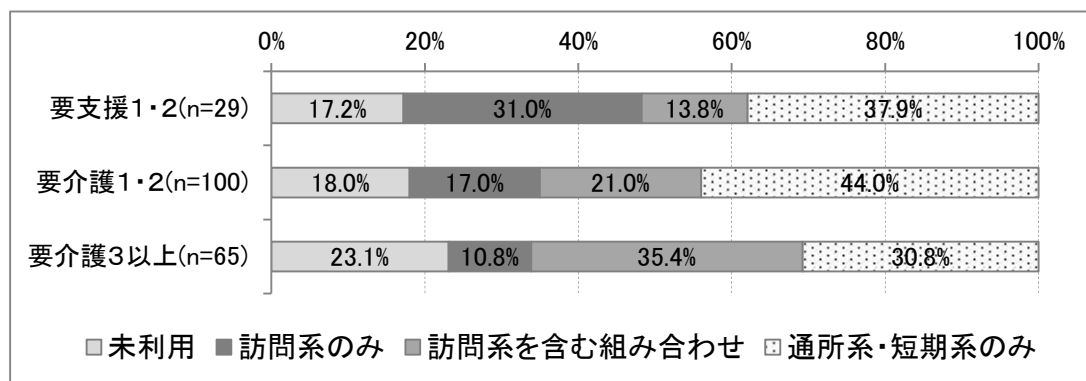
図表 7-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「通所系・短期系のみ」が37.9%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が31.0%、「未利用」が17.2%となっている。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が44.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が21.0%、「未利用」が18.0%となっている。「要介護3以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が35.4%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が30.8%、「未利用」が23.1%となっている。

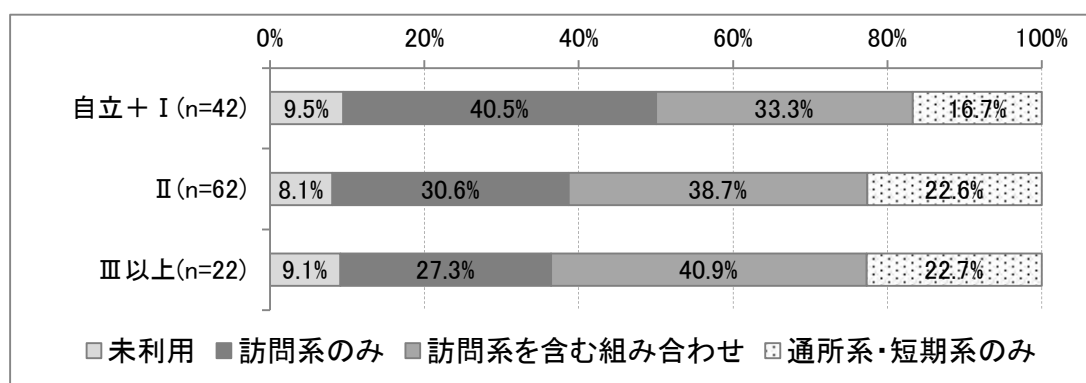
図表 7-9 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(単身世帯)】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「訪問系のみ」が40.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が33.3%、「通所系・短期系のみ」が16.7%となっている。「Ⅱ」では「訪問系を含む組み合わせ」が38.7%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が30.6%、「通所系・短期系のみ」が22.6%となっている。「Ⅲ以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が40.9%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が27.3%、「通所系・短期系のみ」が22.7%となっている。

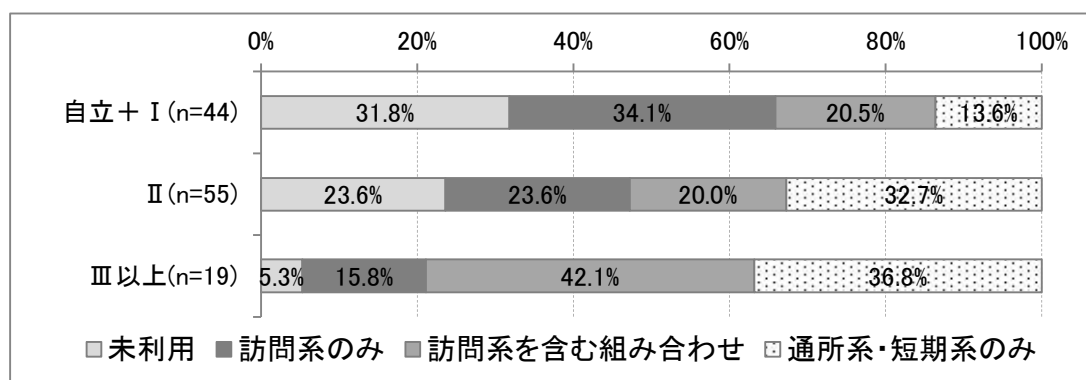
図表 7-10 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯)】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「訪問系のみ」が34.1%と最も割合が高く、次いで「未利用」が31.8%、「訪問系を含む組み合わせ」が20.5%となっている。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が32.7%と最も割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系のみ」が23.6%、「訪問系を含む組み合わせ」が20.0%となっている。「Ⅲ以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が42.1%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が36.8%、「訪問系のみ」が15.8%となっている。

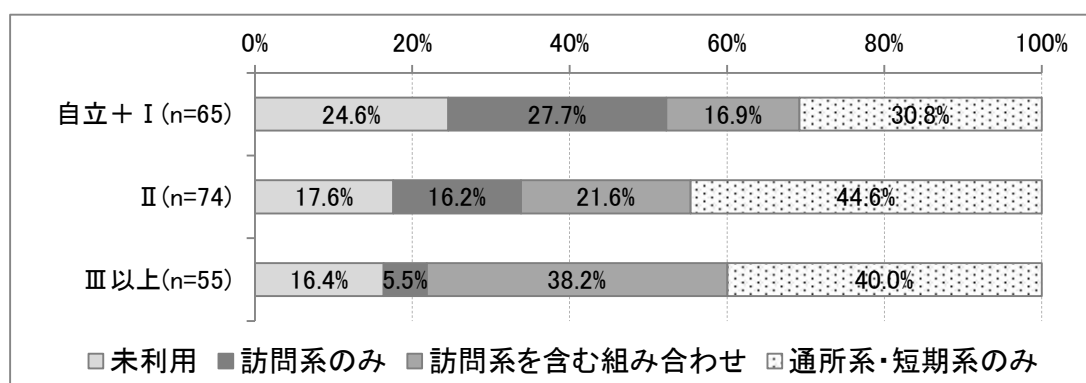
図表 7-11 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(その他世帯)】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「通所系・短期系のみ」が30.8%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が27.7%、「未利用」が24.6%となっている。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が44.6%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が21.6%、「未利用」が17.6%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が38.2%、「未利用」が16.4%となっている。

図表 7-12 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(その他世帯)

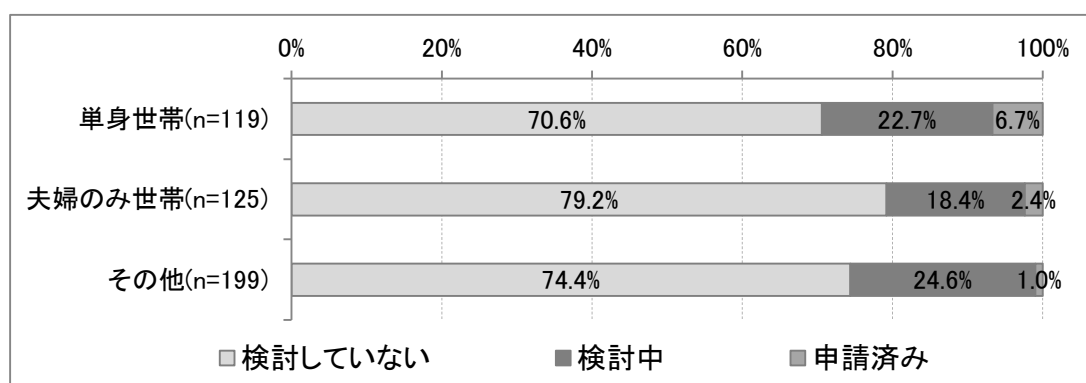


(4) 「要介護度別・認知症自立度別別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

【世帯類型別・施設等検討の状況(全要介護度)】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が70.6%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が22.7%、「申請済み」が6.7%となっている。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が79.2%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が18.4%、「申請済み」が2.4%となっている。「その他」では「検討していない」が74.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が24.6%、「申請済み」が1.0%となっている。

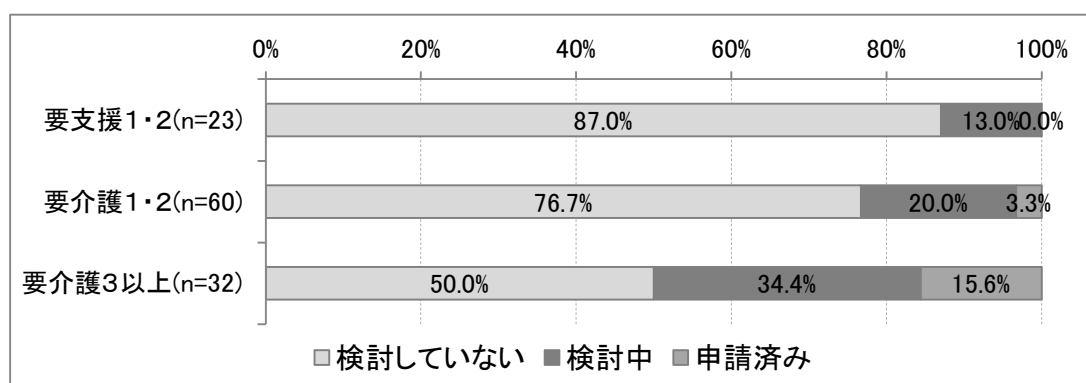
図表 7-13 世帯類型別・施設等検討の状況(全要介護度)



【要介護度別・施設等検討の状況(単身世帯)】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が87.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が13.0%、「申請済み」が0.0%となっている。「要介護１・２」では「検討していない」が76.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が20.0%、「申請済み」が3.3%となっている。「要介護３以上」では「検討していない」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が34.4%、「申請済み」が15.6%となっている。

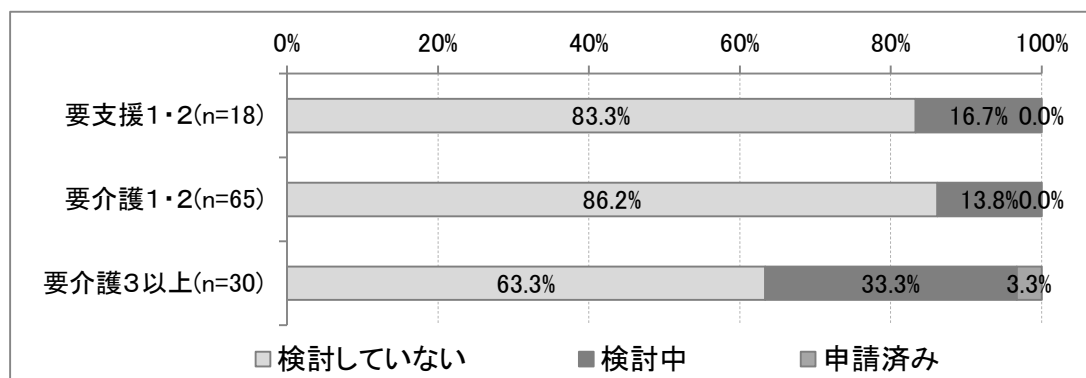
図表 7-14 要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）



【要介護度別・施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が83.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が16.7%、「申請済み」が0.0%となっている。「要介護１・２」では「検討していない」が86.2%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が13.8%、「申請済み」が0.0%となっている。「要介護３以上」では「検討していない」が63.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が3.3%となっている。

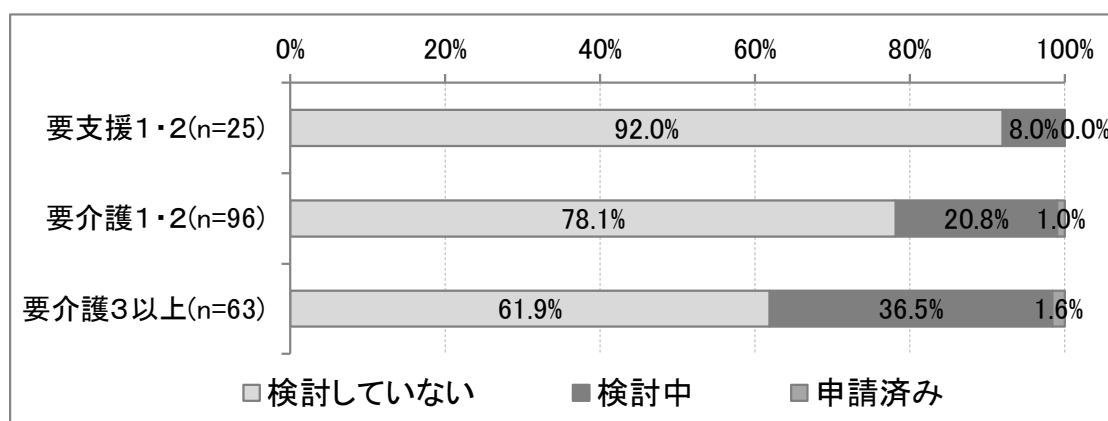
図表 7-15 要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・施設等検討の状況(その他世帯)】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が92.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が8.0%、「申請済み」が0.0%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が78.1%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が20.8%、「申請済み」が1.0%となっている。「要介護3以上」では「検討していない」が61.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が36.5%、「申請済み」が1.6%となっている。

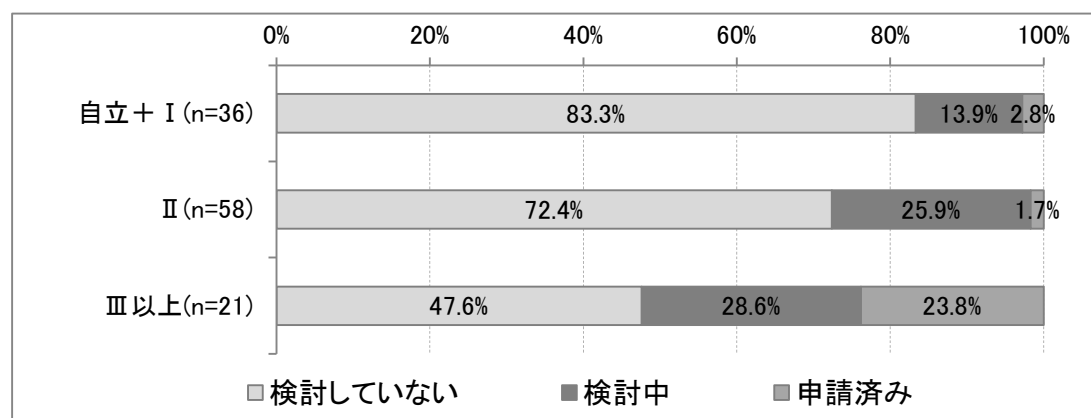
図表 7-16 要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）



【認知症自立度別・施設等検討の状況(単身世帯)】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が83.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が13.9%、「申請済み」が2.8%となっている。「Ⅱ」では「検討していない」が72.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が25.9%、「申請済み」が1.7%となっている。「Ⅲ以上」では「検討していない」が47.6%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が28.6%、「申請済み」が23.8%となっている。

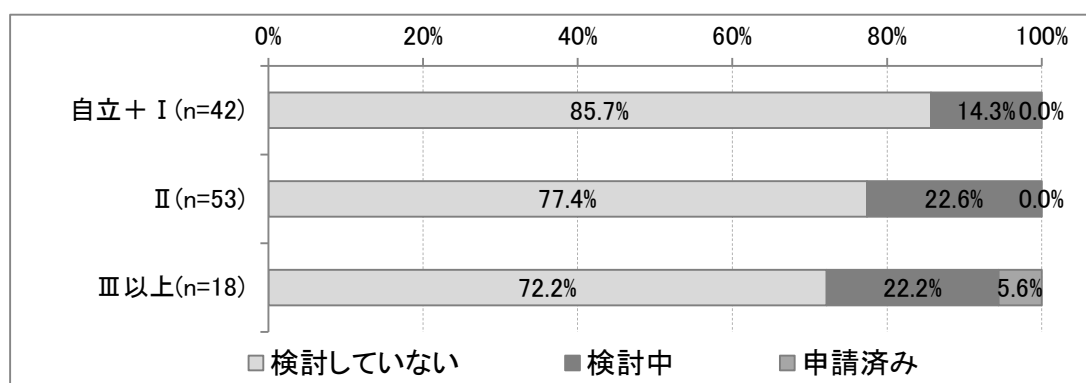
図表 7-17 認知症自立度別・施設等検討の状況（単身世帯）



【認知症自立度別・施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「検討していない」が85.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が14.3%、「申請済み」が0.0%となっている。「Ⅱ」では「検討していない」が77.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が22.6%、「申請済み」が0.0%となっている。「Ⅲ以上」では「検討していない」が72.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が22.2%、「申請済み」が5.6%となっている。

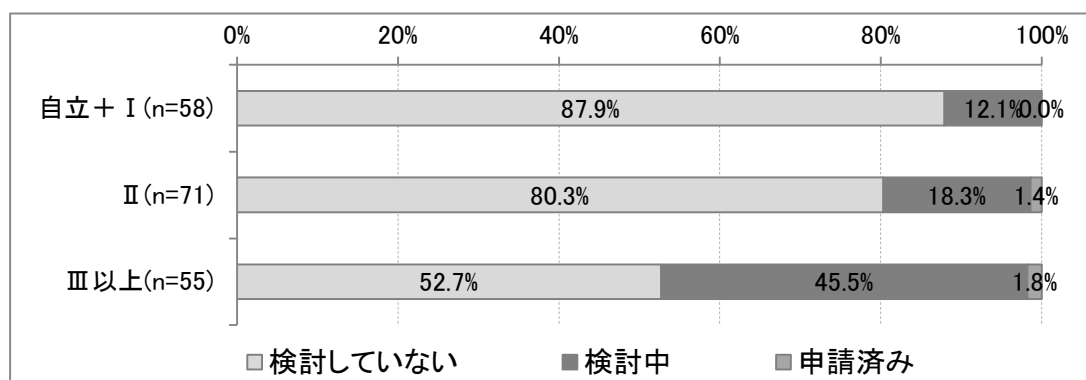
図表 7-18 認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



【認知症自立度別・施設等検討の状況(その他の世帯)】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「検討していない」が87.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が12.1%、「申請済み」が0.0%となっている。「Ⅱ」では「検討していない」が80.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が18.3%、「申請済み」が1.4%となっている。「Ⅲ以上」では「検討していない」が52.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が45.5%、「申請済み」が1.8%となっている。

図表 7-19 認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）



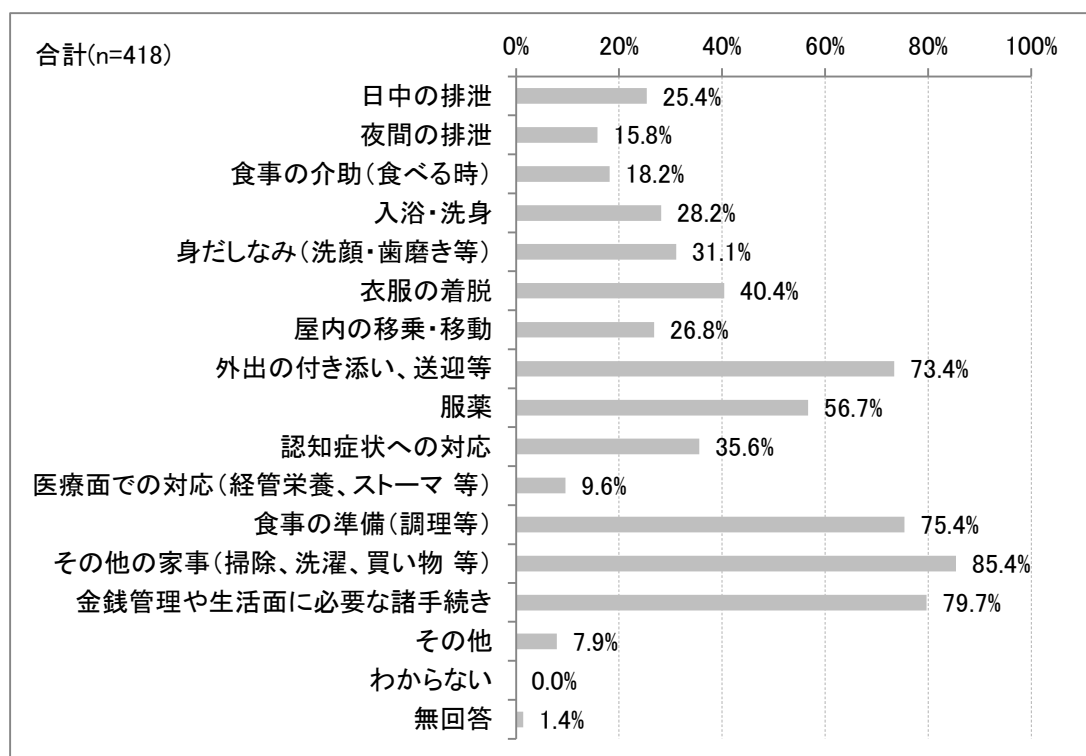
8 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

(1) 基礎集計

【主な介護者が行っている介護】

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が最も高く 85.4%となっている。次いで、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き（79.7%）」、「食事の準備（調理等）（75.4%）」となっている。

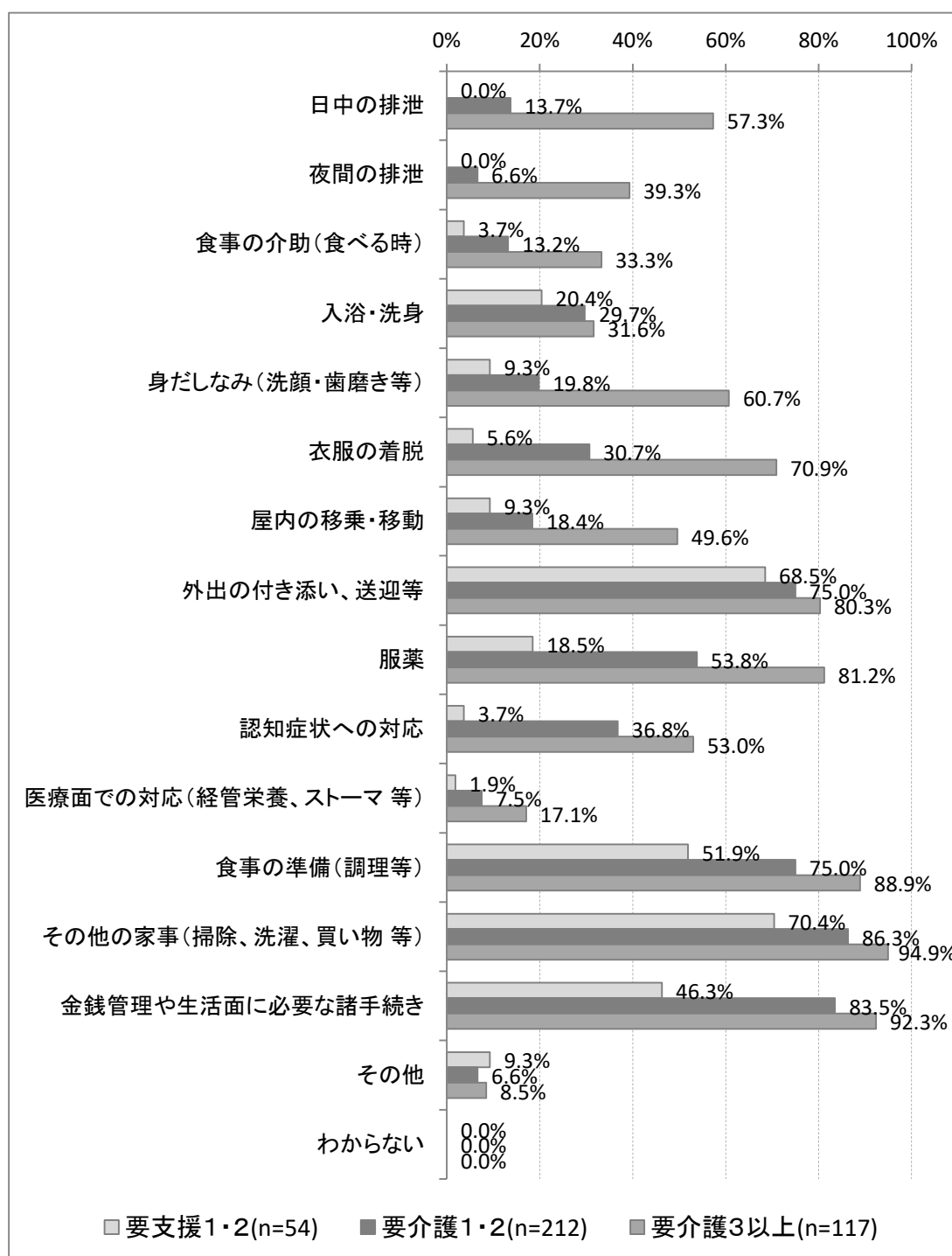
図表 8-1 主な介護者が行っている介護



【要介護度別・主な介護者が行っている介護】

介護者が行っている介護を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 70.4%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 68.5%、「食事の準備（調理等）」が 51.9%となっている。「要介護１・２」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 86.3%と最も割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 83.5%、「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備（調理等）」が 75.0%となっている。「要介護３以上」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 94.9%と最も割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 92.3%、「食事の準備（調理等）」が 88.9%となっている。

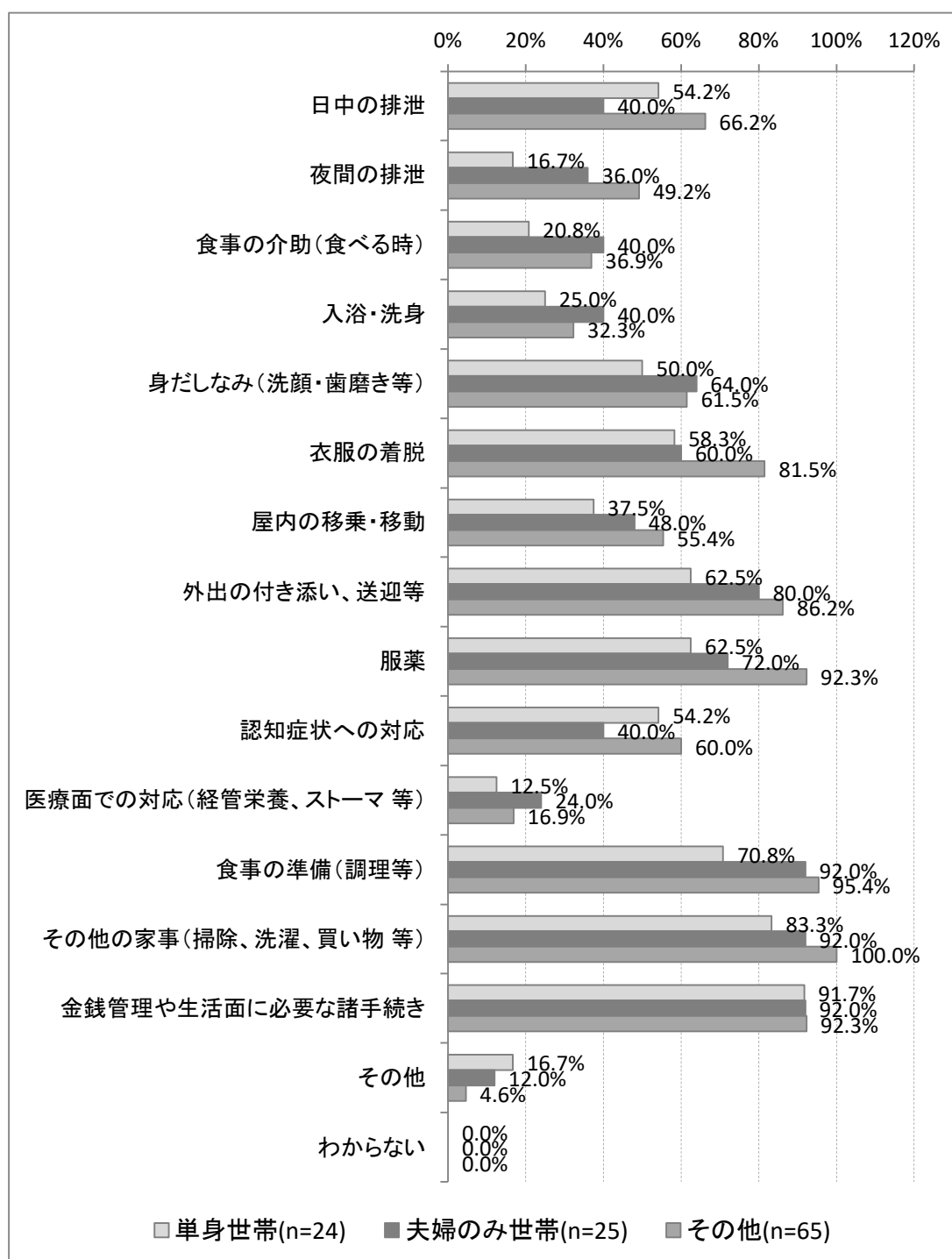
図表 8-2 要介護度別・主な介護者が行っている介護



【世帯類型別・主な介護者が行っている介護(要介護3以上)】

介護者が行っている介護を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が91.7%ともっとも割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が83.3%、「食事の準備（調理等）」が70.8%となっている。「夫婦のみ世帯」では「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が92.0%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が80.0%、「服薬」が72.0%となっている。「その他」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が100.0%ともっとも割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が95.4%、「服薬」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が92.3%となっている。

図表 8-3 世帯類型別・主な介護者が行っている介護（要介護3以上）

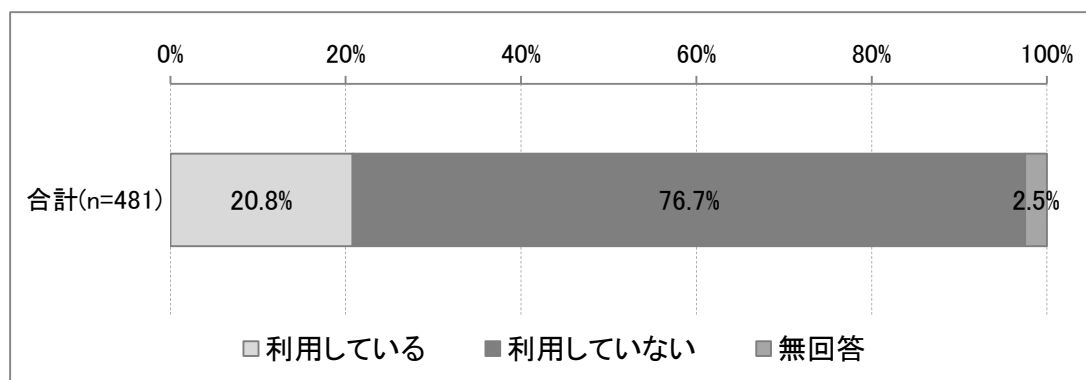


(2) 訪問診療の利用割合

【訪問診療の利用の有無】

「利用していない」の割合が最も高く 76.7%となっている。次いで、「利用している (20.8%)」となっている。

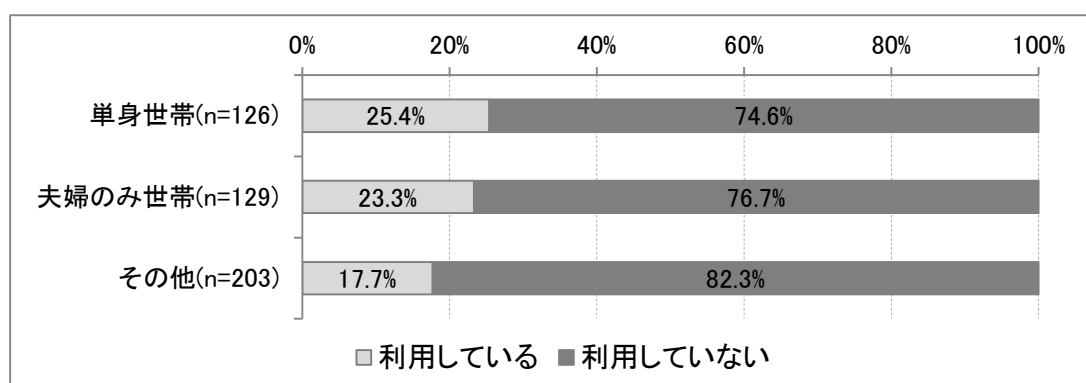
図表 8-4 訪問診療の利用の有無



【世帯類型別・訪問診療の利用割合】

訪問診療の利用の有無を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が 74.6%と最も割合が高く、次いで「利用している」が 25.4%となっている。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が 76.7%と最も割合が高く、次いで「利用している」が 23.3%となっている。「その他」では「利用していない」が 82.3%と最も割合が高く、次いで「利用している」が 17.7%となっている。

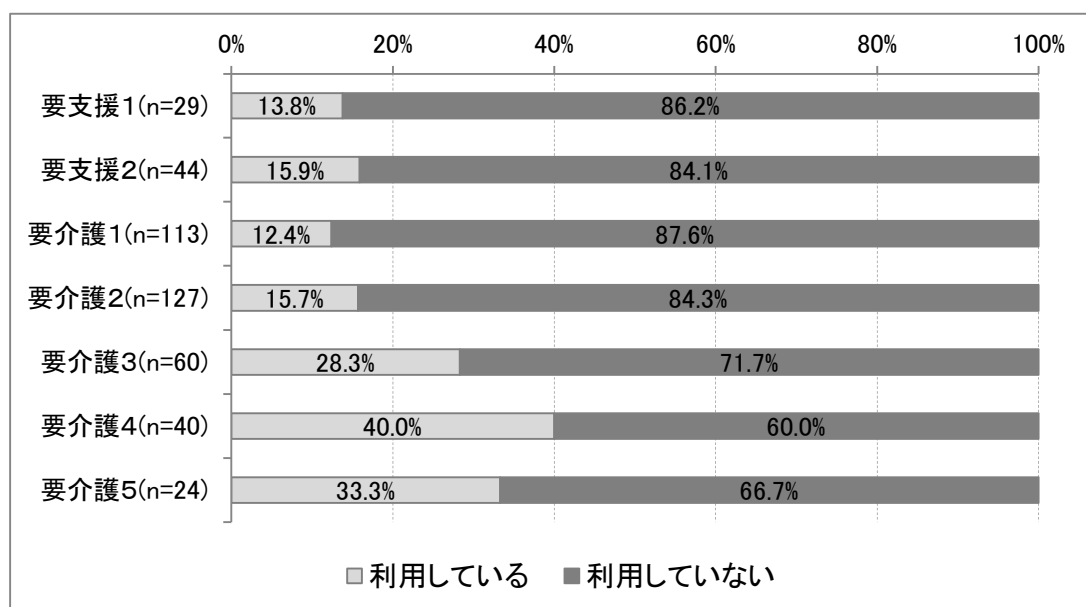
図表 8-5 世帯類型別・訪問診療の利用割合



【要介護度別・訪問診療の利用割合】

訪問診療の利用の有無を二次判定結果別にみると、「要支援1」では「利用していない」が86.2%と最も割合が高く、次いで「利用している」が13.8%となっている。「要支援2」では「利用していない」が84.1%と最も割合が高く、次いで「利用している」が15.9%となっている。「要介護1」では「利用していない」が87.6%と最も割合が高く、次いで「利用している」が12.4%となっている。「要介護2」では「利用していない」が84.3%と最も割合が高く、次いで「利用している」が15.7%となっている。「要介護3」では「利用していない」が71.7%と最も割合が高く、次いで「利用している」が28.3%となっている。「要介護4」では「利用していない」が60.0%と最も割合が高く、次いで「利用している」が40.0%となっている。「要介護5」では「利用していない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「利用している」が33.3%となっている。

図表 8-6 要介護度別・訪問診療の利用割合

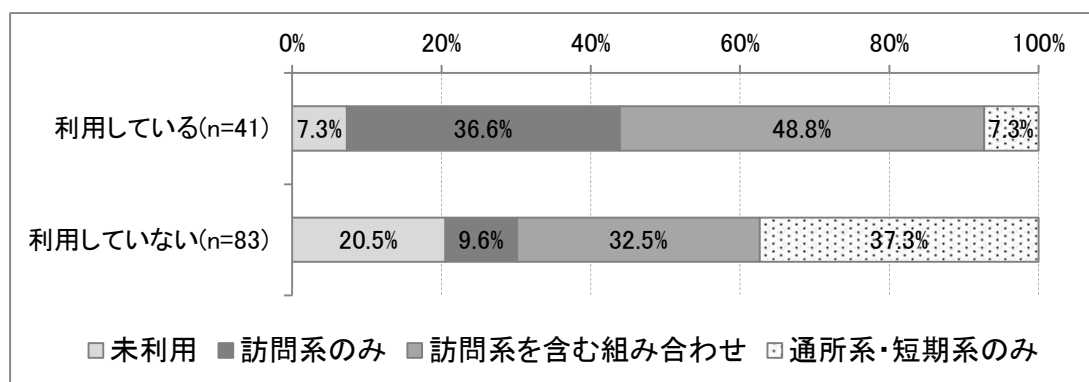


(3) 訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ

【訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ(要介護3以上)】

サービス利用の組み合わせを訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系を含む組み合わせ」が48.8%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が36.6%、「未利用」、「通所系・短期系のみ」が7.3%となっている。「利用していない」では「通所系・短期系のみ」が37.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が32.5%、「未利用」が20.5%となっている。

図表 8-7 訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）

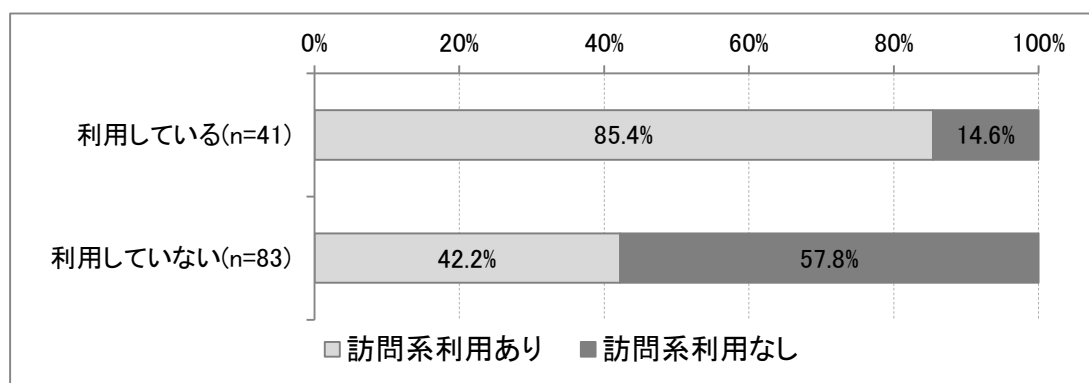


(4) 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無

【訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無(訪問系、要介護3以上)】

訪問系の利用の有無を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系利用あり」が85.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系利用なし」が14.6%となっている。「利用していない」では「訪問系利用なし」が57.8%と最も割合が高く、次いで「訪問系利用あり」が42.2%となっている。

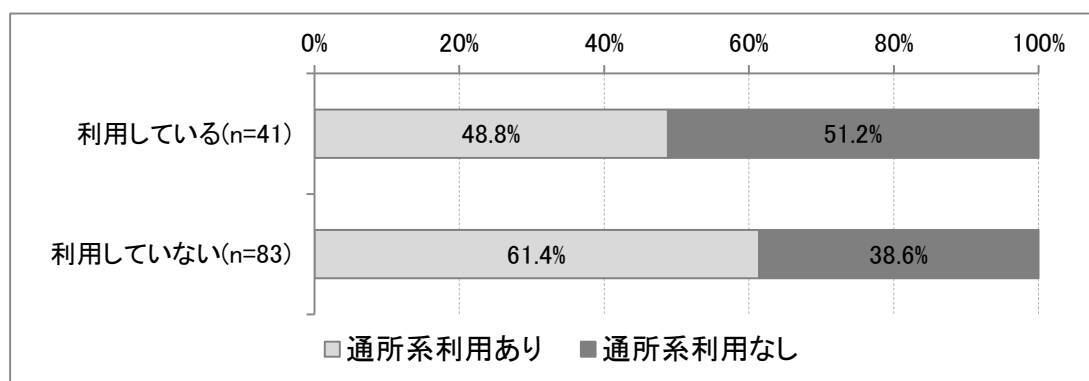
図表 8-8 訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）



【訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）】

通所系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「通所系利用なし」が51.2%と最も割合が高く、次いで「通所系利用あり」が48.8%となっている。「利用していない」では「通所系利用あり」が61.4%と最も割合が高く、次いで「通所系利用なし」が38.6%となっている。

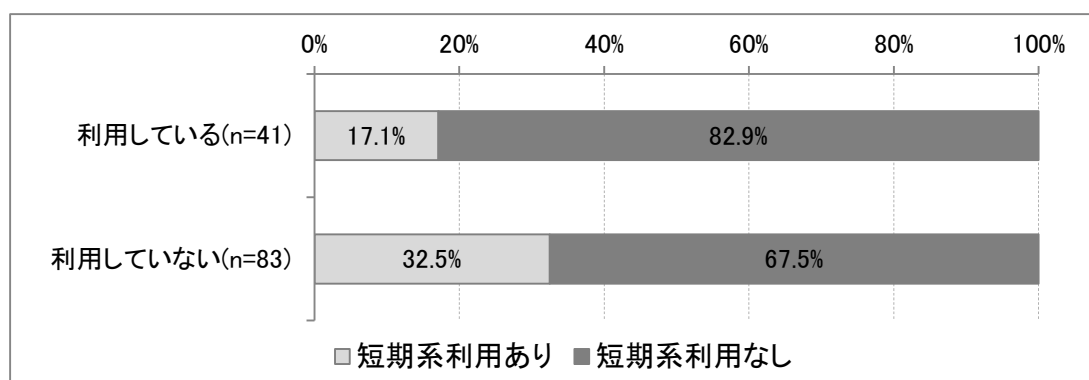
図表 8-9 訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）



【訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）】

短期系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「短期系利用なし」が82.9%と最も割合が高く、次いで「短期系利用あり」が17.1%となっている。「利用していない」では「短期系利用なし」が67.5%と最も割合が高く、次いで「短期系利用あり」が32.5%となっている。

図表 8-10 訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）



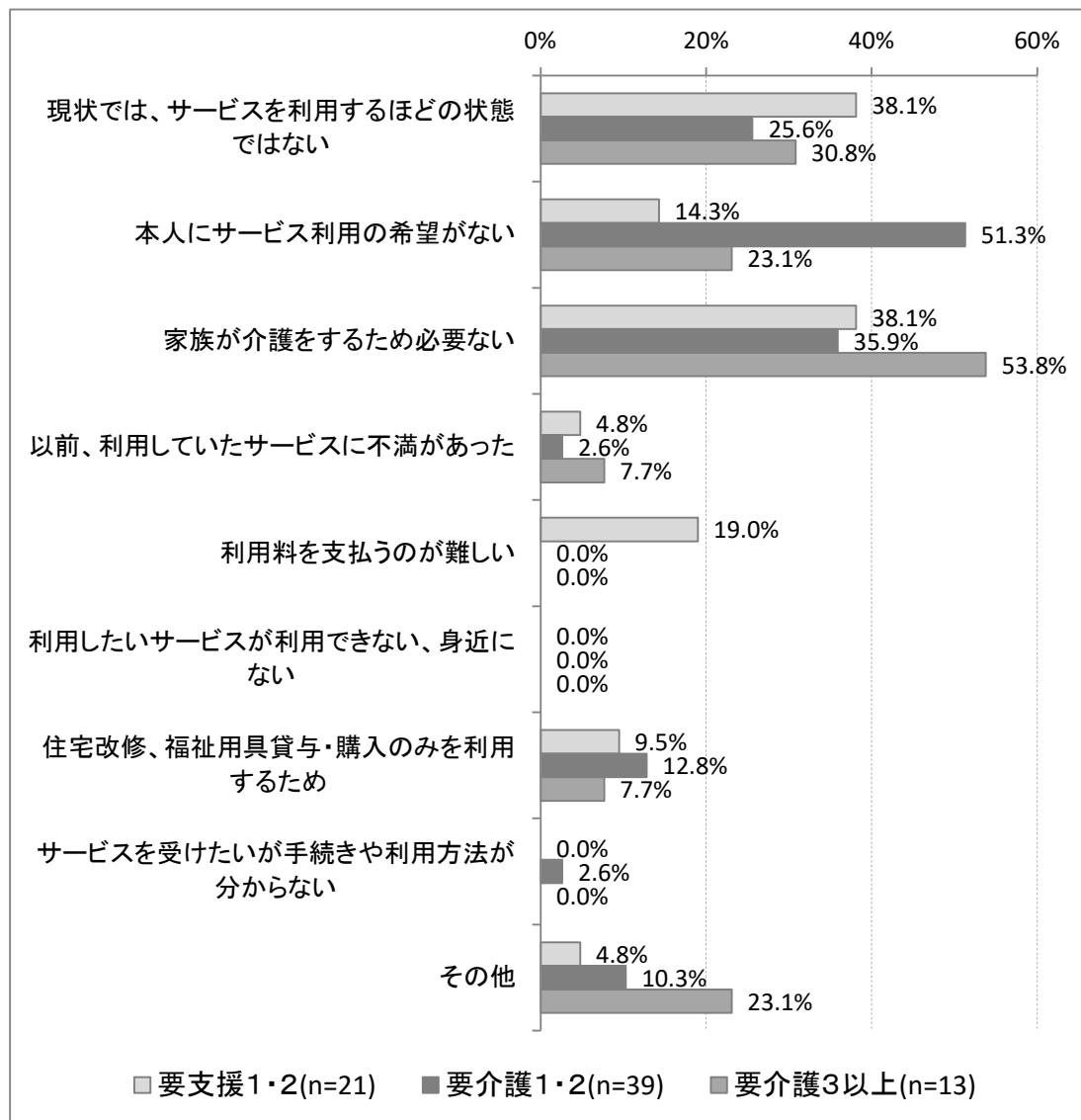
9 サービス未利用の理由など

(1) 要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

【要介護度別のサービス未利用の理由】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」が 38.1% ともっとも割合が高く、次いで「利用料を支払うのが難しい」が 19.0%、「本人にサービス利用の希望がない」が 14.3% となっている。「要介護１・２」では「本人にサービス利用の希望がない」が 51.3% ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 35.9%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 25.6% となっている。「要介護３以上」では「家族が介護をするため必要ない」が 53.8% ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 30.8%、「本人にサービス利用の希望がない」、「その他」が 23.1% となっている。

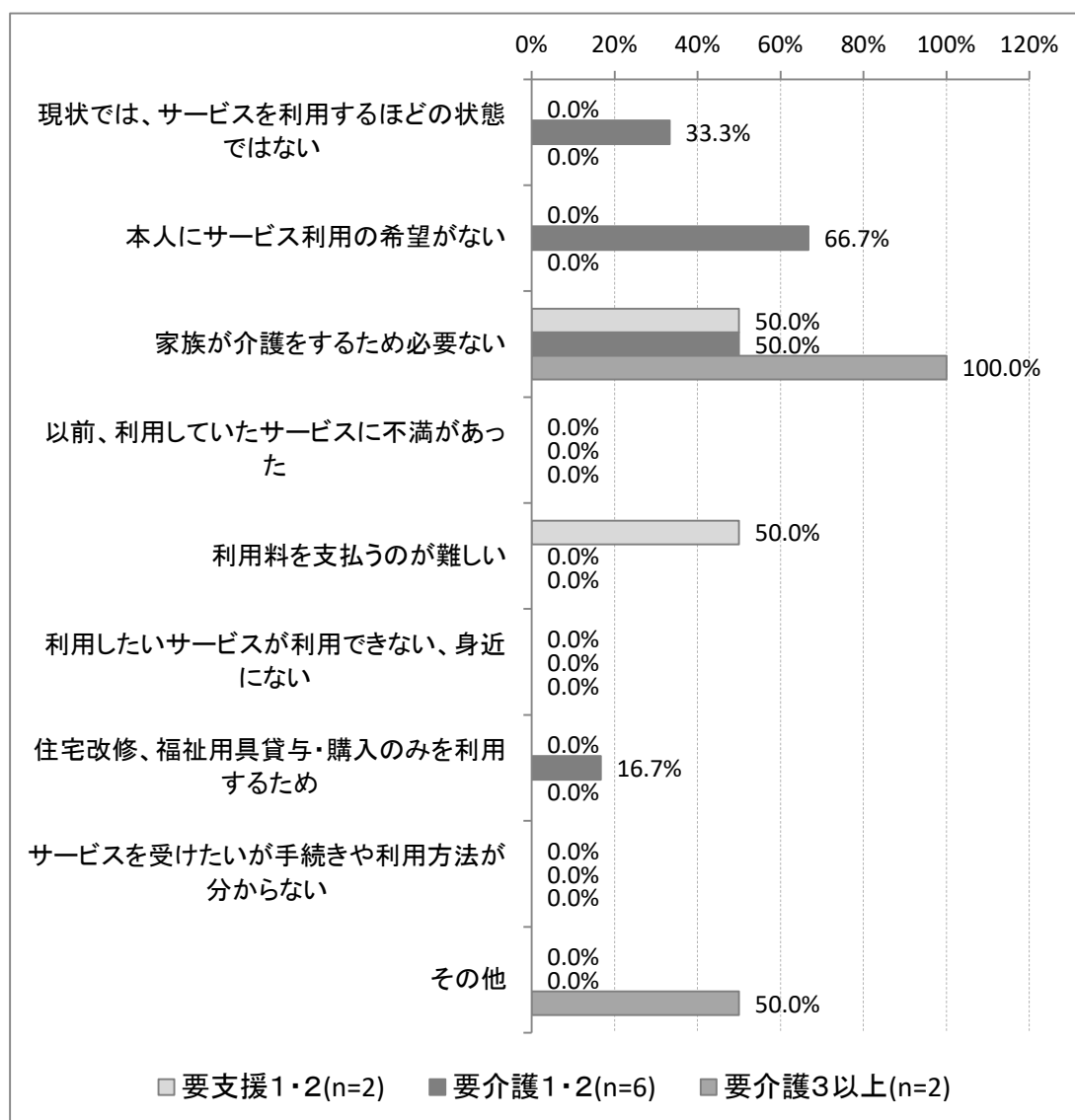
図表 9-1 要介護度別のサービス未利用の理由



【要介護度別のサービス未利用の理由(単身世帯)】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「家族が介護をするため必要ない」、「利用料を支払うのが難しい」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が0.0%となっている。「要介護1・2」では「本人にサービス利用の希望がない」が66.7%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が50.0%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が33.3%となっている。「要介護3以上」では「家族が介護をするため必要ない」が100.0%ともっとも割合が高く、次いで「その他」が50.0%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が0.0%となっている。

図表 9-2 要介護度別のサービス未利用の理由（単身世帯）

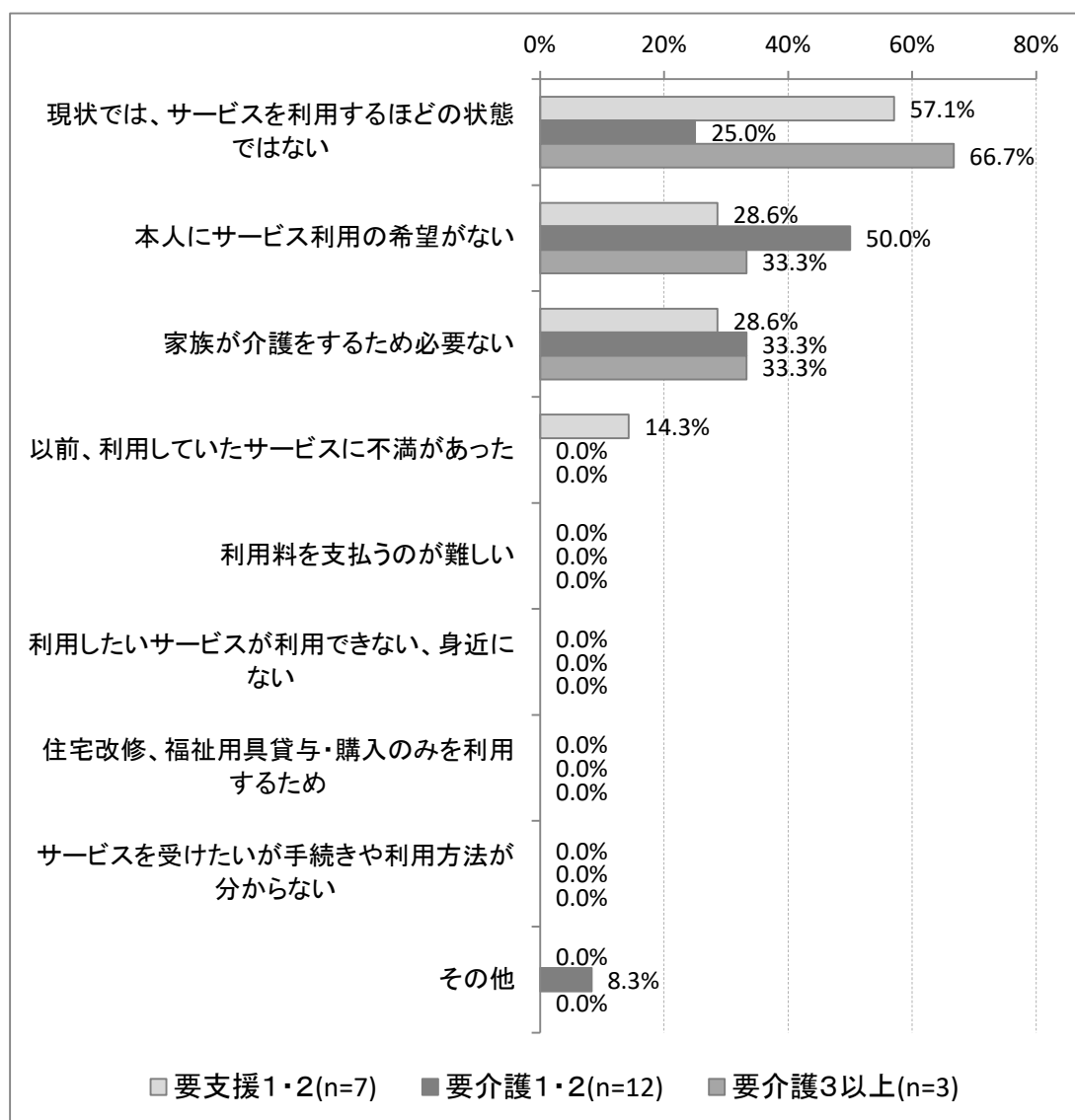


【要介護度別のサービス未利用の理由(夫婦のみ世帯)】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 57.1% ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が 28.6%、「以前、利用していたサービスに不満があった」が 14.3% となっている。「要介護１・２」では「本人にサービス利用の希望がない」が 50.0% ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 33.3%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 25.0% となっている。

「要介護３以上」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 66.7% ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が 33.3%、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が 0.0% となっている。

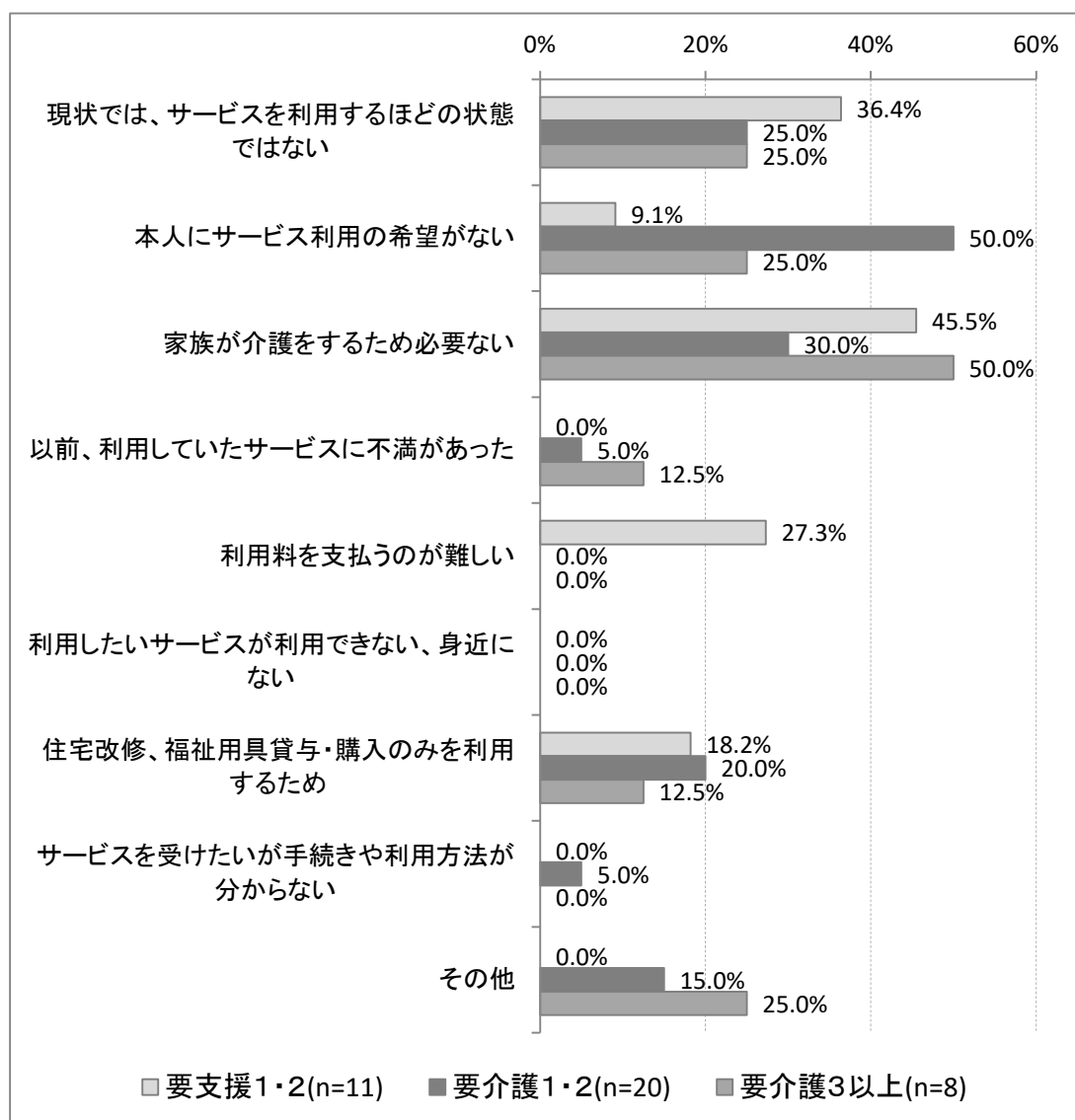
図表 9-3 要介護度別のサービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）



【要介護度別のサービス未利用の理由(その他世帯)】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「家族が介護をするため必要ない」が 45.5% ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 36.4%、「利用料を支払うのが難しい」が 27.3% となっている。「要介護１・２」では「本人にサービス利用の希望がない」が 50.0% ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 30.0%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 25.0% となっている。「要介護３以上」では「家族が介護をするため必要ない」が 50.0% ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「その他」が 25.0%、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 12.5% となっている。

図表 9-4 要介護度別のサービス未利用の理由（その他世帯）



(2) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

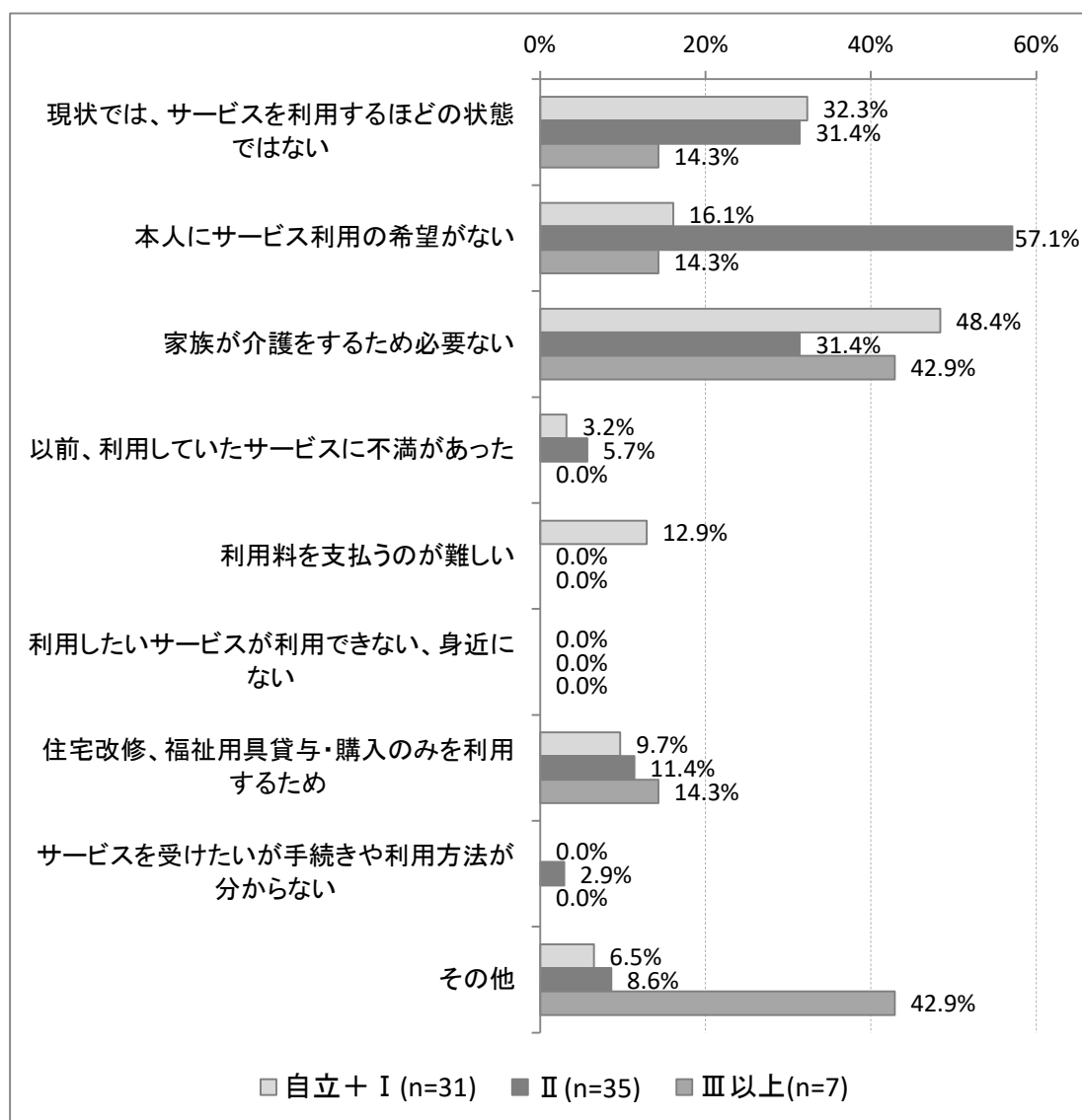
【認知症自立度別のサービス未利用の理由】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「家族が介護をするため必要ない」が48.4%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が32.3%、「本人にサービス利用の希望がない」が16.1%となっている。

「Ⅱ」では「本人にサービス利用の希望がない」が57.1%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」が31.4%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が11.4%となっている。

「Ⅲ以上」では「家族が介護をするため必要ない」、「その他」が42.9%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が14.3%、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が0.0%となっている。

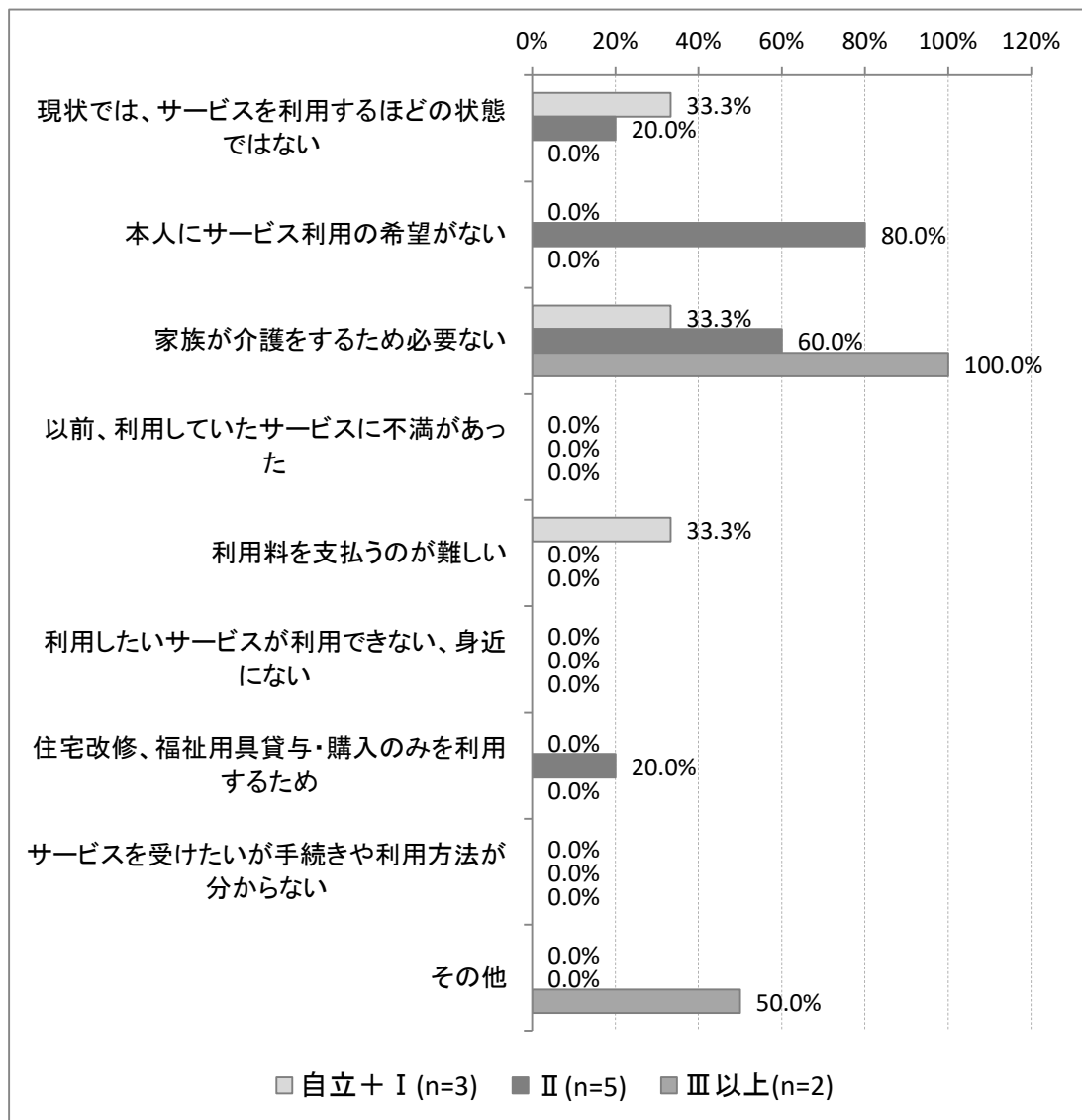
図表 9-5 認知症自立度別のサービス未利用の理由



【認知症自立度別のサービス未利用の理由(単身世帯)】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」、「利用料を支払うのが難しい」が33.3%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が0.0%となっている。「Ⅱ」では「本人にサービス利用の希望がない」が80.0%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が60.0%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が20.0%となっている。「Ⅲ以上」では「家族が介護をするため必要ない」が100.0%と最も割合が高く、次いで「その他」が50.0%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が0.0%となっている。

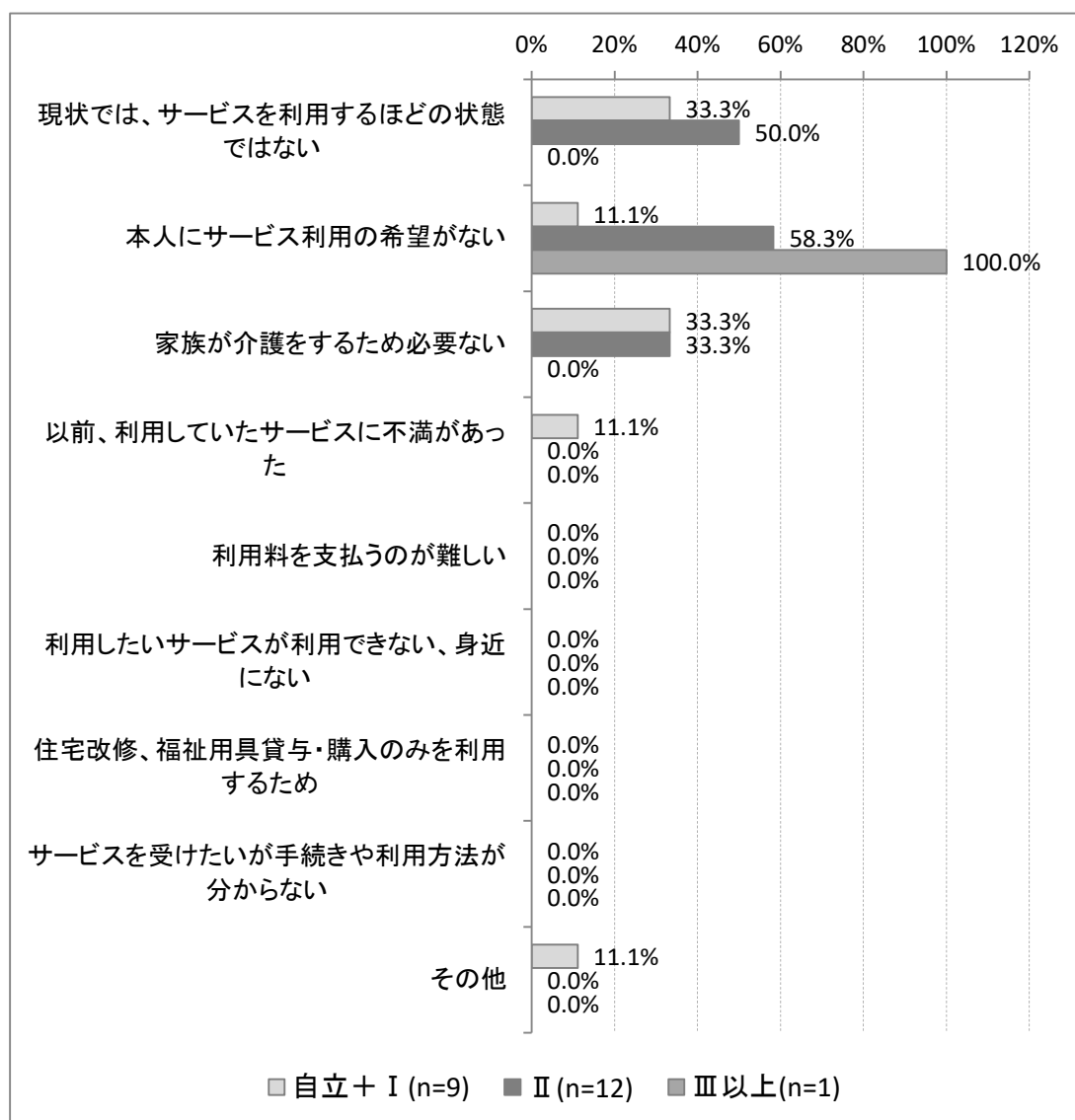
図表 9-6 認知症自立度別のサービス未利用の理由（単身世帯）



【認知症自立度別のサービス未利用の理由(夫婦のみ世帯)】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」が33.3%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「その他」が11.1%、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が0.0%となっている。「Ⅱ」では「本人にサービス利用の希望がない」が58.3%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が50.0%、「家族が介護をするため必要ない」が33.3%となっている。「Ⅲ以上」では「本人にサービス利用の希望がない」が100.0%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が0.0%となっている。

図表 9-7 認知症自立度別のサービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）



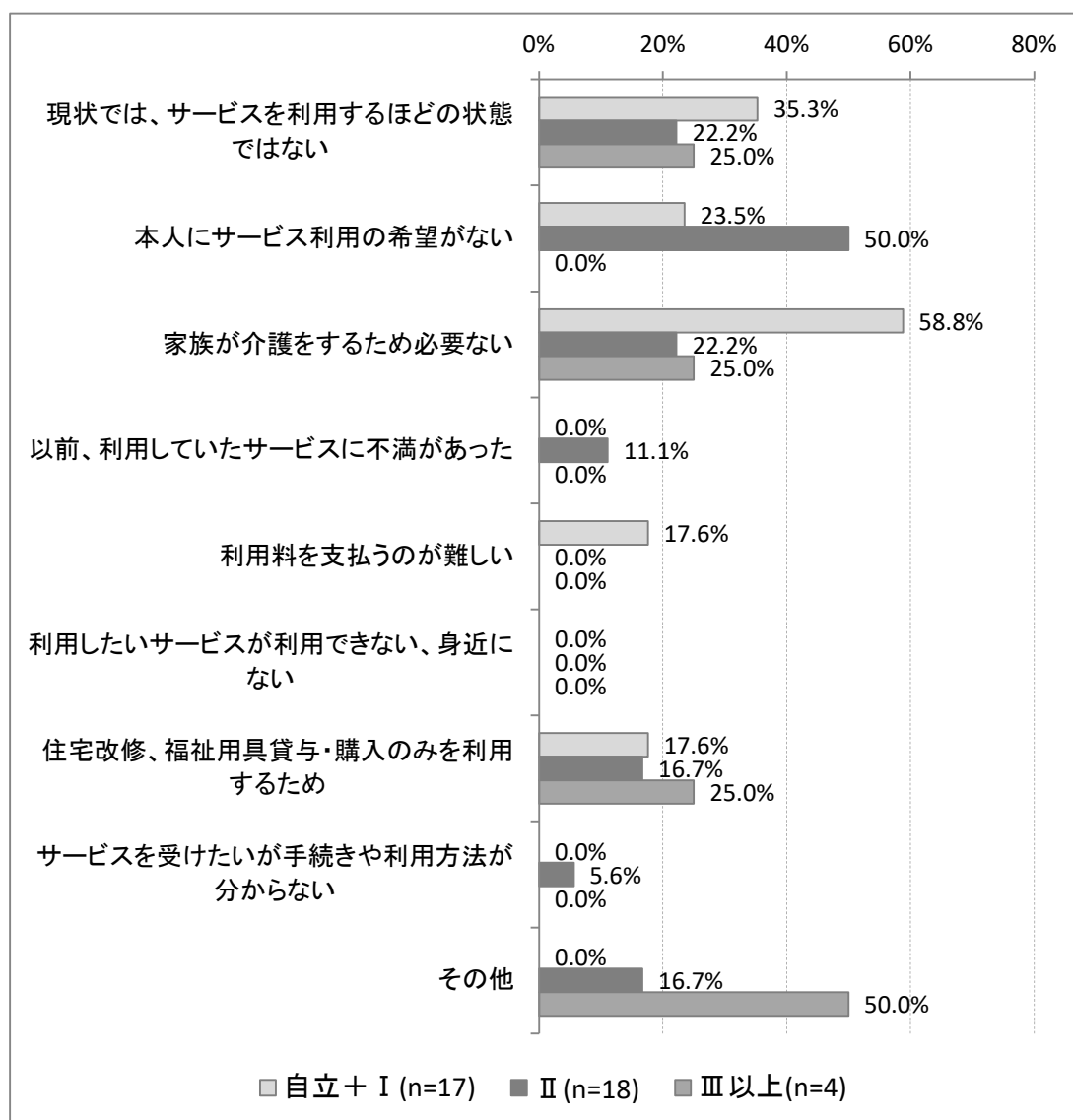
【認知症自立度別のサービス未利用の理由(その他世帯)】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「家族が介護をするため必要ない」が58.8%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が35.3%、「本人にサービス利用の希望がない」が23.5%となっている。

「Ⅱ」では「本人にサービス利用の希望がない」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」が22.2%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「その他」が16.7%となっている。「Ⅲ以上」では「その他」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が25.0%、「本人にサービス利用の希望がない」、

「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が0.0%となっている。

図表 9-8 認知症自立度別のサービス未利用の理由（その他世帯）

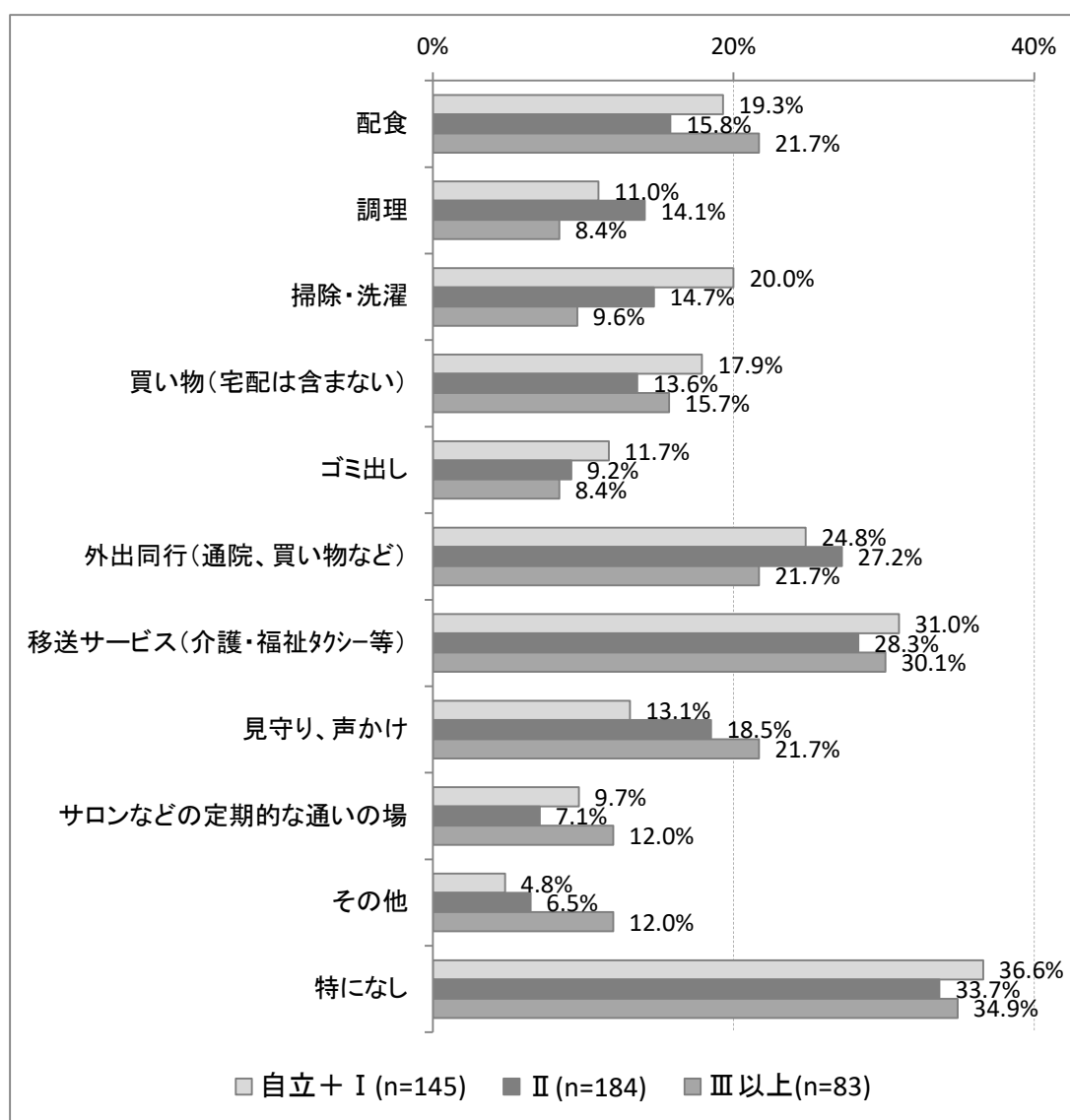


(3) 認知症自立度別の今後の在宅生活に必要と感じる支援・サービス

【認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が36.6%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が24.8%となっている。「Ⅱ」では「特になし」が33.7%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.3%、「外出同行（通院、買い物など）」が27.2%となっている。「Ⅲ以上」では「特になし」が34.9%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が30.1%、「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」が21.7%となっている。

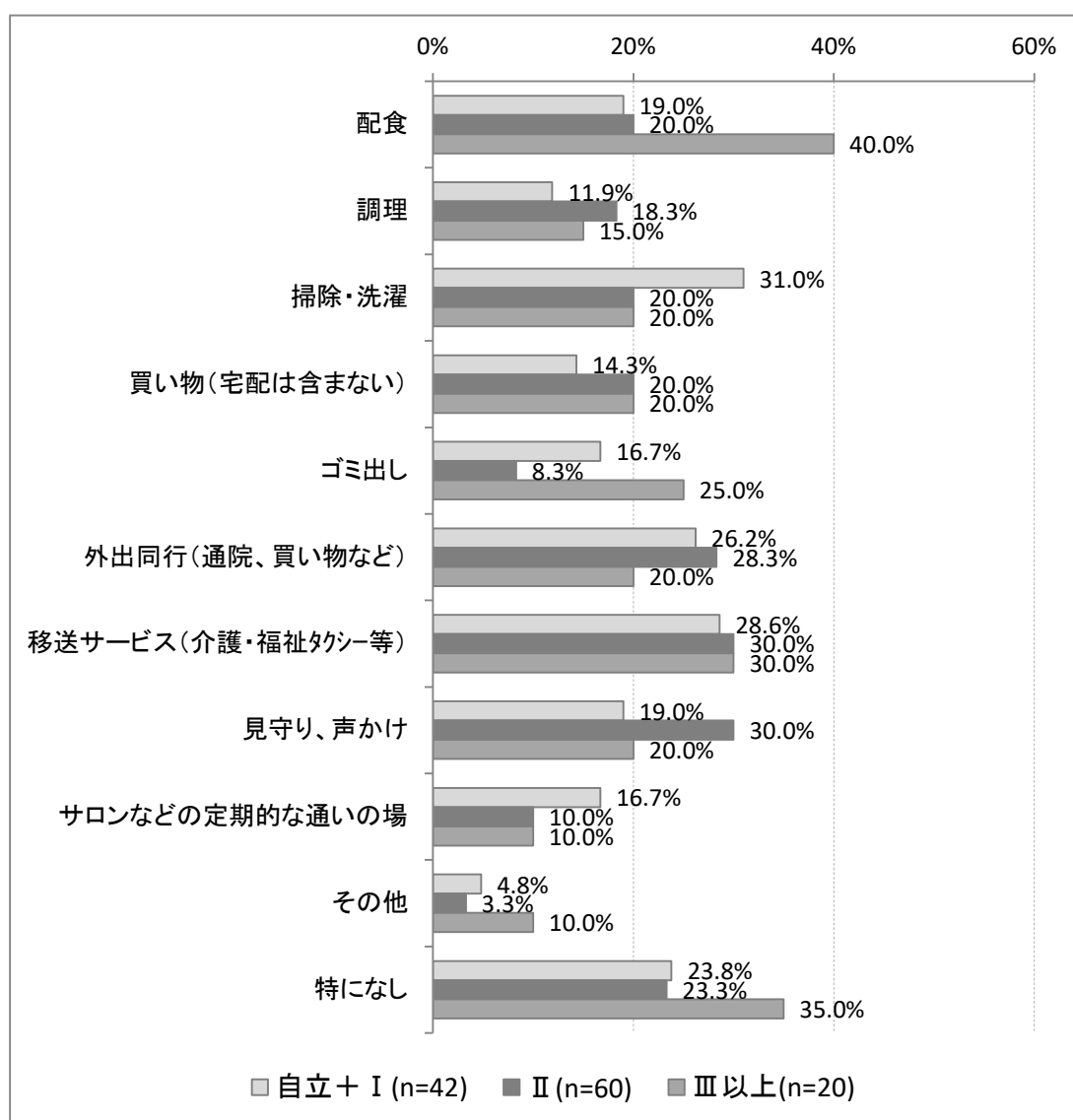
図表 9-9 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



【認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「掃除・洗濯」が31.0%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が26.2%となっている。「Ⅱ」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」が30.0%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が28.3%、「特になし」が23.3%となっている。「Ⅲ以上」では「配食」が40.0%と最も割合が高く、次いで「特になし」が35.0%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が30.0%となっている。

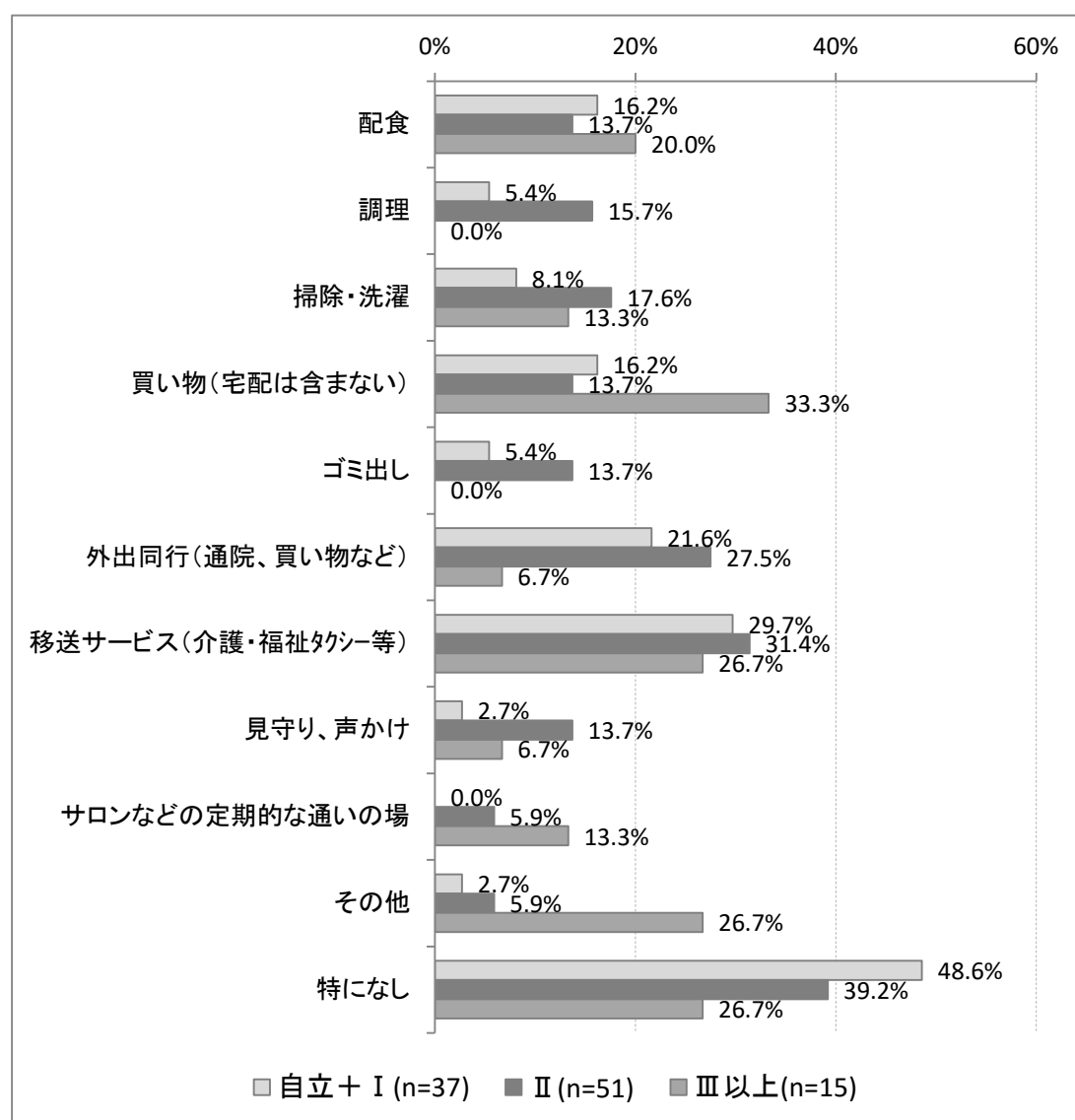
図表 9-10 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



【認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(夫婦のみ世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が48.6%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が21.6%となっている。「Ⅱ」では「特になし」が39.2%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.4%、「外出同行（通院、買い物など）」が27.5%となっている。「Ⅲ以上」では「買い物（宅配は含まない）」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「その他」、「特になし」が26.7%、「配食」が20.0%となっている。

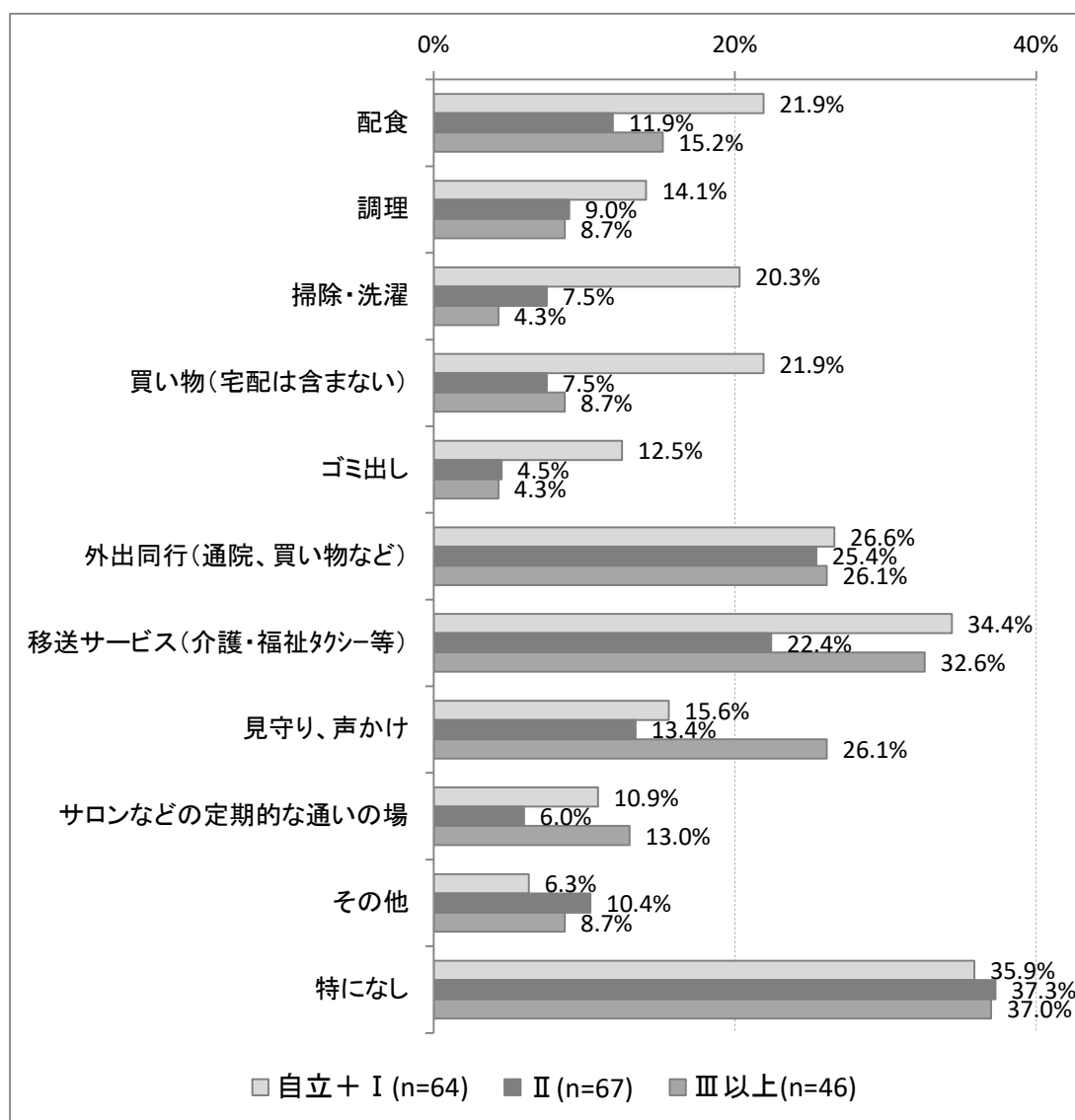
図表 9-11 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



【認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が35.9%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.4%、「外出同行（通院、買い物など）」が26.6%となっている。「Ⅱ」では「特になし」が37.3%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が25.4%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が22.4%となっている。「Ⅲ以上」では「特になし」が37.0%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が32.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が26.1%となっている。

図表 9-12 認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）

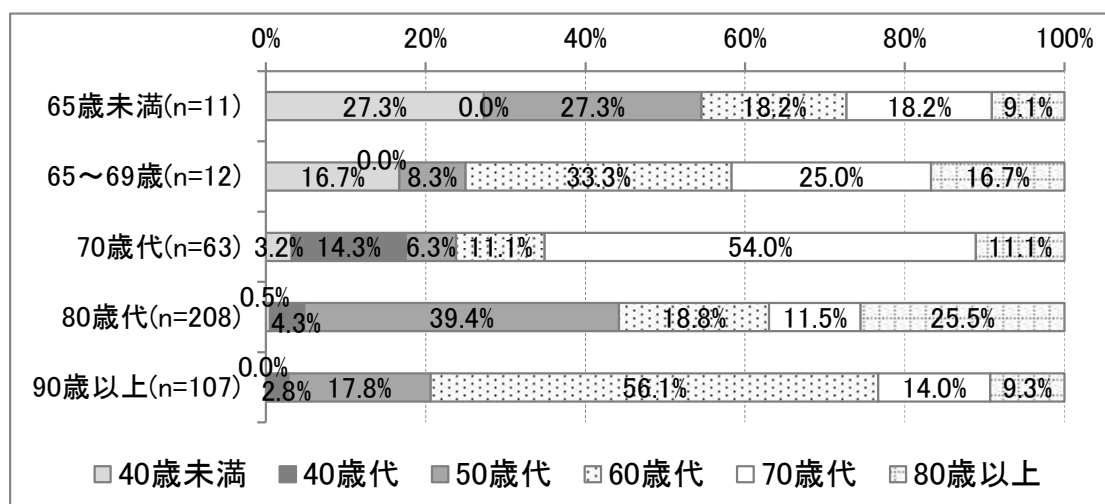


(4) 本人の年齢別・主な介護者の年齢

【本人の年齢別・主な介護者の年齢】

介護者の年齢を本人年齢別にみると、「65歳未満」では「40歳未満」、「50歳代」が27.3%ともっとも割合が高く、次いで「60歳代」、「70歳代」が18.2%、「80歳以上」が9.1%となっている。「65～69歳」では「60歳代」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「70歳代」が25.0%、「40歳未満」、「80歳以上」が16.7%となっている。「70歳代」では「70歳代」が54.0%ともっとも割合が高く、次いで「40歳代」が14.3%、「60歳代」、「80歳以上」が11.1%となっている。「80歳代」では「50歳代」が39.4%ともっとも割合が高く、次いで「80歳以上」が25.5%、「60歳代」が18.8%となっている。「90歳以上」では「60歳代」が56.1%ともっとも割合が高く、次いで「50歳代」が17.8%、「70歳代」が14.0%となっている。

図表 9-13 本人の年齢別・主な介護者の年齢

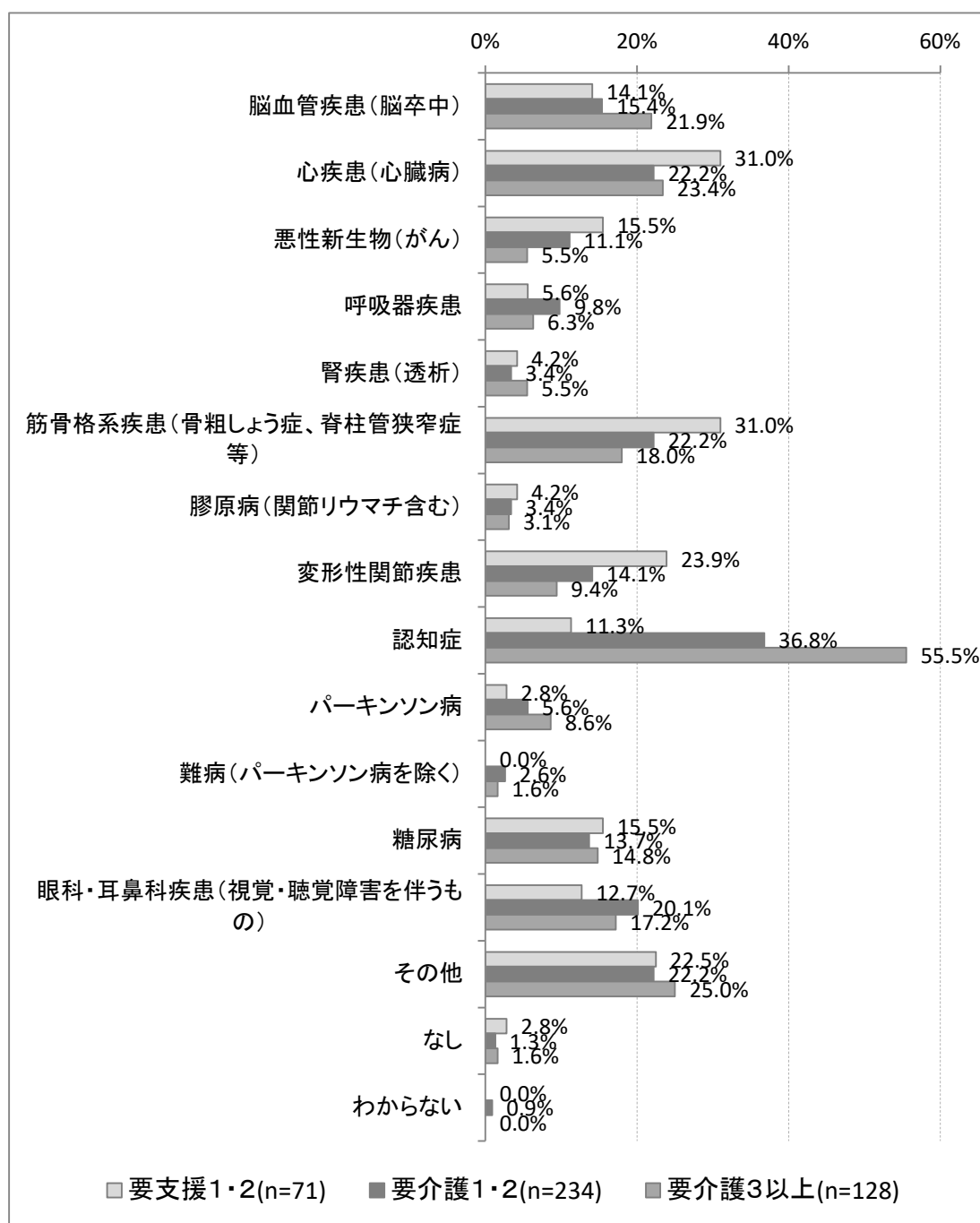


(5) 要介護度別の抱えている傷病

【要介護度別・抱えている傷病】

抱えている傷病を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「心疾患（心臓病）」、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 31.0% ともっとも割合が高く、次いで「変形性関節疾患」が 23.9%、「その他」が 22.5% となっている。「要介護１・２」では「認知症」が 36.8% ともっとも割合が高く、次いで「心疾患（心臓病）」、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、「その他」が 22.2%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 20.1% となっている。「要介護３以上」では「認知症」が 55.5% ともっとも割合が高く、次いで「その他」が 25.0%、「心疾患（心臓病）」が 23.4% となっている。

図表 9-14 要介護度別・抱えている傷病



(6) 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病

【訪問診療の利用の有無別・抱えている傷病】

抱えている傷病を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「心疾患（心臓病）」が31.3%ともっとも割合が高く、次いで「その他」が30.3%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が24.2%となっている。「利用していない」では「認知症」が40.5%ともっとも割合が高く、次いで「心疾患（心臓病）」が23.7%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、「その他」が21.2%となっている。

図表 9-15 訪問診療の利用の有無別・抱えている傷病

